参考資料1

ＶＯＣ排出抑制に係る自主的取組の状況報告
令和２年度実績（概要版）

令和４年３月７日

１．参加団体等について

令和２年度の自主的取組実績については、４１の業界団体等（電機・電子業界は４団体合同で提出）19,700社以上の企業等から状況報告があった。

【ＶＯＣ自主的取組の参加業界団体】

日本ガス協会(9)
日本染色協会(22)
日本製紙連合会(45)
日本鉄鋼連盟(72)
電機・電子４団体(94)
（電子情報技術産業協会
情報通信ネットワーク産業協会
ビジネス機械・情報システム産業協会
日本電機工業会）
日本塗料工業会(78)
日本自動車部品工業会(67)
日本自動車工業会(16)
線材製品協会(8)
日本伸銅協会(7)
全国鍍金工業組合連合会(110)
日本電線工業会(115)
日本アルミニウム協会(9)
日本建材・住宅設備産業協会(32)
天然ガス鉱業会(4)
石油連盟(15)
日本化学工業協会(68)
日本印刷産業連合会(4,387)
ドラム缶工業会(11)
軽金属製品協会(3)
日本プラスチック工業連盟(20)
日本オフィス家具協会(23)
日本表面処理機材工業会(23)
日本自動車車体工業会(202)
日本接着剤工業会(83)
プレハブ建築協会(7)
印刷インキ工業連合会(41)
日本工業塗装協同組合連合会(68)
日本ゴム工業会(33)
日本自動車車体整備協同組合連合会(314)
日本粘着テープ工業会(11)
全国楽器協会(2)
日本釣用品工業会(19)
日本金属ハウスウェア工業組合(48)
日本金属洋食器工業組合(38)
日本ガス石油機器工業会(75)
全国石油商業組合連合会(13,548)

【ＶＯＣ自主的取組支援団体】

産業環境管理協会(20)
日本産業洗浄協議会

注）（　）内は、参加企業数

２．自主的取組における全国のＶＯＣ排出量について

令和２年度の状況報告を集計した結果、自主的取組における全国のＶＯＣ排出量は以下のとおりとなった。

表１　自主的取組における全国のＶＯＣ排出量の推移

（単位：万トン）

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
排出量	62.2	49.3	34.4	32.7	31.7	31.6	30.3	29.3	27.0	26.2	25.7	24.3	22.7
増減率	－	▲20.8%	▲44.7%	▲47.4%	▲49.1%	▲49.2%	▲51.3%	▲52.9%	▲56.5%	▲57.9%	▲58.6%	▲60.9%	▲63.5%

注）VOC排出量には、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。ただし、平成17年度から平成27年度まではデータがないことから、平成12年度から変化していないと仮定。

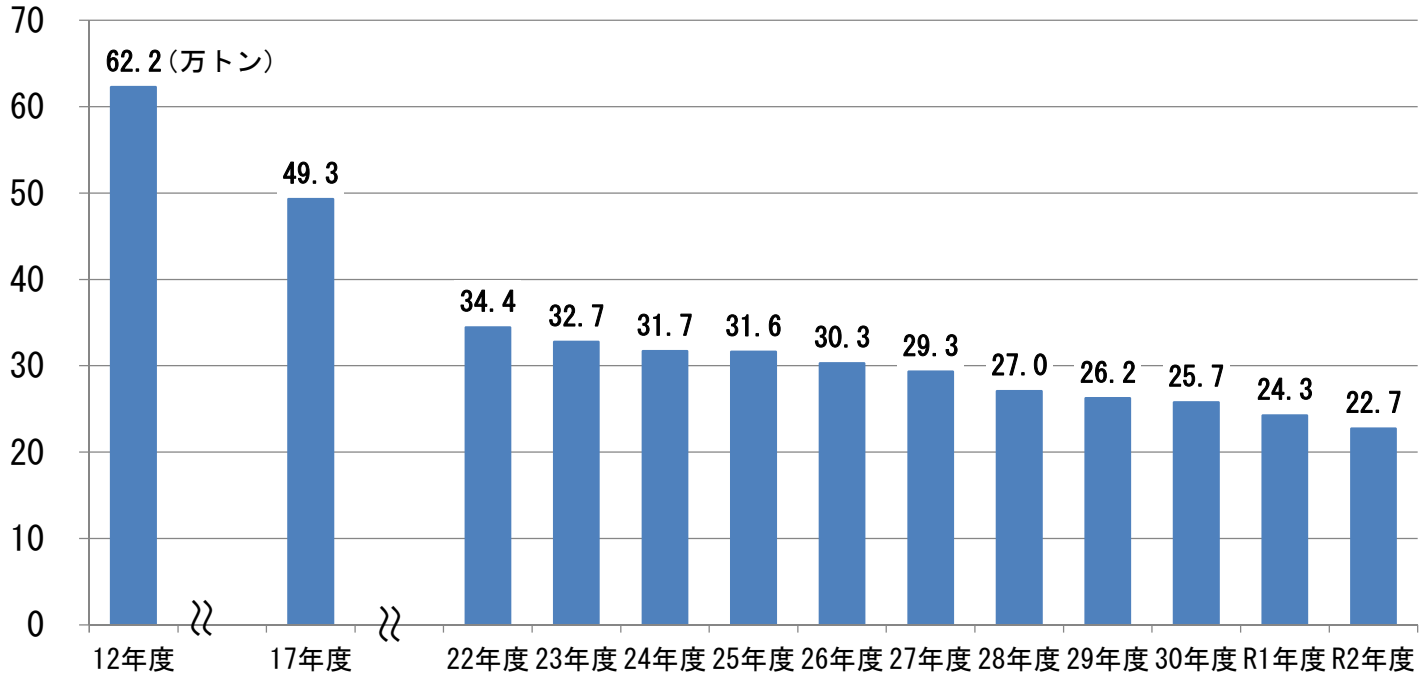

図1　自主的取組における全国のVOC排出量の推移

３．業種別のＶＯＣ排出量

業種別に状況報告を集計した結果、以下のとおりとなった。
業種によって削減幅に差があるものの、全ての業種とも平成１２年度に比べ、ＶＯＣ排出量が大幅に削減された。

表2　業種別のVOC排出量の推移

（単位：万トン）

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
印刷・同関連業	11.6 （－）	7.7 （▲34%）	4.3 （▲63%）	3.6 （▲69%）	3.5 （▲70%）	3.5 （▲69%）	2.8 （▲76%）	2.5 （▲79%）	2.7 （▲77%）	2.3 （▲80%）	2.4 （▲80%）	2.0 （▲83%）	2.4 （▲79%）
輸送用機械器具製造業	9.6 （－）	7.8 （▲18%）	4.6 （▲52%）	4.5 （▲53%）	4.4 （▲54%）	4.4 （▲54%）	4.2 （▲57%）	4.0 （▲58%）	4.0 （▲58%）	3.9 （▲59%）	4.0 （▲59%）	3.7 （▲62%）	3.2 （▲67%）
化学工業	9.4 （－）	5.5 （▲42%）	3.6 （▲62%）	3.3 （▲65%）	3.4 （▲64%）	3.4 （▲64%）	3.3 （▲65%）	3.1 （▲67%）	2.8 （▲70%）	2.9 （▲69%）	2.9 （▲69%）	2.6 （▲73%）	2.4 （▲75%）
石油製品・石炭製品製造業	6.1 （－）	5.5 （▲11%）	4.3 （▲31%）	4.2 （▲32%）	3.9 （▲36%）	3.9 （▲36%）	3.7 （▲39%）	3.7 （▲39%）	3.7 （▲40%）	3.5 （▲43%）	3.3 （▲46%）	3.2 （▲48%）	2.9 （▲53%）
プラスチック製品製造業（別掲を除く）	3.3 （－）	3.3 （▲3%）	1.2 （▲65%）	1.1 （▲67%）	0.9 （▲72%）	0.9 （▲73%）	0.9 （▲73%）	0.9 （▲74%）	0.8 （▲75%）	0.9 （▲74%）	0.7 （▲78%）	1.0 （▲71%）	0.9 （▲74%）
電気機械器具製造業	2.5 （－）	1.8 （▲28%）	1.1 （▲56%）	1.0 （▲58%）	0.9 （▲66%）	0.8 （▲68%）	0.8 （▲68%）	0.8 （▲69%）	0.8 （▲69%）	0.8 （▲66%）	0.8 （▲66%）	0.8 （▲70%）	0.9 （▲65%）
ゴム製品製造業	2.2 （－）	1.9 （▲14%）	1.2 （▲48%）	1.0 （▲54%）	0.9 （▲60%）	0.8 （▲63%）	0.8 （▲64%）	0.7 （▲67%）	0.7 （▲67%）	0.7 （▲68%）	0.7 （▲69%）	0.6 （▲71%）	0.6 （▲75%）
金属製品製造業	1.7 （－）	1.4 （▲17%）	0.8 （▲54%）	0.8 （▲49%）	0.7 （▲57%）	0.7 （▲58%）	0.7 （▲58%）	0.6 （▲63%）	0.6 （▲64%）	0.6 （▲62%）	0.6 （▲65%）	0.6 （▲64%）	0.5 （▲71%）
パルプ・紙・紙加工品製造業	1.0 （－）	0.4 （▲60%）	0.1 （▲86%）	0.1 （▲86%）	0.1 （▲87%）	0.1 （▲87%）	0.1 （▲87%）	0.1 （▲87%）	0.1 （▲87%）	0.1 （▲87%）	0.1 （▲88%）	0.1 （▲89%）	0.1 （▲90%）
繊維工業	0.9 （－）	0.7 （▲17%）	0.3 （▲64%）	0.3 （▲68%）	0.2 （▲76%）	0.2 （▲79%）	0.2 （▲82%）	0.2 （▲81%）	0.1 （▲84%）	0.2 （▲81%）	0.2 （▲82%）	0.1 （▲85%）	0.1 （▲89%）
合計	48.2 （－）	35.9 （▲26%）	21.3 （▲56%）	19.9 （▲59%）	18.9 （▲61%）	18.8 （▲61%）	17.5 （▲64%）	16.6 （▲66%）	16.4 （▲66%）	15.9 （▲67%）	15.6 （▲68%）	14.6 （▲70%）	13.8 （▲71%）

注1）平成12年度の排出量の多かった上位10業種（自主的取組全体の排出量の約96%）を掲載

注2）（　）内は、平成12年度排出量に対する増減率

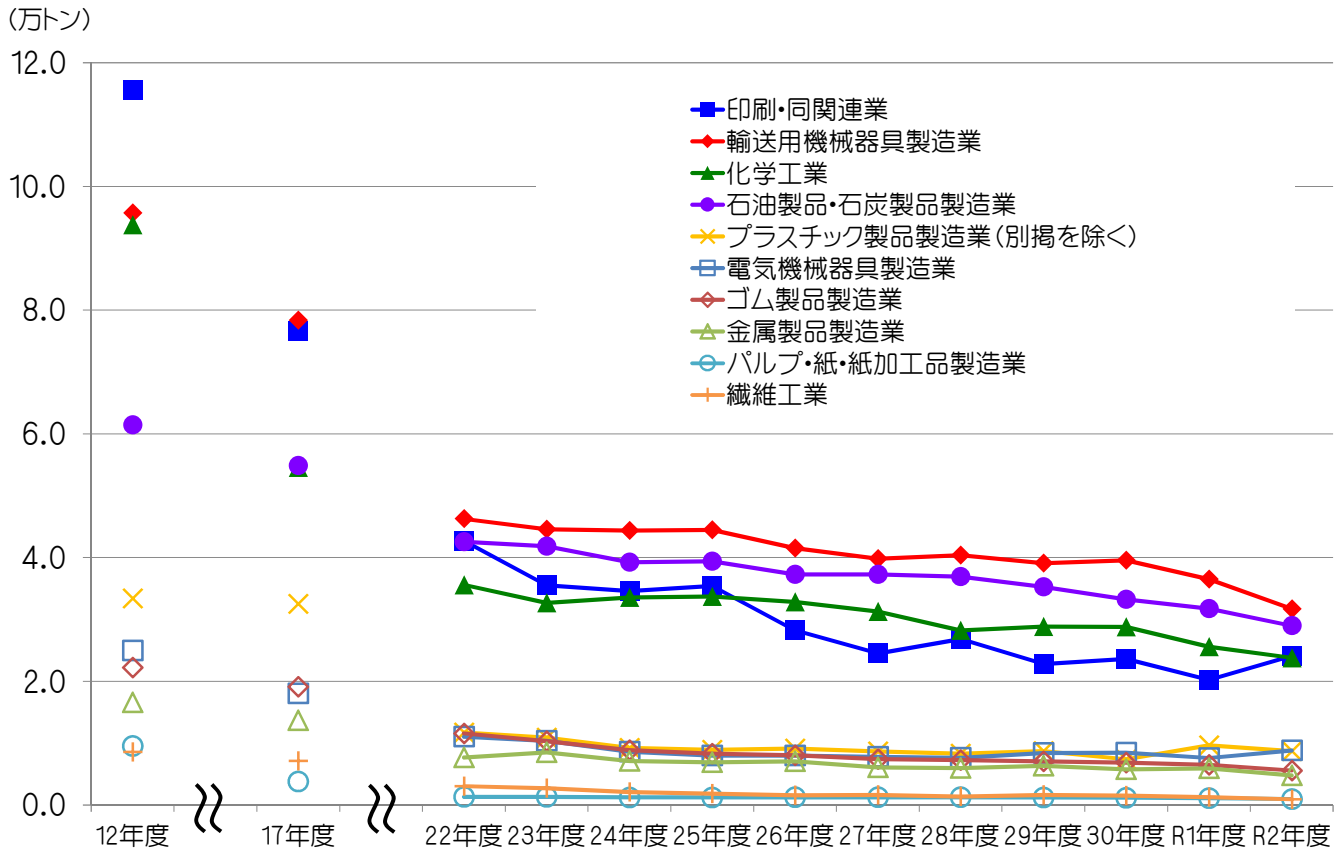

図2　業種別のVOC排出量の推移

４．地域別のＶＯＣ排出量

地域別の排出量について記載があった状況報告を集計した結果、以下のとおりとなった。

各地域とも、全国のＶＯＣ排出量と同様の低減傾向を示している。

表3　地域別のVOC排出量の推移

（単位：万トン）

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
関　東	8.3 （－）	7.4 （▲11%）	5.6 （▲33%）	5.2 （▲38%）	5.2 （▲38%）	5.1 （▲38%）	5.1 （▲39%）	5.0 （▲40%）	3.5 （▲58%）	3.4 （▲59%）	3.2 （▲61%）	3.1 （▲63%）	2.8 （▲67%）
中　部	4.3 （－）	5.4 （＋26%）	4.1 （▲4%）	4.1 （▲5%）	4.1 （▲5%）	4.1 （▲4%）	4.0 （▲7%）	3.9 （▲9%）	2.2 （▲50%）	2.0 （▲54%）	2.0 （▲54%）	1.9 （▲55%）	1.7 （▲60%）
関　西	2.8 （－）	2.8 （▲1%）	2.3 （▲19%）	2.3 （▲20%）	2.3 （▲18%）	2.3 （▲18%）	2.3 （▲19%）	2.2 （▲21%）	1.5 （▲47%）	1.5 （▲48%）	1.4 （▲49%）	1.4 （▲52%）	1.2 （▲57%）
合　計	15.4 （－）	15.5 （＋1%）	11.9 （▲22%）	11.5 （▲26%）	11.5 （▲25%）	11.6 （▲25%）	11.3 （▲26%）	11.1 （▲28%）	7.2 （▲53%）	6.8 （▲56%）	6.7 （▲57%）	6.3 （▲59%）	5.7 （▲63%）

注1）地域は自動車NOx・PM法における対策地域に相当する地域として関東（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、中部（愛知県、三重県）、関西（大阪府、兵庫県）を掲載

注2）地域別のVOC排出量について記載があった状況報告から集計したもの

注3）VOC排出量には、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。ただし、平成17年度から平成27年度まではデータがないことから、平成12年度から変化していないと仮定。

注4）（　）内は、平成12年度排出量に対する増減率

注5）四捨五入の関係で、合計値が合わない場合がある

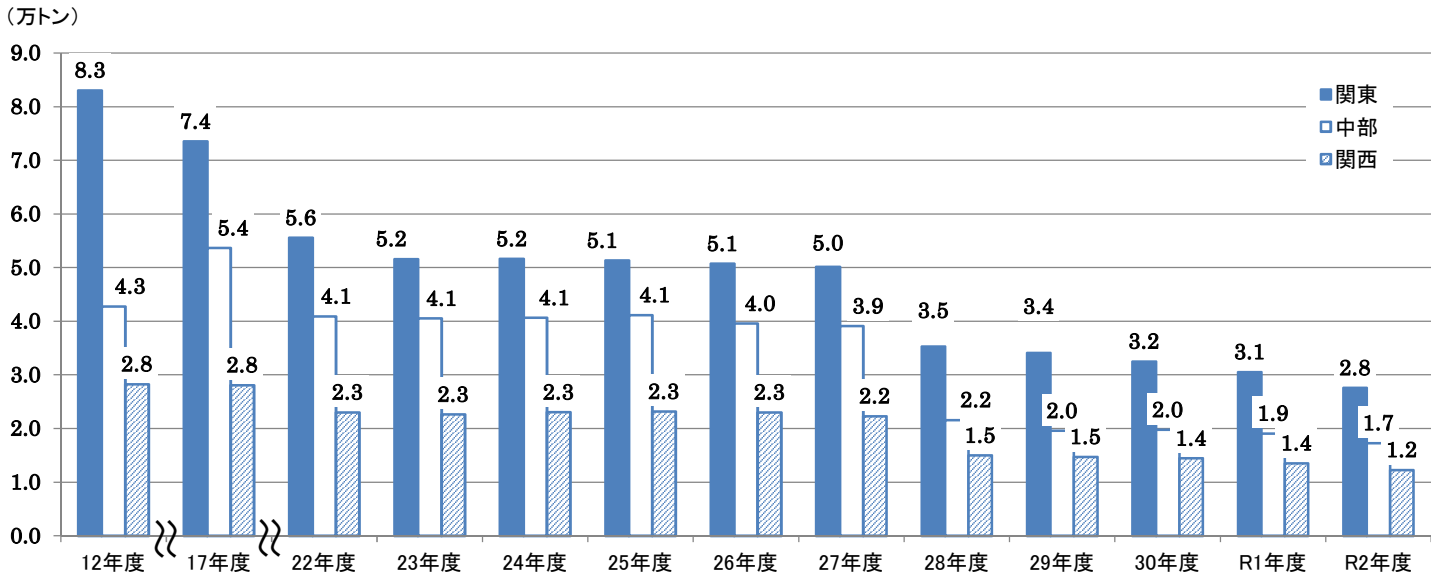

図3　地域別のVOC排出量の推移

５．物質別のＶＯＣ排出量

物質別の排出量について記載があった状況報告を集計した結果、以下のとおりとなった。

ほぼ全ての物質について、全国の排出量と同様の低減傾向を示している。

表4　物質別のVOC排出量の推移

（単位：万トン）

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
トルエン	8.7 （－）	5.5 （▲37%）	2.5 （▲71%）	2.2 （▲75%）	1.9 （▲79%）	1.8 （▲79%）	1.7 （▲80%）	1.6 （▲82%）	1.6 （▲82%）	1.5 （▲83%）	1.3 （▲85%）	1.3 （▲85%）	1.2 （▲86%）
炭化水素類	7.2 （－）	6.3 （▲13%）	5.0 （▲30%）	4.8 （▲34%）	4.8 （▲34%）	4.7 （▲35%）	4.6 （▲37%）	4.5 （▲38%）	4.5 （▲38%）	4.3 （▲40%）	4.2 （▲42%）	4.1 （▲44%）	3.6 （▲51%）
炭化水素類（※）	19.3 （－）	－	－	－	－	－	－	－	14.5 （▲25%）	13.9 （▲28%）	13.6 （▲29%）	12.9 （▲33%）	12 （▲39%）
酢酸エチル	3.1 （－）	3.0 （▲3%）	1.3 （▲57%）	1.2 （▲62%）	1.1 （▲64%）	1.2 （▲61%）	1.0 （▲67%）	0.9 （▲70%）	1.0 （▲68%）	0.9 （▲70%）	0.9 （▲72%）	0.9 （▲69%）	1.1 （▲65%）
メチルエチルケトン	2.5 （－）	1.9 （▲22%）	1.0 （▲58%）	0.8 （▲68%）	0.5 （▲79%）	0.6 （▲78%）	0.5 （▲80%）	0.5 （▲81%）	0.5 （▲81%）	0.4 （▲82%）	0.4 （▲82%）	0.4 （▲84%）	0.5 （▲81%）
キシレン	2.2 （－）	1.4 （▲40%）	0.7 （▲70%）	0.6 （▲72%）	0.6 （▲71%）	0.6 （▲71%）	0.7 （▲71%）	0.6 （▲75%）	0.6 （▲74%）	0.6 （▲75%）	0.5 （▲76%）	0.5 （▲78%）	0.4 （▲82%）
イソプロピルアルコール	2.0 （－）	1.7 （▲16%）	0.9 （▲53%）	0.7 （▲64%）	0.7 （▲62%）	0.7 （▲63%）	0.6 （▲70%）	0.5 （▲75%）	0.6 （▲72%）	0.5 （▲75%）	0.5 （▲74%）	0.5 （▲77%）	0.5 （▲75%）
メチルアルコール（メタノール）	1.3 （－）	0.8 （▲36%）	0.6 （▲58%）	0.7 （▲51%）	0.6 （▲57%）	0.6 （▲57%）	0.5 （▲59%）	0.5 （▲63%）	0.4 （▲71%）	0.4 （▲67%）	0.4 （▲71%）	0.3 （▲75%）	0.4 （▲71%）
ジクロロメタン（塩化メチレン）	1.2 （－）	0.7 （▲44%）	0.2 （▲81%）	0.3 （▲79%）	0.2 （▲80%）	0.2 （▲82%）	0.2 （▲81%）	0.2 （▲83%）	0.2 （▲84%）	0.2 （▲81%）	0.2 （▲82%）	0.2 （▲85%）	0.2 （▲86%）
アセトン	0.9 （－）	0.6 （▲39%）	0.4 （▲56%）	0.4 （▲58%）	0.4 （▲61%）	0.3 （▲61%）	0.3 （▲62%）	0.3 （▲65%）	0.3 （▲66%）	0.3 （▲71%）	0.2 （▲73%）	0.2 （▲75%）	0.2 （▲76%）
ノルマルーヘキサン	0.8 （－）	0.7 （▲16%）	0.4 （▲58%）	0.3 （▲64%）	0.3 （▲67%）	0.3 （▲64%）	0.3 （▲66%）	0.2 （▲70%）	0.2 （▲74%）	0.3 （▲68%）	0.3 （▲63%）	0.2 （▲74%）	0.2 （▲75%）
合計	30.0 （－）	22.5 （▲25%）	13.1 （▲56%）	11.8 （▲61%）	11.1 （▲63%）	11.1 （▲63%）	10.4 （▲65%）	9.8 （▲67%）	9.7 （▲68%）	9.5 （▲69%）	9.0 （▲70%）	8.6 （▲71%）	8.2 （▲73%）

注1）平成12年度の排出量の多かった上位10物質（自主的取組全体の排出量の約60%）を掲載

注2）物質別のVOC排出量について記載があった状況報告から集計したもの

注3）（　）内は、平成12年度排出量に対する増減率

注4）炭化水素類（※）は、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。この値は、合計には加算していない。

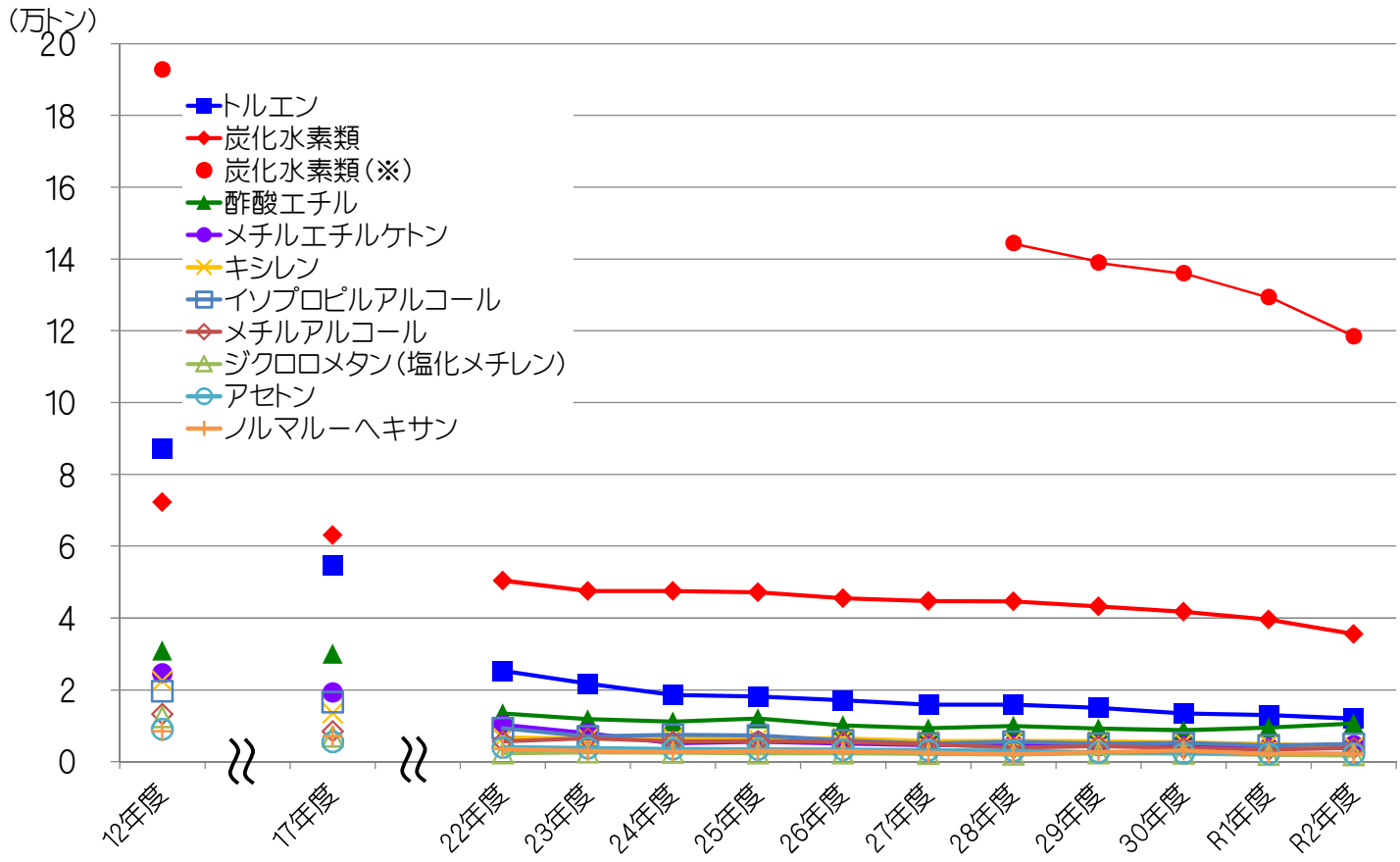

図4　物質別のVOC排出量の推移

（※）　全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。

付表1　VOC排出量の推移

団体名		【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
1 日本ガス協会		87	0%	27	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	増減率			(▲69%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)		(▲100%)	
2 日本染色協会		8,558	1%	7,118	1%	3,043	1%	2,727	1%	2,072	1%	1,802	1%	1,581	1%	1,597	1%	1,355	1%	1,612	1%	1,506	1%	1,249	1%	919	0%
	増減率			(▲17%)		(▲64%)		(▲68%)		(▲76%)		(▲79%)		(▲82%)		(▲81%)		(▲84%)		(▲81%)		(▲82%)		(▲85%)		(▲89%)	
3 日本製紙連合会		9,534	2%	3,815	1%	1,313	0%	1,315	0%	1,207	0%	1,225	0%	1,270	0%	1,244	0%	1,261	0%	1,215	0%	1,178	0%	1,091	0%	973	0%
	増減率			(▲60%)		(▲86%)		(▲86%)		(▲87%)		(▲87%)		(▲87%)		(▲87%)		(▲87%)		(▲87%)		(▲88%)		(▲89%)		(▲90%)	
4 日本鉄鋼連盟		6,992	1%	4,518	1%	3,043	1%	2,777	1%	2,365	1%	2,252	1%	2,392	1%	2,176	1%	2,112	1%	2,121	1%	2,177	1%	2,230	1%	1,753	1%
	増減率			(▲35%)		(▲56%)		(▲60%)		(▲66%)		(▲68%)		(▲66%)		(▲69%)		(▲70%)		(▲70%)		(▲69%)		(▲68%)		(▲75%)	
5 電機・電子4団体		24,984	4%	18,018	4%	11,024	3%	10,373	3%	8,610	3%	7,977	3%	7,988	3%	7,760	3%	7,635	3%	8,396	3%	8,473	3%	7,590	3%	8,827	4%
	増減率			(▲28%)		(▲56%)		(▲58%)		(▲66%)		(▲68%)		(▲68%)		(▲69%)		(▲69%)		(▲66%)		(▲66%)		(▲70%)		(▲65%)	
6 日本塗料工業会		3,947	1%	3,061	1%	2,318	1%	2,255	1%	2,161	1%	2,095	1%	2,061	1%	2,133	1%	2,113	1%	2,129	1%	2,237	1%	2,095	1%	1,980	1%
	増減率			(▲22%)		(▲41%)		(▲43%)		(▲45%)		(▲47%)		(▲48%)		(▲46%)		(▲46%)		(▲46%)		(▲43%)		(▲47%)		(▲50%)	
7 日本自動車部品工業会		22,725	4%	18,121	4%	9,493	3%	8,533	3%	8,387	3%	7,942	3%	7,412	2%	6,905	2%	7,054	3%	4,733	2%	5,412	2%	3,713	2%	3,806	2%
	増減率			(▲20%)		(▲58%)		(▲62%)		(▲63%)		(▲65%)		(▲67%)		(▲70%)		(▲69%)		(▲79%)		(▲76%)		(▲84%)		(▲83%)	
8 日本自動車工業会		52,685	8%	41,199	8%	25,623	7%	24,921	8%	24,224	8%	25,106	8%	23,848	8%	22,169	8%	23,367	9%	24,835	9%	24,254	9%	23,029	10%	19,247	8%
	増減率			(▲22%)		(▲51%)		(▲53%)		(▲54%)		(▲52%)		(▲55%)		(▲58%)		(▲56%)		(▲53%)		(▲54%)		(▲56%)		(▲63%)	
9 線材製品協会		1,291	0%	894	0%	291	0%	241	0%	238	0%	231	0%	223	0%	191	0%	192	0%	201	0%	198	0%	174	0%	163	0%
	増減率			(▲31%)		(▲77%)		(▲81%)		(▲82%)		(▲82%)		(▲83%)		(▲85%)		(▲85%)		(▲84%)		(▲85%)		(▲87%)		(▲87%)	
10 日本伸銅協会		436	0%	184	0%	91	0%	83	0%	92	0%	92	0%	77	0%	63	0%	72	0%	67	0%	72	0%	64	0%	53	0%
	増減率			(▲58%)		(▲79%)		(▲81%)		(▲79%)		(▲79%)		(▲82%)		(▲86%)		(▲83%)		(▲85%)		(▲84%)		(▲85%)		(▲88%)	
11 全国鍍金工業組合連合会		1,356	0%	992	0%	846	0%	761	0%	760	0%	730	0%	725	0%	718	0%	703	0%	668	0%	655	0%	641	0%	615	0%
	増減率			(▲27%)		(▲38%)		(▲44%)		(▲44%)		(▲46%)		(▲47%)		(▲47%)		(▲48%)		(▲51%)		(▲52%)		(▲53%)		(▲55%)	
12 日本電線工業会		1,439	0%	1,013	0%	707	0%	631	0%	575	0%	619	0%	591	0%	573	0%	604	0%	633	0%	543	0%	614	0%	567	0%
	増減率			(▲30%)		(▲51%)		(▲56%)		(▲60%)		(▲57%)		(▲59%)		(▲60%)		(▲58%)		(▲56%)		(▲62%)		(▲57%)		(▲61%)	
14 日本アルミニウム協会		1,900	0%	569	0%	348	0%	324	0%	327	0%	289	0%	338	0%	285	0%	302	0%	292	0%	277	0%	265	0%	181	0%
	増減率			(▲70%)		(▲82%)		(▲83%)		(▲83%)		(▲85%)		(▲82%)		(▲85%)		(▲84%)		(▲85%)		(▲85%)		(▲86%)		(▲90%)	
15 日本建材・住宅設備産業協会		8,031	1%	6,059	1%	2,208	1%	1,922	1%	1,657	1%	1,787	1%	1,842	1%	1,548	1%	1,293	0%	1,174	0%	993	0%	916	0%	657	0%
	増減率			(▲25%)		(▲73%)		(▲76%)		(▲79%)		(▲78%)		(▲77%)		(▲81%)		(▲84%)		(▲85%)		(▲88%)		(▲89%)		(▲92%)	
16 天然ガス鉱業会		2,603	0%	1,665	0%	3,095	1%	1,278	0%	1,082	0%	1,028	0%	1,155	0%	878	0%	871	0%	1,839	1%	1,656	1%	1,399	1%	1,561	1%
	増減率			(▲36%)		(＋19%)		(▲51%)		(▲58%)		(▲61%)		(▲56%)		(▲66%)		(▲67%)		(▲29%)		(▲36%)		(▲46%)		(▲40%)	
17 石油連盟		61,426	10%	54,859	11%	42,551	12%	41,853	13%	39,229	12%	39,373	12%	37,273	12%	37,287	13%	36,894	14%	35,246	13%	33,259	13%	31,718	13%	28,986	13%
	増減率			(▲11%)		(▲31%)		(▲32%)		(▲36%)		(▲36%)		(▲39%)		(▲39%)		(▲40%)		(▲43%)		(▲46%)		(▲48%)		(▲53%)	
18 日本化学工業協会		88,809	14%	50,690	10%	32,662	9%	29,862	9%	30,822	10%	31,009	10%	30,169	10%	28,596	10%	25,554	9%	26,106	10%	26,038	10%	22,998	9%	21,349	9%
	増減率			(▲43%)		(▲63%)		(▲66%)		(▲65%)		(▲65%)		(▲66%)		(▲68%)		(▲71%)		(▲71%)		(▲71%)		(▲74%)		(▲76%)	
19 日本印刷産業連合会		115,500	19%	76,600	16%	42,700	12%	35,500	11%	34,600	11%	35,400	11%	28,200	9%	24,500	8%	26,800	10%	22,800	9%	23,600	9%	20,200	8%	24,100	11%
	増減率			(▲34%)		(▲63%)		(▲69%)		(▲70%)		(▲69%)		(▲76%)		(▲79%)		(▲77%)		(▲80%)		(▲80%)		(▲83%)		(▲79%)	
20 ドラム缶工業会		1,763	0%	1,818	0%	1,592	0%	1,570	0%	1,598	1%	1,545	0%	1,382	0%	1,322	0%	1,157	0%	1,217	0%	1,186	0%	1,213	1%	1,171	1%
	増減率			(＋3%)		(▲10%)		(▲11%)		(▲9%)		(▲12%)		(▲22%)		(▲25%)		(▲34%)		(▲31%)		(▲33%)		(▲31%)		(▲34%)	

団体名		【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
21 軽金属製品協会		349	0%	312	0%	97	0%	137	0%	148	0%	174	0%	168	0%	152	0%	189	0%	175	0%	162	0%	148	0%	125	0%
	増減率			(▲11%)		(▲72%)		(▲61%)		(▲58%)		(▲50%)		(▲52%)		(▲56%)		(▲46%)		(▲50%)		(▲54%)		(▲58%)		(▲64%)	
22 日本プラスチック工業連盟		12,211	2%	20,193	4%	6,623	2%	6,294	2%	4,760	2%	4,594	1%	4,594	2%	4,662	2%	4,263	2%	4,792	2%	4,533	2%	6,188	3%	5,778	3%
	増減率			(+65%)		(▲46%)		(▲48%)		(▲61%)		(▲62%)		(▲62%)		(▲62%)		(▲65%)		(▲61%)		(▲63%)		(▲49%)		(▲53%)	
23 日本オフィス家具協会		1,977	0%	1,235	0%	680	0%	663	0%	689	0%	727	0%	860	0%	802	0%	796	0%	779	0%	765	0%	746	0%	639	0%
	増減率			(▲38%)		(▲66%)		(▲66%)		(▲65%)		(▲63%)		(▲56%)		(▲59%)		(▲60%)		(▲61%)		(▲61%)		(▲62%)		(▲68%)	
24 日本表面処理機材工業会		1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	増減率			(+44%)		(▲43%)		(▲68%)		(▲54%)		(▲54%)		(▲70%)		(▲69%)		(▲55%)		(▲62%)		(▲65%)		(▲62%)		(▲54%)	
25 日本自動車車体工業会		20,300	3%	19,060	4%	11,148	3%	11,129	3%	11,740	4%	11,442	4%	10,261	3%	10,716	4%	9,986	4%	9,495	4%	9,890	4%	9,782	4%	8,656	4%
	増減率			(▲6%)		(▲45%)		(▲45%)		(▲42%)		(▲44%)		(▲49%)		(▲47%)		(▲51%)		(▲53%)		(▲51%)		(▲52%)		(▲57%)	
26 日本接着剤工業会		598	0%	470	0%	318	0%	323	0%	331	0%	355	0%	323	0%	315	0%	319	0%	334	0%	327	0%	297	0%	259	0%
	増減率			(▲21%)		(▲47%)		(▲46%)		(▲45%)		(▲41%)		(▲46%)		(▲47%)		(▲47%)		(▲44%)		(▲45%)		(▲50%)		(▲57%)	
28 プレハブ建築協会		1,675	0%	1,096	0%	712	0%	1,920	1%	852	0%	506	0%	385	0%	290	0%	247	0%	221	0%	209	0%	198	0%	174	0%
	増減率			(▲35%)		(▲57%)		(+15%)		(▲49%)		(▲70%)		(▲77%)		(▲83%)		(▲85%)		(▲87%)		(▲88%)		(▲88%)		(▲90%)	
29 印刷インキ工業連合会		423	0%	313	0%	283	0%	205	0%	239	0%	243	0%	255	0%	245	0%	250	0%	251	0%	182	0%	205	0%	202	0%
	増減率			(▲26%)		(▲33%)		(▲52%)		(▲43%)		(▲43%)		(▲40%)		(▲42%)		(▲41%)		(▲41%)		(▲57%)		(▲52%)		(▲52%)	
30 日本工業塗装協同組合連合会		1,958	0%	※ 1,958	0%	1,358	0%	1,302	0%	1,253	0%	1,309	0%	1,801	1%	1,474	1%	1,768	1%	2,270	1%	1,875	1%	2,160	1%	1,435	1%
	増減率			(-)		(▲31%)		(▲34%)		(▲36%)		(▲33%)		(▲8%)		(▲25%)		(▲10%)		(+16%)		(▲4%)		(+10%)		(▲27%)	
31 日本ゴム工業会		22,221	4%	19,103	4%	11,580	3%	10,320	3%	8,846	3%	8,311	3%	8,014	3%	7,435	3%	7,260	3%	7,038	3%	6,872	3%	6,481	3%	5,579	2%
	増減率			(▲14%)		(▲48%)		(▲54%)		(▲60%)		(▲63%)		(▲64%)		(▲67%)		(▲67%)		(▲68%)		(▲69%)		(▲71%)		(▲75%)	
32 日本自動車車体整備協同組合連合会		536	0%	※ 536	0%	333	0%	312	0%	311	0%	299	0%	321	0%	342	0%	312	0%	332	0%	260	0%	239	0%	213	0%
	増減率			(-)		(▲38%)		(▲42%)		(▲42%)		(▲44%)		(▲40%)		(▲36%)		(▲42%)		(▲38%)		(▲51%)		(▲55%)		(▲60%)	
33 日本粘着テープ工業会		21,175	3%	12,315	2%	5,090	1%	4,600	1%	4,463	1%	4,334	1%	4,522	1%	3,982	1%	4,048	1%	3,896	1%	2,853	1%	3,456	1%	2,936	1%
	増減率			(▲42%)		(▲76%)		(▲78%)		(▲79%)		(▲80%)		(▲79%)		(▲81%)		(▲81%)		(▲82%)		(▲87%)		(▲84%)		(▲86%)	
34 全国楽器協会		240	0%	※ 240	0%	56	0%	55	0%	47	0%	44	0%	43	0%	63	0%	53	0%	53	0%	50	0%	52	0%	45	0%
	増減率			(-)		(▲77%)		(▲77%)		(▲80%)		(▲82%)		(▲82%)		(▲74%)		(▲78%)		(▲78%)		(▲79%)		(▲78%)		(▲81%)	
35 日本釣用品工業会		110	0%	80	0%	69	0%	63	0%	66	0%	70	0%	70	0%	70	0%	70	0%	66	0%	64	0%	64	0%	67	0%
	増減率			(▲27%)		(▲37%)		(▲43%)		(▲40%)		(▲36%)		(▲36%)		(▲36%)		(▲36%)		(▲40%)		(▲42%)		(▲42%)		(▲39%)	
36 日本金属ハウスウェア工業組合		489	0%	※ 489	0%	302	0%	270	0%	262	0%	260	0%	210	0%	200	0%	199	0%	199	0%	199	0%	193	0%	170	0%
	増減率			(-)		(▲38%)		(▲45%)		(▲46%)		(▲47%)		(▲57%)		(▲59%)		(▲59%)		(▲59%)		(▲59%)		(▲61%)		(▲65%)	
37 日本金属洋食器工業組合		201	0%	※ 201	0%	33	0%	29	0%	28	0%	28	0%	28	0%	27	0%	26	0%	25	0%	25	0%	24	0%	21	0%
	増減率			(-)		(▲84%)		(▲86%)		(▲86%)		(▲86%)		(▲86%)		(▲87%)		(▲87%)		(▲88%)		(▲88%)		(▲88%)		(▲90%)	
39 日本ガス石油機器工業会		765	0%	※ 765	0%	513	0%	588	0%	529	0%	560	0%	504	0%	364	0%	361	0%	374	0%	432	0%	423	0%	402	0%
	増減率			(-)		(▲33%)		(▲23%)		(▲31%)		(▲27%)		(▲34%)		(▲52%)		(▲53%)		(▲51%)		(▲44%)		(▲45%)		(▲47%)	
40 全国石油商業組合連合会		120,563	19%	※ 120,563	24%	※ 120,563	35%	※ 120,563	37%	※ 120,563	38%	※ 120,563	38%	※ 120,563	40%	※ 120,563	41%	99,959	37%	95,848	37%	94,333	37%	90,954	37%	82,941	37%
	増減率			(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(-)		(▲17%)		(▲20%)		(▲22%)		(▲25%)		(▲31%)	
41 産業環境管理協会		2,600	0%	2,600	1%	1,666	0%	1,784	1%	1,576	0%	1,578	0%	1,417	0%	1,299	0%	1,050	0%	765	0%	734	0%	477	0%	612	0%
	増減率			(+0%)		(▲36%)		(▲31%)		(▲39%)		(▲39%)		(▲46%)		(▲50%)		(▲60%)		(▲71%)		(▲72%)		(▲82%)		(▲76%)	
合計		622,457	100%	492,750	100%	344,372	100%	327,483	100%	316,708	100%	315,899	100%	302,866	100%	292,946	100%	270,495	100%	262,197	100%	257,479	100%	243,287	100%	227,164	100%
	増減率			(▲21%)		(▲45%)		(▲47%)		(▲49%)		(▲49%)		(▲51%)		(▲53%)		(▲57%)		(▲58%)		(▲59%)		(▲61%)		(▲64%)	

注1）排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計（※印）

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

付表2　業種別VOC排出量

団体名	【H12年度】(トン)	合計比	【H17年度】(トン)	合計比	【H22年度】(トン)	合計比	【H23年度】(トン)	合計比	【H24年度】(トン)	合計比	【H25年度】(トン)	合計比	【H26年度】(トン)	合計比	【H27年度】(トン)	合計比	【H28年度】(トン)	合計比	【H29年度】(トン)	合計比	【H30年度】(トン)	合計比	【R1年度】(トン)	合計比	【R2年度】(トン)	合計比
05 鉱業	2,603	0%	1,665	0%	3,095	1%	1,278	0%	1,082	0%	1,028	0%	1,155	0%	878	0%	871	0%	1,839	1%	1,656	1%	1,399	1%	1,561	1%
16 天然ガス鉱業会	2,603	0%	1,665	0%	3,095	1%	1,278	0%	1,082	0%	1,028	0%	1,155	0%	878	0%	871	0%	1,839	1%	1,656	1%	1,399	1%	1,561	1%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	2,603	(100%)	1,665	(100%)	3,095	(100%)	1,278	(100%)	1,082	(100%)	1,028	(100%)	1,155	(100%)	878	(100%)	872	(100%)	1,839	(100%)	1,839	(90%)	1,839	(76%)		-
11 繊維工業	8,558	1%	7,118	1%	3,043	1%	2,727	1%	2,072	1%	1,802	1%	1,581	1%	1,597	1%	1,355	1%	1,612	1%	1,506	1%	1,249	1%	919	0%
2 日本染色協会	8,558	1%	7,118	1%	3,043	1%	2,727	1%	2,072	1%	1,802	1%	1,581	1%	1,597	1%	1,355	1%	1,612	1%	1,506	1%	1,249	1%	919	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	12,676	(68%)	10,187	(70%)	5,879	(52%)	5,723	(48%)	4,876	(42%)	4,368	(41%)	4,121	(38%)	4,094	(39%)	3,987	(34%)	4,398	(37%)	4,121	(37%)	3,834	(33%)		-
14 家具・装備品製造業	1,977	0%	1,235	0%	680	0%	663	0%	689	0%	727	0%	860	0%	802	0%	796	0%	779	0%	765	0%	746	0%	639	0%
23 日本オフィス家具協会	1,977	0%	1,235	0%	680	0%	663	0%	689	0%	727	0%	860	0%	802	0%	796	0%	779	0%	765	0%	746	0%	639	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	14,238	(4%)	29,846	(4%)	16,243	(4%)	15,594	(4%)	15,743	(4%)	15,329	(5%)	12,689	(7%)	12,415	(6%)	11,285	(7%)	10,859	(7%)	10,016	(8%)	9,382	(8%)		-
15 パルプ・紙・紙加工品製造業	9,534	2%	3,815	1%	1,313	0%	1,315	0%	1,207	0%	1,225	0%	1,270	0%	1,244	0%	1,261	0%	1,215	0%	1,178	0%	1,091	0%	973	0%
3 日本製紙連合会	9,534	2%	3,815	1%	1,313	0%	1,315	0%	1,207	0%	1,225	0%	1,270	0%	1,244	0%	1,261	0%	1,215	0%	1,178	0%	1,091	0%	973	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	29,114	(33%)	21,621	(18%)	12,026	(11%)	13,655	(10%)	13,146	(9%)	13,260	(9%)	11,862	(11%)	10,597	(12%)	10,323	(12%)	9,911	(12%)	10,421	(11%)	9,878	(11%)		-
16 印刷・同関連業	115,500	19%	76,600	16%	42,700	12%	35,500	11%	34,600	11%	35,400	11%	28,200	9%	24,500	8%	26,800	10%	22,800	9%	23,600	9%	20,200	8%	24,100	11%
19 日本印刷産業連合会	115,500	19%	76,600	16%	42,700	12%	35,500	11%	34,600	11%	35,400	11%	28,200	9%	24,500	8%	26,800	10%	22,800	9%	23,600	9%	20,200	8%	24,100	11%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	132,451	(87%)	87,399	(88%)	48,313	(88%)	41,326	(86%)	40,404	(86%)	41,096	(86%)	38,992	(72%)	35,351	(69%)	35,518	(75%)	30,574	(75%)	32,315	(73%)	31,508	(64%)		-
17 化学工業	93,778	15%	54,535	11%	35,581	10%	32,645	10%	33,553	11%	33,702	11%	32,809	11%	31,290	11%	28,236	10%	28,820	11%	28,784	11%	25,595	11%	23,790	10%
6 日本塗料工業会	3,947	1%	3,061	1%	2,318	1%	2,255	1%	2,161	1%	2,095	1%	2,061	1%	2,133	1%	2,113	1%	2,129	1%	2,237	1%	2,095	1%	1,980	1%
18 日本化学工業協会	88,809	14%	50,690	10%	32,662	9%	29,862	9%	30,822	10%	31,009	10%	30,169	10%	28,596	10%	25,554	9%	26,106	10%	26,038	10%	22,998	9%	21,349	9%
24 日本表面処理機材工業会	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
26 日本接着剤工業会	598	0%	470	0%	318	0%	323	0%	331	0%	355	0%	323	0%	315	0%	319	0%	334	0%	327	0%	297	0%	259	0%
29 印刷インキ工業連合会	423	0%	313	0%	289	0%	205	0%	239	0%	243	0%	255	0%	245	0%	250	0%	251	0%	182	0%	205	0%	202	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	133,503	(70%)	80,936	(67%)	49,082	(72%)	44,907	(73%)	46,027	(73%)	45,983	(73%)	44,844	(73%)	42,487	(74%)	39,695	(71%)	43,936	(66%)	42,973	(67%)	48,123	(53%)		-
18 石油製品・石炭製品製造業	61,426	10%	54,859	11%	42,551	12%	41,853	13%	39,229	12%	39,373	12%	37,273	12%	37,287	13%	36,894	14%	35,246	13%	33,259	13%	31,718	13%	28,986	13%
17 石油連盟	61,426	10%	54,859	11%	42,551	12%	41,853	13%	39,229	12%	39,373	12%	37,273	12%	37,287	13%	36,894	14%	35,246	13%	33,259	13%	31,718	13%	28,986	13%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	61,783	(99%)	55,114	(100%)	42,893	(99%)	42,173	(99%)	39,539	(99%)	39,649	(99%)	37,591	(99%)	37,525	(99%)	37,090	(99%)	35,462	(99%)	33,413	(100%)	31,863	(100%)		-
19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	33,386	5%	32,508	7%	11,713	3%	10,894	3%	9,223	3%	8,928	3%	9,116	3%	8,644	3%	8,311	3%	8,688	3%	7,386	3%	9,644	4%	8,714	4%
22 日本プラスチック工業連盟	12,211	2%	20,193	4%	6,623	2%	6,294	2%	4,760	2%	4,594	1%	4,594	2%	4,662	2%	4,263	2%	4,792	2%	4,533	2%	6,188	3%	5,778	3%
33 日本粘着テープ工業会	21,175	3%	12,315	2%	5,090	1%	4,600	1%	4,463	1%	4,334	1%	4,522	1%	3,982	1%	4,048	1%	3,896	1%	2,853	1%	3,456	1%	2,936	1%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	72,861	(46%)	77,877	(42%)	36,433	(32%)	32,592	(33%)	32,747	(28%)	32,114	(28%)	31,263	(29%)	28,059	(31%)	26,478	(31%)	24,756	(35%)	22,755	(32%)	22,138	(44%)		-
20 ゴム製品製造業	22,221	4%	19,103	4%	11,580	3%	10,320	3%	8,846	3%	8,311	3%	8,014	3%	7,435	3%	7,260	3%	7,038	3%	6,872	3%	6,481	3%	5,579	2%
31 日本ゴム工業会	22,221	4%	19,103	4%	11,580	3%	10,320	3%	8,846	3%	8,311	3%	8,014	3%	7,435	3%	7,260	3%	7,038	3%	6,872	3%	6,481	3%	5,579	2%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	29,296	(76%)	23,770	(80%)	14,800	(78%)	13,288	(78%)	11,427	(77%)	10,674	(78%)	10,057	(80%)	9,269	(80%)	9,117	(80%)	8,854	(79%)	8,668	(79%)	8,222	(79%)		-
23 鉄鋼業	8,283	1%	5,412	1%	3,334	1%	3,018	1%	2,603	1%	2,483	1%	2,615	1%	2,367	1%	2,304	1%	2,322	1%	2,375	1%	2,404	1%	1,916	1%
4 日本鉄鋼連盟	6,992	1%	4,518	1%	3,043	1%	2,777	1%	2,365	1%	2,252	1%	2,392	1%	2,176	1%	2,112	1%	2,121	1%	2,177	1%	2,230	1%	1,753	1%
9 線材製品協会	1,291	0%	894	0%	291	0%	241	0%	238	0%	231	0%	223	0%	191	0%	192	0%	201	0%	198	0%	174	0%	163	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	9,491	(87%)	6,735	(80%)	4,467	(75%)	3,882	(78%)	3,870	(67%)	3,749	(66%)	3,479	(75%)	4,128	(57%)	3,802	(61%)	3,637	(64%)	3,804	(62%)	7,321	(33%)		-
24 非鉄金属製造業	3,775	1%	1,766	0%	1,146	0%	1,038	0%	993	0%	1,000	0%	1,006	0%	921	0%	978	0%	992	0%	892	0%	943	0%	802	0%
10 日本伸銅協会	436	0%	184	0%	91	0%	83	0%	92	0%	92	0%	77	0%	63	0%	72	0%	67	0%	72	0%	64	0%	53	0%
12 日本電線工業会	1,439	0%	1,013	0%	707	0%	631	0%	575	0%	619	0%	591	0%	573	0%	604	0%	633	0%	543	0%	614	0%	567	0%
14 日本アルミニウム協会	1,900	0%	569	0%	348	0%	324	0%	327	0%	289	0%	338	0%	285	0%	302	0%	292	0%	277	0%	265	0%	181	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	10,195	(37%)	8,668	(20%)	5,687	(20%)	4,903	(21%)	4,953	(20%)	4,828	(21%)	5,234	(19%)	5,720	(16%)	5,282	(19%)	5,082	(20%)	4,525	(20%)	4,154	(23%)		-

団体名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
25 金属製品製造業	16,587	3%	13,690	3%	7,661	2%	8,499	3%	7,087	2%	6,899	2%	7,045	2%	6,095	2%	5,943	2%	6,323	2%	5,736	2%	5,916	2%	4,770	2%
11 全国鍍金工業組合連合会	1,356	0%	992	0%	846	0%	761	0%	760	0%	730	0%	725	0%	718	0%	703	0%	668	0%	655	0%	641	0%	615	0%
15 日本建材・住宅設備産業協会	8,031	1%	6,059	1%	2,208	1%	1,922	1%	1,657	1%	1,787	1%	1,842	1%	1,548	1%	1,293	0%	1,174	0%	993	0%	916	0%	657	0%
20 ドラム缶工業会	1,763	0%	1,818	0%	1,592	0%	1,570	0%	1,598	1%	1,545	0%	1,382	0%	1,322	0%	1,157	0%	1,217	0%	1,186	0%	1,213	1%	1,171	1%
21 軽金属製品協会	349	0%	312	0%	97	0%	137	0%	148	0%	174	0%	168	0%	152	0%	189	0%	175	0%	162	0%	148	0%	125	0%
28 プレハブ建築協会	1,675	0%	1,096	0%	712	0%	1,920	1%	852	0%	506	0%	385	0%	290	0%	247	0%	221	0%	209	0%	198	0%	174	0%
30 日本工業塗装協同組合連合会	1,958	0%	※ 1,958	0%	1,358	0%	1,302	0%	1,253	0%	1,309	0%	1,801	1%	1,474	1%	1,768	1%	2,270	1%	1,875	1%	2,160	1%	1,435	1%
36 日本金属ハウスウェア工業組合	489	0%	※ 489	0%	302	0%	270	0%	262	0%	260	0%	210	0%	200	0%	199	0%	199	0%	199	0%	193	0%	170	0%
37 日本金属洋食器工業組合	201	0%	※ 201	0%	33	0%	29	0%	28	0%	28	0%	28	0%	27	0%	26	0%	25	0%	25	0%	24	0%	21	0%
39 日本ガス石油機器工業会	765	0%	※ 765	0%	515	0%	588	0%	529	0%	560	0%	504	0%	364	0%	361	0%	374	0%	432	0%	423	0%	402	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	*89,539*	*(19%)*	*65,719*	*(21%)*	*42,143*	*(18%)*	*37,587*	*(23%)*	*37,983*	*(19%)*	*37,174*	*(19%)*	*32,399*	*(22%)*	*34,867*	*(17%)*	*34,043*	*(17%)*	*30,884*	*(20%)*	*32,198*	*(18%)*	*30,344*	*(19%)*		-
27 電気機械器具製造業	24,984	4%	18,018	4%	11,024	3%	10,373	3%	8,610	3%	7,977	3%	7,988	3%	7,760	3%	7,635	3%	8,396	3%	8,473	3%	7,590	3%	8,827	4%
5 電機・電子4団体	24,984	4%	18,018	4%	11,024	3%	10,373	3%	8,610	3%	7,977	3%	7,988	3%	7,760	3%	7,635	3%	8,396	3%	8,473	3%	7,590	3%	8,827	4%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	*13,747*	*(182%)*	*11,768*	*(153%)*	*11,558*	*(95%)*	*9,358*	*(111%)*	*9,019*	*(95%)*	*8,709*	*(92%)*	*7,788*	*(103%)*	*7,897*	*(98%)*	*7,892*	*(97%)*	*7,796*	*(108%)*	*6,934*	*(122%)*	*6,122*	*(124%)*		-
30 輸送用機械器具製造業	95,710	15%	78,380	16%	46,264	13%	44,583	14%	44,351	14%	44,490	14%	41,521	14%	39,790	14%	40,407	15%	39,063	15%	39,556	15%	36,524	15%	31,709	14%
7 日本自動車部品工業会	22,725	4%	18,121	4%	9,493	3%	8,533	3%	8,387	3%	7,942	3%	7,412	2%	6,905	2%	7,054	3%	4,733	2%	5,412	2%	3,713	2%	3,806	2%
8 日本自動車工業会	52,685	8%	41,199	8%	25,623	7%	24,921	8%	24,224	8%	25,106	8%	23,848	8%	22,169	8%	23,367	9%	24,835	9%	24,254	9%	23,029	10%	19,247	8%
25 日本自動車車体工業会	20,300	3%	19,060	4%	11,148	3%	11,129	3%	11,740	4%	11,442	4%	10,261	3%	10,716	4%	9,986	4%	9,495	4%	9,890	4%	9,782	4%	8,656	4%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	*183,856*	*(52%)*	*143,735*	*(55%)*	*102,699*	*(45%)*	*98,936*	*(45%)*	*91,697*	*(48%)*	*87,684*	*(51%)*	*92,052*	*(45%)*	*85,610*	*(46%)*	*91,552*	*(44%)*	*90,170*	*(43%)*	*90,718*	*(44%)*	*84,900*	*(43%)*		-
32 その他の製造業	350	0%	320	0%	125	0%	118	0%	113	0%	114	0%	113	0%	133	0%	123	0%	119	0%	114	0%	116	0%	112	0%
34 全国楽器協会	240	0%	※ 240	0%	56	0%	55	0%	47	0%	44	0%	43	0%	63	0%	53	0%	53	0%	50	0%	52	0%	45	0%
35 日本釣用品工業会	110	0%	80	0%	69	0%	63	0%	66	0%	70	0%	70	0%	70	0%	70	0%	66	0%	64	0%	64	0%	67	0%
34 ガス業	87	0%	27	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
1 日本ガス協会	87	0%	27	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	*130*	*(67%)*	*70*	*(39%)*	-		-		-		*0*	*(0%)*	*0*	*(0%)*	*0*	*(0%)*	*0*	*(0%)*	*0*	-	*0*	-	*0*	-		-
603燃料小売業	120,563	19%	120,563	24%	120,563	35%	120,563	37%	120,563	38%	120,563	38%	120,563	40%	120,563	41%	99,959	37%	95,848	37%	94,333	37%	90,954	37%	82,941	37%
40 全国石油商業組合連合会	120,563	19%	※ 120,563	24%	※ 120,563	35%	※ 120,563	37%	※ 120,563	38%	※ 120,563	38%	※ 120,563	40%	※ 120,563	41%	99,959	37%	95,848	37%	94,333	37%	90,954	37%	82,941	37%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	*120,563*	*(100%)*	*114,154*	*(106%)*	*108,927*	*(111%)*	*106,247*	*(113%)*	*105,086*	*(115%)*	*103,977*	*(116%)*	*100,297*	*(120%)*	*101,295*	*(119%)*	*100,204*	*(100%)*	*98,626*	*(97%)*	*98,655*	*(96%)*	*95,662*	*(95%)*		-
86 自動車整備業	536	0%	536	0%	333	0%	312	0%	311	0%	299	0%	321	0%	342	0%	312	0%	332	0%	260	0%	239	0%	213	0%
32 日本自動車車体整備協同組合連合会	536	0%	※ 536	0%	333	0%	312	0%	311	0%	299	0%	321	0%	342	0%	312	0%	332	0%	260	0%	239	0%	213	0%
(参考)令和2年度度環境省調査(補促率)	*34,077*	*(2%)*	*27,832*	*(2%)*	*20,251*	*(2%)*	*20,124*	*(2%)*	*19,702*	*(2%)*	*19,356*	*(2%)*	*20,237*	*(2%)*	*19,849*	*(2%)*	*20,475*	*(2%)*	*17,289*	*(2%)*	*17,892*	*(1%)*	*17,140*	*(1%)*		-
99 分類不能の産業	2,600	0%	2,600	1%	1,666	0%	1,784	1%	1,576	0%	1,578	0%	1,417	0%	1,299	0%	1,050	0%	765	0%	734	0%	477	0%	612	0%
41 産業環境管理協会	2,600	0%	2,600	1%	1,666	0%	1,784	1%	1,576	0%	1,578	0%	1,417	0%	1,299	0%	1,050	0%	765	0%	734	0%	477	0%	612	0%
合計	622,457	100%	492,750	100%	344,372	100%	327,483	100%	316,708	100%	315,899	100%	302,866	100%	292,946	100%	270,495	100%	262,197	100%	257,479	100%	243,287	100%	227,164	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）複数の業種にまたがる場合、代表的な業種で集計しているため、補足率が100%を超える場合がある。（例：電気・電子4団体は、電気機械器具製造業、一般機械器具製造業（うち事務用・サービス用・民生用機械器具製造業）にまたがるが、電気機械器具製造業として集計）

注3）排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計（※印）

注4）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

注5）令和二年度環境省調査は、「揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリについて」（令和3年3月、環境省）の業種別VOC排出量の推計結果のこと。

付表3　地域別のVOC排出量

団体名		【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
1 日本ガス協会		87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	対策地域計	0	0%	0	0%	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　東	0	0%	0	0%	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	中　部	0	0%	0	0%	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　西	0	0%	0	0%	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
2 日本染色協会		8,558	100%	7,118	100%	3,043	100%	2,727	100%	2,072	100%	1,802	100%	1,581	100%	1,597	100%	1,355	100%	1,612	100%	1,506	100%	1,249	100%	919	100%
	対策地域計	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 日本製紙連合会		9,534	100%	3,815	100%	1,313	100%	1,315	100%	1,207	100%	1,225	100%	1,270	100%	1,244	100%	1,261	100%	1,215	100%	1,178	100%	1,091	100%	973	100%
	対策地域計	2,054	22%	431	11%	287	22%	261	20%	231	19%	239	20%	258	20%	253	20%	284	23%	307	25%	331	28%	265	24%	293	30%
	関　東	2,054	22%	431	11%	287	22%	261	20%	231	19%	239	20%	258	20%	253	20%	284	23%	307	25%	331	28%	265	24%	293	30%
	中　部	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　西	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
4 日本鉄鋼連盟		6,992	100%	4,518	100%	3,043	100%	2,777	100%	2,365	100%	2,252	100%	2,392	100%	2,176	100%	2,112	100%	2,121	100%	2,177	100%	2,230	100%	1,753	100%
	対策地域計	3,190	46%	2,589	57%	1,742	57%	1,508	54%	1,244	53%	1,181	52%	1,214	51%	1,071	49%	1,061	50%	1,095	52%	1,070	49%	1,118	50%	875	50%
	関　東	1,468	21%	1,305	29%	672	22%	576	21%	528	22%	421	19%	374	16%	335	15%	302	14%	282	13%	287	13%	281	13%	246	14%
	中　部	632	9%	491	11%	284	9%	235	8%	205	9%	185	8%	201	8%	130	6%	123	6%	145	7%	200	9%	214	10%	150	9%
	関　西	1,090	16%	793	18%	786	26%	697	25%	511	22%	575	26%	639	27%	606	28%	636	30%	668	32%	584	27%	624	28%	479	27%
5 電機・電子4団体		24,984	100%	18,018	100%	11,024	100%	10,373	100%	8,610	100%	7,977	100%	7,988	100%	7,760	100%	7,635	100%	8,396	100%	8,473	100%	7,590	100%	8,827	100%
	対策地域計	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　東	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	中　部	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　西	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
6 日本塗料工業会		3,947	100%	3,061	100%	2,318	100%	2,255	100%	2,161	100%	2,095	100%	2,061	100%	2,133	100%	2,113	100%	2,129	100%	2,237	100%	2,095	100%	1,980	100%
	対策地域計	1,519	38%	1,866	61%	1,415	61%	1,376	61%	1,319	61%	1,277	61%	1,257	61%	1,301	61%	1,290	61%	1,298	61%	1,363	61%	1,277	61%	1,207	61%
	関　東	38	1%	719	23%	545	24%	530	24%	508	24%	492	23%	484	23%	501	23%	497	24%	500	23%	525	23%	492	23%	465	23%
	中　部	553	14%	428	14%	325	14%	316	14%	303	14%	293	14%	289	14%	299	14%	296	14%	298	14%	313	14%	293	14%	277	14%
	関　西	928	24%	719	23%	545	24%	530	24%	508	24%	492	23%	484	23%	501	23%	497	24%	500	23%	525	23%	492	23%	465	23%
7 日本自動車部品工業会		22,725	100%	18,121	100%	9,493	100%	8,533	100%	8,387	100%	7,942	100%	7,412	100%	6,905	100%	7,054	100%	4,733	100%	5,412	100%	3,713	100%	3,806	100%
	対策地域計	9,642	42%	8,317	46%	3,812	40%	3,493	41%	4,027	48%	4,613	58%	3,287	44%	2,845	41%	2,902	41%	2,373	50%	2,322	43%	2,217	60%	2,085	55%
	関　東	2,120	9%	2,017	11%	1,253	13%	955	11%	880	10%	631	8%	521	7%	413	6%	516	7%	541	11%	637	12%	478	13%	930	24%
	中　部	7,401	33%	6,208	34%	2,531	27%	2,513	29%	3,112	37%	3,955	50%	2,734	37%	2,396	35%	2,327	33%	1,746	37%	1,629	30%	1,694	46%	1,110	29%
	関　西	121	1%	92	1%	28	0%	25	0%	35	0%	27	0%	32	0%	36	1%	59	1%	86	2%	56	1%	45	1%	45	1%
8 日本自動車工業会		52,685	100%	41,199	100%	25,623	100%	24,921	100%	24,224	100%	25,106	100%	23,848	100%	22,169	100%	23,367	100%	24,835	100%	24,254	100%	23,029	100%	19,247	100%
	対策地域計	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
	関　西	-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
9 線材製品協会		1,291	100%	894	100%	291	100%	241	100%	238	100%	231	100%	223	100%	191	100%	192	100%	201	100%	198	100%	174	100%	163	100%
	対策地域計	942	73%	784	88%	258	89%	214	89%	212	89%	210	91%	207	93%	174	91%	173	90%	188	94%	187	94%	163	94%	154	94%
	関　東	65	5%	30	3%	2	1%	4	2%	4	1%	4	2%	3	1%	3	1%	3	2%	2	1%	2	1%	1	0%	1	0%
	中　部	0	0%	15	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	関　西	81	6%	15	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10 日本伸銅協会		796	62%	739	83%	256	88%	210	87%	209	88%	206	89%	205	92%	171	90%	170	88%	186	93%	185	93%	162	93%	153	94%
		436	100%	184	100%	91	100%	83	100%	92	100%	92	100%	77	100%	63	100%	72	100%	67	100%	72	100%	64	100%	53	100%
	対策地域計	178	41%	12	7%	3	3%	4	5%	4	4%	4	5%	0	1%	5	8%	5	7%	6	8%	6	8%	5	8%	5	9%
	関　東	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	1	2%	3	5%	3	4%	3	5%	3	6%
	中　部	161	37%	9	5%	1	1%	0	0%	0	1%	1	1%	0	0%	1	1%	0	1%	1	1%	1	1%	1	2%	1	2%
	関　西	17	4%	3	1%	1	1%	4	4%	3	4%	4	4%	0	0%	3	5%	3	5%	2	3%	2	3%	1	2%	1	2%

団体名		【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
11 全国鍍金工業組合連合会		1,356	100%	992	100%	846	100%	761	100%	760	100%	730	100%	725	100%	718	100%	703	100%	668	100%	655	100%	641	100%	615	100%
	対策地域計	959	71%	776	78%	530	63%	474	62%	475	63%	458	63%	386	53%	333	46%	328	47%	314	47%	306	47%	301	47%	288	47%
	関　東	548	40%	502	51%	367	43%	326	43%	326	43%	316	43%	293	40%	263	37%	260	37%	247	37%	242	37%	237	37%	227	37%
	中　部	137	10%	61	6%	54	6%	46	6%	46	6%	44	6%	13	2%	19	3%	19	3%	20	3%	19	3%	19	3%	18	3%
	関　西	274	20%	213	21%	109	13%	102	13%	103	14%	98	13%	80	11%	51	7%	49	7%	47	7%	45	7%	45	7%	43	7%
12 日本電線工業会		1,439	100%	1,013	100%	707	100%	631	100%	575	100%	619	100%	591	100%	573	100%	604	100%	633	100%	543	100%	614	100%	567	100%
	対策地域計	519	36%	325	32%	268	38%	238	38%	180	31%	207	33%	205	35%	234	41%	243	40%	273	43%	238	44%	266	43%	303	53%
	関　東	230	16%	73	7%	85	12%	54	9%	40	7%	52	8%	48	8%	51	9%	54	9%	63	10%	53	10%	53	9%	54	10%
	中　部	179	12%	123	12%	119	17%	125	20%	107	19%	118	19%	127	21%	135	24%	138	23%	162	26%	134	25%	175	28%	199	35%
	関　西	110	8%	129	13%	64	9%	59	9%	34	6%	37	6%	30	5%	48	8%	51	8%	47	7%	52	9%	39	6%	50	9%
14 日本アルミニウム協会		1,900	100%	569	100%	348	100%	324	100%	327	100%	289	100%	338	100%	285	100%	302	100%	292	100%	277	100%	265	100%	181	100%
	対策地域計	160	8%	108	19%	10	3%	11	3%	12	4%	17	6%	15	4%	14	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	160	8%	108	19%	10	3%	11	3%	12	4%	17	6%	15	4%	14	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 日本建材・住宅設備産業協会		8,031	100%	6,059	100%	2,208	100%	1,922	100%	1,657	100%	1,787	100%	1,842	100%	1,548	100%	1,293	100%	1,174	100%	993	100%	916	100%	657	100%
	対策地域計	3,682	46%	3,283	54%	1,586	72%	1,252	65%	980	59%	1,114	62%	967	52%	771	50%	532	41%	449	38%	424	43%	436	48%	357	54%
	関　東	1,069	13%	695	11%	1,181	53%	811	42%	547	33%	521	29%	433	24%	417	27%	361	28%	255	22%	229	23%	232	25%	172	26%
	中　部	2,419	30%	2,391	39%	280	13%	297	15%	268	16%	419	23%	400	22%	239	15%	43	3%	36	3%	40	4%	38	4%	34	5%
	関　西	194	2%	197	3%	125	6%	144	7%	165	10%	174	10%	134	7%	115	7%	128	10%	158	13%	155	16%	166	18%	151	23%
16 天然ガス鉱業会		2,603	100%	1,665	100%	3,095	100%	1,278	100%	1,082	100%	1,028	100%	1,155	100%	878	100%	871	100%	1,839	100%	1,656	100%	1,399	100%	1,561	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 石油連盟		61,426	100%	54,859	100%	42,551	100%	41,853	100%	39,229	100%	39,373	100%	37,273	100%	37,287	100%	36,894	100%	35,246	100%	33,259	100%	31,718	100%	28,986	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 日本化学工業協会		88,809	100%	50,690	100%	32,662	100%	29,862	100%	30,822	100%	31,009	100%	30,169	100%	28,596	100%	25,554	100%	26,106	100%	26,038	100%	22,998	100%	21,349	100%
	対策地域計	50,529	57%	32,334	64%	19,518	60%	17,572	59%	19,771	64%	19,491	63%	18,949	63%	17,971	63%	16,844	66%	16,318	63%	16,637	64%	15,116	66%	13,130	62%
	関　東	32,463	37%	17,620	35%	9,928	30%	8,362	28%	9,928	32%	9,630	31%	9,515	32%	8,943	31%	8,062	32%	8,265	32%	8,094	31%	7,888	34%	6,521	31%
	中　部	7,208	8%	6,761	13%	4,376	13%	4,375	15%	4,203	14%	4,268	14%	3,926	13%	4,003	14%	3,855	15%	3,216	12%	3,700	14%	3,260	14%	3,047	14%
	関　西	10,858	12%	7,953	16%	5,214	16%	4,835	16%	5,640	18%	5,593	18%	5,508	18%	5,025	18%	4,927	19%	4,837	19%	4,843	19%	3,968	17%	3,562	17%
19 日本印刷産業連合会		115,500	100%	76,600	100%	42,700	100%	35,500	100%	34,600	100%	35,400	100%	28,200	100%	24,500	100%	26,800	100%	22,800	100%	23,600	100%	20,200	100%	24,100	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 ドラム缶工業会		1,763	100%	1,818	100%	1,592	100%	1,570	100%	1,598	100%	1,545	100%	1,382	100%	1,322	100%	1,157	100%	1,217	100%	1,186	100%	1,213	100%	1,171	100%
	対策地域計	1,430	81%	1,481	81%	1,289	81%	1,286	82%	1,300	81%	1,246	81%	1,077	78%	1,019	77%	874	76%	943	77%	916	77%	928	77%	896	77%
	関　東	843	48%	923	51%	833	52%	810	52%	826	52%	792	51%	613	44%	542	41%	487	42%	514	42%	519	44%	511	42%	470	40%
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	587	33%	558	31%	456	29%	476	30%	474	30%	454	29%	464	34%	477	36%	387	33%	429	35%	396	33%	417	34%	426	36%

団体名		【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
21 軽金属製品協会		349	100%	312	100%	97	100%	137	100%	148	100%	174	100%	168	100%	152	100%	189	100%	175	100%	162	100%	148	100%	125	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 日本プラスチック工業連盟		12,211	100%	20,193	100%	6,623	100%	6,294	100%	4,760	100%	4,594	100%	4,594	100%	4,662	100%	4,263	100%	4,792	100%	4,533	100%	6,188	100%	5,778	100%
	対策地域計	3,138	26%	7,279	36%	2,292	35%	1,957	31%	988	21%	1,240	27%	1,084	24%	1,021	22%	919	22%	1,054	22%	921	20%	1,241	20%	1,582	27%
	関　東	2,192	18%	4,181	21%	1,300	20%	1,039	17%	350	7%	594	13%	559	12%	468	10%	375	9%	637	13%	590	13%	683	11%	1,090	19%
	中　部	757	6%	2,036	10%	858	13%	617	10%	520	11%	529	12%	410	9%	493	11%	386	9%	317	7%	232	5%	309	5%	279	5%
	関　西	189	2%	1,062	5%	134	2%	301	5%	118	2%	117	3%	115	3%	60	1%	158	4%	100	2%	99	2%	249	4%	213	4%
23 日本オフィス家具協会		1,977	100%	1,235	100%	680	100%	663	100%	689	100%	727	100%	860	100%	802	100%	796	100%	779	100%	765	100%	746	100%	639	100%
	対策地域計	875	44%	516	42%	260	38%	268	40%	185	27%	215	30%	292	34%	270	34%	257	32%	252	32%	227	30%	227	30%	181	28%
	関　東	346	18%	247	20%	140	21%	116	17%	51	7%	47	6%	101	12%	67	8%	59	7%	61	8%	58	8%	56	8%	30	5%
	中　部	431	22%	215	17%	99	15%	101	15%	108	16%	147	20%	169	20%	178	22%	180	23%	174	22%	159	21%	162	22%	143	22%
	関　西	98	5%	54	4%	21	3%	51	8%	26	4%	21	3%	22	3%	25	3%	18	2%	17	2%	10	1%	9	1%	8	1%
24 日本表面処理機材工業会		1	100%	1	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%
	対策地域計	1	100%	1	100%	0	100%	0	96%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	70%	0	98%	0	98%	0	100%	0	100%
	関　東	0	2%	0	1%	0	6%	0	12%	0	8%	0	8%	0	12%	0	11%	0	8%	0	7%	0	8%	0	10%	0	3%
	中　部	1	96%	1	97%	0	74%	0	54%	0	70%	0	70%	0	55%	0	56%	0	39%	0	42%	0	45%	0	55%	0	61%
	関　西	0	1%	0	2%	0	19%	0	31%	0	21%	0	22%	0	33%	0	32%	0	23%	0	49%	0	45%	0	35%	0	36%
25 日本自動車車体工業会		20,300	100%	19,060	100%	11,148	100%	11,129	100%	11,740	100%	11,442	100%	10,261	100%	10,716	100%	9,986	100%	9,495	100%	9,890	100%	9,782	100%	8,656	100%
	対策地域計	11,570	57%	11,126	58%	6,592	59%	6,146	55%	6,045	51%	5,662	49%	5,485	53%	5,547	52%	5,478	55%	5,262	55%	5,269	53%	5,288	54%	4,879	56%
	関　東	2,728	13%	3,311	17%	1,450	13%	909	8%	783	7%	804	7%	844	8%	808	8%	652	7%	682	7%	730	7%	650	7%	523	6%
	中　部	7,896	39%	7,741	41%	5,043	45%	5,132	46%	5,160	44%	4,730	41%	4,519	44%	4,639	43%	4,717	47%	4,495	47%	4,449	45%	4,557	47%	4,307	50%
	関　西	946	5%	74	0%	99	1%	105	1%	102	1%	128	1%	122	1%	100	1%	109	1%	85	1%	90	1%	81	1%	49	1%
26 日本接着剤工業会		598	100%	470	100%	318	100%	323	100%	331	100%	355	100%	323	100%	315	100%	319	100%	334	100%	327	100%	297	100%	259	100%
	対策地域計	240	40%	168	36%	109	34%	144	45%	149	45%	149	42%	127	39%	124	39%	127	40%	132	40%	147	45%	114	38%	102	39%
	関　東	93	16%	61	13%	42	13%	48	15%	52	16%	44	12%	40	12%	39	12%	36	11%	37	11%	34	10%	28	9%	27	10%
	中　部	76	13%	72	15%	41	13%	46	14%	47	14%	50	14%	49	15%	49	16%	56	18%	59	18%	61	19%	58	20%	53	20%
	関　西	71	12%	35	7%	26	8%	50	15%	50	15%	55	15%	38	12%	36	11%	35	11%	36	11%	52	16%	28	9%	22	8%
28 プレハブ建築協会		1,675	100%	1,096	100%	712	100%	1,920	100%	852	100%	506	100%	385	100%	290	100%	247	100%	221	100%	209	100%	198	100%	174	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29 印刷インキ工業連合会		423	100%	313	100%	283	100%	205	100%	239	100%	243	100%	255	100%	245	100%	250	100%	251	100%	182	100%	205	100%	202	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中　部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関　西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30 日本工業塗装協同組合連合会		1,958	100%	※ 1,958	100%	1,358	100%	1,302	100%	1,253	100%	1,309	100%	1,801	100%	1,474	100%	1,768	100%	2,270	100%	1,875	100%	2,160	100%	1,435	100%
	対策地域計	1,874	96%	-	-	1,298	96%	1,238	95%	1,178	94%	1,251	96%	1,690	94%	1,396	95%	1,556	88%	1,760	78%	1,391	74%	1,685	78%	1,282	89%
	関　東	869	44%	-	-	514	38%	486	37%	460	37%	610	47%	574	32%	511	35%	460	26%	526	23%	364	19%	343	16%	305	21%
	中　部	856	44%	-	-	742	55%	739	57%	701	56%	481	37%	983	55%	738	50%	1,090	62%	1,210	54%	1,006	54%	1,194	55%	955	67%
	関　西	149	8%	-	-	42	3%	13	1%	17	1%	160	12%	133	7%	147	10%	6	0%	15	1%	21	1%	148	7%	22	2%

団体名		【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
31 日本ゴム工業会		22,221	100%	19,103	100%	11,580	100%	10,320	100%	8,846	100%	8,311	100%	8,014	100%	7,435	100%	7,260	100%	7,038	100%	6,872	100%	6,481	100%	5,579	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 日本自動車車体整備協同組合連合会		536	100%	※ 536	100%	333	100%	312	100%	311	100%	299	100%	321	100%	342	100%	312	100%	332	100%	260	100%	239	100%	213	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33 日本粘着テープ工業会		21,175	100%	12,315	100%	5,090	100%	4,600	100%	4,463	100%	4,334	100%	4,522	100%	3,982	100%	4,048	100%	3,896	100%	2,853	100%	3,456	100%	2,936	100%
	対策地域計	14,745	70%	9,475	77%	3,652	72%	2,745	60%	2,440	55%	2,463	57%	2,304	51%	2,614	66%	2,750	68%	2,775	71%	1,980	69%	1,704	49%	1,162	40%
	関東	9,800	46%	6,683	54%	2,317	46%	1,658	36%	1,455	33%	1,435	33%	1,408	31%	1,850	46%	1,891	47%	1,979	51%	1,194	42%	1,121	32%	590	20%
	中部	2,730	13%	2,075	17%	1,019	20%	826	18%	698	16%	768	18%	637	14%	625	16%	732	18%	497	13%	569	20%	386	11%	396	13%
	関西	2,215	10%	717	6%	316	6%	261	6%	287	6%	260	6%	259	6%	139	3%	127	3%	299	8%	217	8%	197	6%	176	6%
34 全国楽器協会		240	100%	※ 240	100%	56	100%	55	100%	47	100%	44	100%	43	100%	63	100%	53	100%	53	100%	50	100%	52	100%	45	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35 日本釣用品工業会		110	100%	80	100%	69	100%	63	100%	66	100%	70	100%	70	100%	70	100%	70	100%	66	100%	64	100%	64	100%	67	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 日本金属ハウスウェア工業組合		489	100%	※ 489	100%	302	100%	270	100%	262	100%	260	100%	210	100%	200	100%	199	100%	199	100%	199	100%	193	100%	170	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37 日本金属洋食器工業組合		201	100%	※ 201	100%	33	100%	29	100%	28	100%	28	100%	28	100%	27	100%	26	100%	25	100%	25	100%	24	100%	21	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0%	0	0%	0	0%	-	-	0	0%	0	0%
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0%	0	0%
39 日本ガス石油機器工業会		765	100%	※ 765	100%	513	100%	588	100%	529	100%	560	100%	504	100%	364	100%	361	100%	374	100%	432	100%	423	100%	402	100%
	対策地域計	-	-	-	-	148	29%	168	29%	167	32%	200	36%	152	30%	160	44%	163	45%	170	46%	192	44%	188	44%	193	48%
	関東	-	-	-	-	21	4%	31	5%	26	5%	47	8%	41	8%	35	10%	38	11%	38	10%	38	9%	32	8%	28	7%
	中部	-	-	-	-	91	18%	110	19%	116	22%	129	23%	88	17%	104	29%	101	28%	108	29%	131	30%	132	31%	145	36%
	関西	-	-	-	-	36	7%	27	5%	25	5%	25	4%	23	5%	21	6%	24	7%	25	7%	23	5%	23	5%	21	5%
40 全国石油商業組合連合会		120,563	100%	※ 120,563	100%	※ 120,563	100%	※ 120,563	100%	※ 120,563	100%	※ 120,563	100%	※ 120,563	100%	※ 120,563	100%	99,959	100%	95,848	100%	94,333	100%	90,954	100%	82,941	100%
	対策地域計	46,767	39%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36,041	36%	33,381	35%	32,716	35%	30,864	34%	28,120	34%
	関東	25,938	22%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,942	21%	19,137	20%	18,547	20%	17,318	19%	15,590	19%
	中部	11,221	9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7,503	8%	7,070	7%	7,104	8%	6,669	7%	6,156	7%
	関西	9,608	8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7,596	8%	7,174	7%	7,065	7%	6,877	8%	6,374	8%
41 産業環境管理協会		2,600	100%	2,600	100%	1,666	100%	1,784	100%	1,576	100%	1,578	100%	1,417	100%	1,299	100%	1,050	100%	765	100%	734	100%	477	100%	612	100%
	対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	2%
	関東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1%
	中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0%
	関西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0%
合計（地域別データがあるもののみ）		327,092	100%	145,036	100%	80,642	100%	75,173	100%	73,954	100%	73,137	100%	71,347	100%	68,096	100%	163,641	100%	158,077	100%	155,722	100%	149,780	100%	136,767	100%
	対策地域計	154,014	47%	80,871	56%	45,069	56%	40,355	54%	40,908	55%	41,238	56%	38,958	55%	37,123	55%	71,828	44%	68,349	43%	66,643	43%	63,403	42%	57,104	42%
	関東	83,024	25%	38,907	27%	20,947	26%	16,987	23%	17,007	23%	16,697	23%	16,124	23%	15,514	23%	35,280	22%	34,075	22%	32,477	21%	30,671	20%	27,569	20%
	中部	42,739	13%	28,626	20%	15,863	20%	15,479	21%	15,594	21%	16,116	22%	14,545	20%	14,048	21%	21,567	13%	19,562	12%	19,746	13%	19,161	13%	17,273	13%
	関西	28,251	9%	13,337	9%	8,258	10%	7,889	10%	8,307	11%	8,425	12%	8,288	12%	7,561	11%	14,980	9%	14,711	9%	14,420	9%	13,571	9%	12,263	9%

注1）排出量自体を把握していない年度がある場合は、直近の把握している年度の排出量を用いて集計（※印）
注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

付表4　物質別VOC排出量

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H23年度】		【H24年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	87,297	14%	54,727	11%	25,338	7%	21,719	7%	18,553	6%	18,135	6%	17,122	6%	15,884	5%	15,860	6%	14,975	6%	13,428	5%	13,023	5%	11,982	5%
－	炭化水素類	192,887	31%	63,061	13%	50,459	15%	47,535	15%	47,528	15%	47,171	15%	45,533	15%	44,732	15%	144,568	53%	139,126	53%	136,102	53%	130,489	54%	118,512	52%
－	酢酸エチル	30,894	5%	30,085	6%	13,418	4%	11,804	4%	11,146	4%	11,993	4%	10,124	3%	9,265	3%	9,913	4%	9,240	4%	8,744	3%	9,472	4%	10,660	5%
－	メチルエチルケトン	24,628	4%	19,306	4%	10,227	3%	7,887	2%	5,124	2%	5,513	2%	5,005	2%	4,619	2%	4,702	2%	4,373	2%	4,348	2%	3,934	2%	4,577	2%
80	キシレン	22,493	4%	13,547	3%	6,734	2%	6,408	2%	6,484	2%	6,452	2%	6,545	2%	5,716	2%	5,806	2%	5,731	2%	5,387	2%	4,939	2%	4,153	2%
－	イソプロピルアルコール	19,634	3%	16,563	3%	9,304	3%	7,023	2%	7,464	2%	7,278	2%	5,896	2%	5,000	2%	5,556	2%	4,998	2%	5,201	2%	4,514	2%	4,916	2%
－	メチルアルコール（メタノール）	13,219	2%	8,448	2%	5,612	2%	6,504	2%	5,663	2%	5,732	2%	5,473	2%	4,870	2%	3,846	1%	4,313	2%	3,810	1%	3,362	1%	3,788	2%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	12,376	2%	6,925	1%	2,303	1%	2,606	1%	2,452	1%	2,285	1%	2,309	1%	2,140	1%	1,942	1%	2,324	1%	2,235	1%	1,864	1%	1,759	1%
－	アセトン	9,019	1%	5,541	1%	4,012	1%	3,794	1%	3,538	1%	3,479	1%	3,397	1%	3,180	1%	3,035	1%	2,646	1%	2,419	1%	2,215	1%	2,188	1%
392	ノルマルーヘキサン	8,398	1%	7,067	1%	3,541	1%	3,030	1%	2,751	1%	3,031	1%	2,880	1%	2,497	1%	2,179	1%	2,663	1%	3,067	1%	2,156	1%	2,137	1%
－	シクロヘキサン	4,129	1%	2,747	1%	1,541	0%	1,501	0%	1,238	0%	937	0%	1,020	0%	1,415	0%	1,242	0%	1,339	1%	1,147	0%	1,000	0%	778	0%
53	エチルベンゼン	3,830	1%	3,835	1%	2,905	1%	2,761	1%	2,968	1%	3,132	1%	3,098	1%	2,874	1%	2,970	1%	3,208	1%	3,363	1%	3,125	1%	2,797	1%
128	クロロメタン（塩化メチル）	3,371	1%	576	0%	263	0%	168	0%	1,374	0%	1,530	0%	1,368	0%	1,099	0%	665	0%	751	0%	801	0%	231	0%	228	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	3,215	1%	2,000	0%	588	0%	182	0%	288	0%	286	0%	283	0%	261	0%	255	0%	247	0%	252	0%	254	0%	226	0%
318	二硫化炭素	2,073	0%	2,883	1%	1,966	1%	2,140	1%	1,797	1%	1,839	1%	1,416	0%	1,440	0%	1,359	1%	1,139	0%	1,760	1%	1,305	1%	1,873	1%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）	1,879	0%	31	0%	15	0%	0	0%	13	0%	13	0%	14	0%	22	0%	27	0%	26	0%	29	0%	25	0%	8	0%
281	トリクロロエチレン	1,807	0%	1,480	0%	972	0%	871	0%	840	0%	823	0%	760	0%	750	0%	743	0%	716	0%	720	0%	707	0%	653	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,765	0%	1,129	0%	620	0%	605	0%	613	0%	659	0%	621	0%	555	0%	604	0%	644	0%	631	0%	577	0%	501	0%
134	酢酸ビニル	1,610	0%	1,034	0%	586	0%	2	0%	487	0%	467	0%	497	0%	409	0%	388	0%	346	0%	299	0%	289	0%	329	0%
400	ベンゼン	1,561	0%	323	0%	212	0%	0	0%	178	0%	197	0%	132	0%	121	0%	101	0%	107	0%	109	0%	101	0%	79	0%
240	スチレン	1,417	0%	768	0%	300	0%	30	0%	256	0%	265	0%	258	0%	244	0%	177	0%	196	0%	181	0%	160	0%	183	0%
－	プロピルアルコール	1,311	0%	1,109	0%	651	0%	0	0%	435	0%	354	0%	343	0%	186	0%	245	0%	226	0%	259	0%	218	0%	212	0%
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	0%	204	0%	148	0%	0	0%	102	0%	124	0%	97	0%	91	0%	111	0%	90	0%	93	0%	71	0%	79	0%
94	クロロエチレン（塩化ビニル）	1,072	0%	204	0%	154	0%	0	0%	132	0%	119	0%	164	0%	173	0%	117	0%	141	0%	148	0%	94	0%	128	0%
83	クメン（イソプロピルベンゼン）	897	0%	237	0%	191	0%	2	0%	131	0%	192	0%	205	0%	199	0%	109	0%	137	0%	113	0%	118	0%	120	0%
－	クロロエタン	826	0%	93	0%	55	0%	0	0%	87	0%	75	0%	71	0%	93	0%	107	0%	90	0%	59	0%	82	0%	65	0%
262	テトラクロロエチレン	485	0%	223	0%	100	0%	62	0%	64	0%	73	0%	59	0%	52	0%	50	0%	47	0%	48	0%	43	0%	48	0%
86	クレゾール	269	0%	71	0%	23	0%	26	0%	25	0%	30	0%	33	0%	40	0%	28	0%	30	0%	25	0%	22	0%	18	0%
－	ブタノール	226	0%	232	0%	169	0%	155	0%	151	0%	152	0%	191	0%	164	0%	188	0%	236	0%	322	0%	325	0%	161	0%
－	ブチルセロソルブ	185	0%	230	0%	47	0%	50	0%	64	0%	67	0%	65	0%	68	0%	80	0%	93	0%	132	0%	138	0%	140	0%
349	フェノール	107	0%	41	0%	30	0%	27	0%	30	0%	31	0%	37	0%	40	0%	33	0%	32	0%	33	0%	35	0%	28	0%
－	メチルイソブチルケトン	101	0%	87	0%	77	0%	85	0%	80	0%	88	0%	96	0%	80	0%	89	0%	80	0%	70	0%	67	0%	68	0%
－	イソブタノール	58	0%	73	0%	27	0%	8	0%	6	0%	8	0%	11	0%	16	0%	9	0%	8	0%	11	0%	10	0%	8	0%
－	酢酸ブチル	0	0%	17	0%	17	0%	12	0%	17	0%	17	0%	14	0%	17	0%	17	0%	15	0%	84	0%	51	0%	60	0%
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）	0	0%	0	0%	8	0%	9	0%	9	0%	42	0%	40	0%	28	0%	26	0%	29	0%	29	0%	32	0%	29	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0%	0	0%	3	0%	0	0%	0	0%	0	0%	6	0%	5	0%	2	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
－	その他	48,421	8%	30,925	6%	23,277	7%	24,327	7%	23,186	7%	22,747	7%	19,582	6%	18,550	6%	18,910	7%	16,951	6%	17,280	7%	15,035	6%	14,730	6%
－	物質別データなし	120,233	19%	95,816	19%	57,896	17%	55,595	17%	50,875	16%	49,892	16%	47,485	16%	45,489	16%	44,448	16%	44,878	17%	44,731	17%	43,198	18%	38,942	17%
	合計	622,457	100%	492,750	100%	344,372	100%	327,483	100%	316,708	100%	315,899	100%	302,866	100%	292,946	100%	270,495	100%	262,197	100%	257,479	100%	243,287	100%	227,164	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

注3）VOC排出量の合計には、全国石油商業組合連合会の排出実績を含む。ただし、平成17年度から平成27年度まではデータがないことから、平成12年度から変化していないと仮定。なお、炭化水素類には、平成17年度から平成27年度までの全国石油商業組合連合会の排出実績は含まない。

ＶＯＣ排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
令和二年度実績（個票）

1 日本ガス協会 ･･････18
2 日本染色協会 ･･････20
3 日本製紙連合会 ･･････22
4 日本鉄鋼連盟 ･･････24
5 電機・電子４団体 ･･････26
6 日本塗料工業会 ･･････28
7 日本自動車部品工業会 ･･････30
8 日本自動車工業会 ･･････32
9 線材製品協会 ･･････34
10 日本伸銅協会 ･･････36
11 全国鍍金工業組合連合会 ･･････38
12 日本電線工業会 ･･････40
13 日本アルミニウム協会 ･･････42
14 日本建材・住宅設備産業協会 ･･････44
15 天然ガス鉱業会 ･･････46
16 石油連盟 ･･････48
17 日本化学工業協会 ･･････51
18 日本印刷産業連合会 ･･････53
19 ドラム缶工業会 ･･････55
20 軽金属製品協会 ･･････57
21 日本プラスチック工業連盟 ･･････59
22 日本オフィス家具協会 ･･････61
23 日本表面処理機材工業会 ･･････63
24 日本自動車車体工業会 ･･････65
25 日本接着剤工業会 ･･････67
26 プレハブ建築協会 ･･････69
27 印刷インキ工業連合会 ･･････71
28 日本工業塗装協同組合連合会 ･･････73
29 日本ゴム工業会 ･･････75
30 日本自動車車体整備協同組合連合会 ･･････77
31 日本粘着テープ工業会 ･･････79
32 全国楽器協会 ･･････81
33 日本釣用品工業会 ･･････83
34 日本金属ハウスウェア工業組合 ･･････85
35 日本金属洋食器工業組合 ･･････87
36 日本ガス石油機器工業会 ･･････89
37 全国石油商業組合連合会 ･･････91
その他（産業環境管理協会） ･･････93

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本ガス協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）34 ガス業
ガス業

■ 加盟率
100%（ガス業のうち旧一般ガス事業者の加盟率100%）

■ 捕捉率
100%（ガス業のうち旧一般ガス事業者の捕捉率100%）

○ 主な排出源

・ナフサタンク

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
9社

■ 対象物質
ナフサ

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	87	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（増減率※2）	-	(▲69%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)
うち法規制対象施設	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）										-	
参加企業数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	(0%)	(0%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

非該当

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

17年度に都市ガス天然ガス化計画により、ナフサタンクを全廃

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

平成17年度にナフサ使用設備の高カロリーガス化転換を完了し、平成18年度以降排出はありません。引き続き、現状を維持してまいります。

（自己評価）

全廃後、ゼロ報告を継続している。

○ その他

特になし。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本染色協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）11 繊維工業
織物等機械染色整理業（ただし、毛織物機械染色整理業を除く）

■ 加盟率　81.2%（生産量ベース、繊維統計、ただし毛整理業を除く）

■ 捕捉率　34.3%（同上）

○ 主な排出源

■ 接着
・コンバーティング加工（ラミネート、コーティング、ボンディング）の乾燥工程
・仕上加工の乾燥・ベーキング（形態安定加工）工程

■ 印刷
・捺染（プリント）の乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　事業所・物質当たり年間1トン以上使用実績のある事業所を対象

■ 対象物質　年間1トン以上使用実績のある物質を対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	5,457	5,314	4,893	5,266	5,284	5,066	3,801
排出量	8,558	7,118	3,043	1,802	1,581	1,597	1,355	1,612	1,506	1,249	919
（増減率※2）	-	(▲17%)	(▲64%)	(▲79%)	(▲82%)	(▲81%)	(▲84%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲85%)	(▲89%)
うち法規制対象施設	-	-	-	401	558	576	469	502	463	247	221
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	32	29	27	23	23	27	19	22
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

会員企業に対して、アンケート調査を実施して集計した。

■ 排出量の推計方法

①PRTR対象物質については、PRTR法と同様の排出率を採用する。
②PRTR対象外物質であって、類似のPRTR対象物質がある場合はその物質を参考に排出量を推計する。
③PRTR対象外物質であって、他に参考となるデータがない場合は実際に測定を行う。

■ 参加企業数の増減理由

昨年度の調査において、新型コロナ感染拡大の影響で事務部門でも混乱が生じたことにより、参加企業数は大きく減少したが、今年度は若干落ち着き増加に転じた。しかしながら生産部門は未だ大きな影響を受けており、コロナ禍以前の水準に戻すため、さらには拡大を目指し、広報活動に力を入れる。また、当協会から2社が退会した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

調液量を見直し、廃棄する液量を減らした。

（原材料の転換・削減）

・溶剤系樹脂から非溶剤系樹脂への変更。・塗布面積を縮小し使用量を削減した。・代替物質への切り替え。・ターペン使用量の削減。

（設備導入・改良等）

法規制の対象外の設備にも回収及び燃焼設備を導入した。

（取引先企業、消費者等への周知）

業界誌への寄稿。上部団体の委員会で取組と実績を報告。
協会HPに報告書を掲載。

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

（自己評価）

令和2年度のVOC排出量は919トンであった。排出量削減率では、平成12年度比－89．2%、平成22年度比－70．0%であった。前年に比べ、VOC排出量が減少した第一の要因は、コロナ禍による生産数量の減少で、回答企業数が増加したにも関わらず、昨年度比-17%であった。SDGs対策の一環としてVOC排出削減対策の強化による効果も大きく影響している。VOC排出削減対策の具体例として、VOC処理設備の導入や活用が進められ、接着方法が溶剤からホットメルトに移行したり、コーティング剤が溶剤系から水溶系の薬剤に変更されたりしている。平成22年度比では改善が見られたが、補足率は30%台と低く、回答企業数の増加が必要な事から、自己評価は「B」ランクとした。

○ その他

令和2年度のVOC排出量の「その他　308トン」中には、「1,2,4-トリメチルベンゼン 59トン」「ターペン 116トン」を含む。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本製紙連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）14 パルプ・紙・紙加工品製造業
パルプ・紙・紙加工品製造業

■ 加盟率　86.0%（紙・板紙生産量ベース、経済産業省統計）

■ 捕捉率　100%（同上）

○ 主な排出源

■ 印刷
・印刷後の乾燥工程
・マスター紙の乾燥工程

■ 接着
・剥離紙、粘着製品等の製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象

■ 対象物質　全VOCを対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	17,516	20,564	16,528	13,995	14,214	13,262	12,690	13,206	13,731	12,953	11,794
排出量	9,534	3,815	1,313	1,225	1,270	1,244	1,261	1,215	1,178	1,091	973
（増減率※2）	-	(▲60%)	(▲86%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲88%)	(▲89%)	(▲90%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）										-	
参加企業数	24	22	20	49	49	46	46	47	45	45	45
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	2,054	431	287	239	258	253	284	307	331	265	293
（対全国比）	(22%)	(11%)	(22%)	(20%)	(20%)	(20%)	(23%)	(25%)	(28%)	(24%)	(30%)
関東地域※3	2,054	431	287	239	258	253	284	307	331	265	293
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

・基本的には、購入量より在庫量を差引いた量を使用量としている。なお、薬品類等は、含有濃度を乗じて算出している。

■ 排出量の推計方法

・［処理装置等が無い場合］ 基本的には、使用量＝排出量としているが、一部定期的に実測している事業所もある。
・［処理装置等が有る場合］ 処理装置のVOC除去量を定期的に実測し、それに基づき算出している。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

平成22年度を目標とした以前の自主行動計画の運用時は、VOC排出抑制設備の設置を中心に排出量の削減を図った。
設備投資が一巡したことから、今後はVOC成分の少ない薬品への代替や製造工程の管理強化等により、平成22年度比で悪化しないように努める。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

①自主行動計画では排出量の多かった5物質のみを管理していたが、現在は排出している全ての物質(現在67物質)を管理しており、これを継続する。
②今後とも平成22年度比で悪化しないように努める。

（自己評価）

以前の自主行動計画では、年間排出量が多かった5物質(トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール)を排出管理の対象としていたが、現在は排出している全ての物質(現在67物質)を管理している。全国ベースで大気汚染防止法上のVOC 排出抑制の目標とされていた「平成12年度比3 割程度削減」を十分に達成している。また、経済産業省が定めた自主的取組促進のための指針に掲げられた「平成22年度比で悪化しないように取り組む」も達成している。

○ その他

以前の自主行動計画では、使用量及び排出量を「法規制対象分」「裾切り対象分」「規制対象外分」に分類して集計、公表していた。
自主行動計画の終了時点で調査対象会社の負担軽減を考慮して、環境行動計画では分類しないで集計している。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本鉄鋼連盟

○ 捕捉範囲

■ 業 種　（代表的な業種）22 鉄鋼業
鉄鋼業、金属製品製造業等

■ 加盟率

■ 捕捉率　96%（粗鋼生産量ベース）

○ 主な排出源

■ 塗装　・鋼材塗装工程

■ 洗浄　・ステンレス鋼材表面洗浄工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
・会員であって製造業を営む企業（団体会員である普通鋼電炉工業会の会員を含む）を対象
・ただし、常時使用する従業員20人以下の企業は集計対象から除外

■ 対象物質
PRTR対象52物質とPRTR対象外15物質が対象。ただし、以下の場合は集計対象から除外。
①業として取り扱っている製品（製造プロセス中で精製される副生成物を含む）中の含有率1%未満（PRTR特定第1種物質は0．1%未満）の物質
②年間使用量が1トン未満（PRTR特定第1種物質は0．5トン未満）の物質

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	271,333	242,018	513,420	479,880	486,847	553,512	564,184	539,523	541,869	549,725	521,023
排出量	6,992	4,518	3,043	2,252	2,392	2,176	2,112	2,121	2,177	2,230	1,753
（増減率※2）	-	(▲35%)	(▲56%)	(▲68%)	(▲66%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲70%)	(▲69%)	(▲68%)	(▲75%)
うち法規制対象施設	-	-	-	461	583	482	449	393	402	490	349
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）										-	
参加企業数	90	90	88	80	79	78	76	76	76	75	72
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	3,190	2,589	1,742	1,181	1,214	1,071	1,061	1,095	1,070	1,118	875
（対全国比）	(46%)	(57%)	(57%)	(52%)	(51%)	(49%)	(50%)	(52%)	(49%)	(50%)	(50%)
関東地域※3	1,468	1,305	672	421	374	335	302	282	287	281	246
関西地域※4	1,090	793	786	575	639	606	636	668	584	624	479
中部地域※5	632	491	284	185	201	130	123	145	200	214	150

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

取扱量は、対象VOC物質を、①製品又は中間製品として製造した量、②原料、溶剤、冷媒、熱媒、混合や消費などの目的で使用した量、③非意図的に生成して排出した量を合計したものとする。詳細については「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」の「5.定義」「(1)取扱量」参照。

■ 排出量の推計方法

「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」（日本鉄鋼連盟）の「6.対象物質毎の算出の考え方」、「7.算出手順」参照。

■ 参加企業数の増減理由

会員企業の退会による減。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・適切な運転管理の実施。

（原材料の転換・削減）

・VOC含有溶剤（塗料希釈シンナー等）の代替を実施。

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

・CSR報告書等の公表により、VOC対策に関する情報を提供。

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

当連盟では、平成17年にVOC排出抑制に関する自主行動計画を策定し、会員会社における自主的取組を促進した。その結果、同取組の目標（※）を大きく上回る排出削減（約56％減）を達成した。

これを踏まえ、平成23年度以降は会員各社のVOC排出状況のフォローアップを行っており、当該フォローアップの継続等を通じ、当業界の平成22年度の排出状況を悪化させないように引き続き努めることとする。

※当連盟自主行動計画の目標：
VOC排出量を平成22年度までに平成12年度比で30％削減。

（自己評価）

・上記方向性に基づく取組の結果、令和2年度のVOC排出量（当連盟計）は、平成22年度の水準（当連盟の自主的取組における指標となる年度）を引き続き下回っている。
・上記の通り、鉄鋼業全体としてのVOC排出抑制の取組は適切に行われており、当連盟としては引き続き、同取組の適切な実施に努めていく方針。

○ その他

・対象物質全体での排出削減を目指しているため、物質別の排出量は記載していない。
・法規制対象施設からの排出量については、平成25年度実績より集計を開始した。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　電機・電子4団体

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）29 電気機械器具製造業
電気機械器具製造業、一般機械器具製造業（うち事務用・サービス用・民生用機械器具製造業）

■ 加盟率
不明

■ 捕捉率
92.5%（業界団体内捕捉率、事業所数ベース

○ 主な排出源

■ 塗装

■ 洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
事業所・物質当たり年間1トン以上を取り扱っている企業

■ 対象物質
排出量合計の95%を占める20物質を対象（イソプロピルアルコール、トルエン、アセトン、酢酸ブチル、メタノール、キシレン、メチルエチルケトン、ジクロロメタン、スチレン、エタノール、その他）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	101,933	118,250	116,562	94,692	92,923	93,490	97,763	102,152	104,963	98,603	104,702
排出量	24,984	18,018	11,024	7,977	7,988	7,760	7,635	8,396	8,473	7,590	8,827
（増減率※2）	-	（▲28%）	（▲56%）	（▲68%）	（▲68%）	（▲69%）	（▲69%）	（▲66%）	（▲66%）	（▲70%）	（▲65%）
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）										-	
参加企業数	-	173	140	115	114	105	110	106	105	96	94
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 排出量の推計方法
PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 参加企業数の増減理由

不明

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

工法改善による歩留り向上、作業方法改善等。

（原材料の転換・削減）

洗浄廃液再生蒸留品の購入（業者回収・蒸留再生）、使用済再生IPAの再生利用、代替物質等への切り替え。（年間削減量106.6トン）

（設備導入・改良等）

回収・除害処理設備の設置、蓄熱燃焼式脱臭装置、蒸留再生装置の導入・改良、排ガス燃焼処理装置の導入、設備洗浄の適正化。（年間削減量9,122.9トン）

（取引先企業、消費者等への周知）

排出抑制の状況をサステナビリティレポート等で取引先企業、消費者等へ開示。

（その他の対策）

化学物質排出抑制対策を継続し、VOCの使用実態に即した技術的かつ経済的に適切な排出抑制を実施した。
具体的には製造工程における管理強化として、歩留向上による、工程内での排出量削減。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

電機・電子4団体として少なくとも平成22年度比で悪化しないよう努める。

（自己評価）

・生産増等により、使用量、排出量ともに対前年比で増加し、排出量の増減率（平成12年度比）は▲65%であった。ただし、VOC自主的取り組みの目標である「平成22年度実績（11,024トン）より、悪化しないよう努める」に対しては、令和2年度排出量は8,827トンであり、継続して達成した。

○ その他

・「電機・電子4団体として少なくとも平成22年度比で悪化しないよう努める。」を基本に、VOCの排出抑制に繋がる生産プロセスの見直しや作業の合理化に継続して取り組んでいる。
・「VOC排出量のうち法規制対象施設」分については、報告は出来ない。
会員企業に調査を実施し、報告の可否について、確認したところ、対応可能な企業もあるが、以下の理由により、約半数の企業から対応不可の回答を得ている。
①現行のVOC排出量管理方法では、法規制対象施設とその他施設を区別して管理していない。
②VOCを使用している装置の排気は最終的に集合され、測定はその集合部分で行われているので、装置ごとの切り分けが不可能。
また、そもそも法規制対象施設がない企業も多い状況である。
従って、電機・電子4団体としては、法規制対象施設からの排出量を正確に報告することはできない。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本塗料工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）16 化学工業
塗料製造業

■ 加盟率
約90.6%（生産量ベース、実態調査）

■ 捕捉率
約99.0%（生産量ベース、自主的集計）

○ 主な排出源

■ 塗料製造
・仕込み工程、混合工程、反応工程、ろ過工程、缶詰工程、洗浄工程　等

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業中、塗料・シンナー製造企業を対象

■ 対象物質
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ブチルアルコール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン、その他

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	922,720	801,200	690,486	691,172	693,945	660,868	651,789	670,105	667,410	655,847	611,290
排出量	3,947	3,061	2,318	2,095	2,061	2,133	2,113	2,129	2,237	2,095	1,980
（増減率※2）	-	(▲22%)	(▲41%)	(▲47%)	(▲48%)	(▲46%)	(▲46%)	(▲46%)	(▲43%)	(▲47%)	(▲50%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）										-	
参加企業数	-	77	76	74	78	81	75	79	78	78	78
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	1,519	1,866	1,415	1,277	1,257	1,301	1,290	1,298	1,363	1,277	1,207
（対全国比）	(38%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)
関東地域※3	38	719	545	492	484	501	497	500	525	492	465
関西地域※4	928	719	545	492	484	501	497	500	525	492	465
中部地域※5	553	428	325	293	289	299	296	298	313	293	277

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR対象（ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ）と塗料用溶剤5品目（ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン）の8品目で塗料配合溶剤の51.0%（R1年度）を占めるため、8品目の使用量から算出。

■ 排出量の推計方法

PRTR対象（ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ）と塗料用溶剤5品目（ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン）の8品目で塗料配合溶剤の51.0%（R1年度）を占めるため、8品目の大気排出量から算出。

■ 参加企業数の増減理由

ほぼ昨年と同水準.

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・水性塗料・低VOC塗料系への代替
・設備密閉度の向上
・洗浄溶剤の減量や再生利用及び洗浄時間の短縮
・代替物質への転換
・吸着設備の設置

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

一般社団法人 日本塗料工業会(日塗工)は改正大気汚染防止法の施行(平成18年4月1日)に先立って、平成15年12月から「塗料・塗装によるVOCの排出抑制」に取り組んでおり、合わせて塗料の出荷量からVOC排出量を推計し、その結果を毎年報告している。

今後もVOC排出量推計を継続し、塗料・塗装によるVOCの排出抑制に取り組む。具体的には、平成22年度比で悪化しないよう漸減を目指す。各分野においてVOC削減の努力は引き続いてなされており、期限は当面定めない(現時点で無期限)。

（自己評価）

(1)塗料製造事業所・工場からのVOCの排出状況は、令和元年度の2,095トンから令和2年度は1,980トンで、5.5%減少した。平成12年度に対しての排出量減少割合は49.8%減である。
(2)溶剤使用量は令和元年度比6.8%減である。
(3)平成12年度に対して溶剤使用量の減少割合（33.7%減少）に比して、VOC排出量の減少割合（49.8%減少）が大きく、排出抑制対策の効果が表れている。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本自動車部品工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）31 輸送用機械器具製造業
輸送用機械器具製造業

■ 加盟率　約44%（出荷額から推計）

■ 捕捉率　同上（同上）

○ 主な排出源

■ 塗装

■ 接着

■ 洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象

■ 対象物質　全VOCを対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	36,857	30,056	18,248	17,722	18,023	17,465	17,372	11,973	10,707	9,701	11,802
排出量	22,725	18,121	9,493	7,942	7,412	6,905	7,054	4,733	5,412	3,713	3,806
（増減率※2）	-	(▲20%)	(▲58%)	(▲65%)	(▲67%)	(▲70%)	(▲69%)	(▲79%)	(▲76%)	(▲84%)	(▲83%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	145	139	105	113	114	115	110	96	89	72	67
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	9,642	8,317	3,812	4,613	3,287	2,845	2,902	2,373	2,322	2,217	2,085
（対全国比）	(42%)	(46%)	(40%)	(58%)	(44%)	(41%)	(41%)	(50%)	(43%)	(60%)	(55%)
関東地域※3	2,120	2,017	1,253	631	521	413	516	541	637	478	930
関西地域※4	121	92	28	27	32	36	59	86	56	45	45
中部地域※5	7,401	6,208	2,531	3,955	2,734	2,396	2,327	1,746	1,629	1,694	1,110

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。

■ 排出量の推計方法

PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。

■ **参加企業数の増減理由**

若干減少した。VOC排出拠点の縮小、企業の合併、他団体への回答、部工会からの退会等

○ **排出抑制に貢献する対策等**

■ **対策及びその効果、コスト**

（作業方法の改善等）

設備・工程管理の適正化等
洗浄方法の変更

（原材料の転換・削減）

VOC対応塗料を使用し低減化
代替物質に変更

（設備導入・改良等）

排ガス処理・回収装置の設置

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

■ **自己評価**

（取組の目指すべき方向性）

平成22年度の状況を次年度においても維持していくよう、平成22年度までに取り組んだ内容を今後も継続実施するとともに新たな方策も加え推進する。また、会員会社へ積極的に改善策を啓発していくことで、排出状況を悪化させないように努めることとする。

（自己評価）

令和2年度実績におけるVOC排出量は前年度に比べて増加した。（新規回答企業の影響）
塗装工程、洗浄工程におけるVOC排出削減対策は継続的に実施しており、今後も着実に取り組みを進めていく。

○ **その他**

「規制対象施設からの排出量」を把握していないため

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本自動車工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）31 輸送用機械器具製造業
輸送用機械器具製造業

■ 加盟率　100%（輸送用機械器具製造業のうち自動車製造事業者の加盟率100%）

■ 捕捉率　100%（同上）

○ 主な排出源

■ 塗装
・塗装ブース

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員企業14社＋会員企業のブランド製品を製造している事業所

■ 対象物質　塗料中のVOC（塗料全体－固形分）、溶剤

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	72,685	58,664	37,167	35,438	34,608	31,668	34,181	37,083	36,387	35,774	30,172
排出量	52,685	41,199	25,623	25,106	23,848	22,169	23,367	24,835	24,254	23,029	19,247
（増減率※2）	-	(▲22%)	(▲51%)	(▲52%)	(▲55%)	(▲58%)	(▲56%)	(▲53%)	(▲54%)	(▲56%)	(▲63%)
うち法規制対象施設	47,575	37,203	23,138	22,342	21,164	19,854	20,546	22,168	21,503	20,373	17,059
（増減率※2）	-	(▲22%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲56%)	(▲58%)	(▲57%)	(▲53%)	(▲55%)	(▲57%)	(▲64%)
原単位（g/㎡）	79.6	56.2	39.0	34.6	33.2	32.3	33.1	33.6	32.9	31.9	32.8
（増減率※2）	-	(▲29%)	(▲51%)	(▲57%)	(▲58%)	(▲59%)	(▲58%)	(▲58%)	(▲59%)	(▲60%)	(▲59%)
参加企業数	14	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

VOC使用量（kg）＝塗料の使用量　×　（1－塗料の固形分比率）

■ 排出量の推計方法

VOC排出量（kg）＝VOC使用量　×　（1－塗料の乾燥炉への持込率）　＋
VOC使用量　×　塗料の乾燥炉への持込率　×　（1－乾燥炉のVOC除去率）

■ 参加企業数の増減理由

平成27年度目標値を設定するにあたり、自工会非会員だが会員ブランドの製品を製造している事業所で、車工会にも属していない事業所を追加した。
そのため、基準年とした平成22年度より参加企業が14→16に増えた。それに伴い、2010年度の実績も修正した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

塗着効率の向上、洗浄シンナー対策、日常改善　等

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・塗着効率向上
・洗浄シンナー対策
・水系塗料の採用　等

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

自工会全体として、2020年度のVOC排出量原単位(g/m2)を、2010年度(注)比で悪化しないように取り組んでいく。

（自己評価）

・令和2年度原単位は32.8g/㎡で2010年度（平成22年度）非悪化を達成。
・前年度より塗装面積は18.2%減少。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　線材製品協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）22 鉄鋼業
伸線業

■ 加盟率
不明（従来、経済産業省 生産動態統計と協会自主統計の生産量から加盟率を推定していたが、2014年から生産動態統計の集計対象が全事業所から30人以上の事業所に縮小され、30人未満の事業所の多い伸線業においては、同計算では対応ができなくなった。）

■ 捕捉率
同上（同上）

○ 主な排出源

■ 洗浄
・ステンレス鋼線の製造工程（（潤滑剤の造膜、洗浄）

■ 塗装
・カラー釘の塗装工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業中、VOCを物質当たり1トン以上排出している企業を対象

■ 対象物質
PRTR対象6物質、PRTR対象外4物質（キシレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3,5-トリメチルベンゼン、トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトン、イソプロピルアルコール、アセトン）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	1,436	1,006	358	305	298	247	255	269	285	235	206
排出量	1,291	894	291	231	223	191	192	201	198	174	163
（増減率※2）	-	(▲31%)	(▲77%)	(▲82%)	(▲83%)	(▲85%)	(▲85%)	(▲84%)	(▲85%)	(▲87%)	(▲87%)
うち法規制対象施設	239	227	159	107	90	91	90	78	70	63	66
（増減率※2）	-	(▲5%)	(▲33%)	(▲55%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲67%)	(▲71%)	(▲73%)	(▲72%)
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	16	16	16	8	8	8	8	8	8	8	8
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	942	784	258	210	207	174	173	188	187	163	154
（対全国比）	(73%)	(88%)	(89%)	(91%)	(93%)	(91%)	(90%)	(94%)	(94%)	(94%)	(94%)
関東地域※3	65	30	2	4	3	3	3	2	2	1	1
関西地域※4	796	739	256	206	205	171	170	186	185	162	153
中部地域※5	81	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

①年間使用量全量（全量蒸発）
②年間購入量

■ 排出量の推計方法

①年間使用量全量（全量蒸発）
②年間購入量 － 再生引取量
③年間購入量 － 廃液量

■ 参加企業数の増減理由

昨年度と同数の参加企業数であった。
当初取り組み企業数からの変動は、VOCを含まない溶剤に切り替えるなどの対策により、対象企業が減少したことによるもの。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

工程変更(VOC使用洗浄ライン撤去)による使用料削減

（原材料の転換・削減）

脱脂溶液・接着剤など、VOCを含まない水溶性溶剤への開発・切り替え。

（設備導入・改良等）

・VOC回収装置を2006年より導入開始、2017年以降は計9台が稼働中。

投資総額　約3500万円。

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

5年後（平成30年度）において、平成22年度対比で悪化しないよう継続してVOC排出抑制に取り組むこととする。

（自己評価）

・令和2年度は、基準となる平成22年度に対して▲128トン（▲44%）の削減。前年度から▲11トン（▲6%）減。
・取組指針（H30年度において、H22年度排出量を超過しない）を踏襲し、引き続きVOC削減施策を継続する。
・引き続き、VOCを含まない溶剤への切り替えに向けて対応していく。
・自主取組対象企業数は、前年度と同数のVOC排出実績1トン以上あった8社。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本伸銅協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種　（代表的な業種）23 非鉄金属製造業
非鉄金属製造業

■ 加盟率　66.7%（業界全体の企業数が正確に把握できていないため約60社と推定、内、協会会員会社数は40社）

■ 捕捉率　55.7%（業界全体の生産量に占める、排出量調査に同意している7企業の生産量の割合）

○ 主な排出源

■ 洗浄　・伸銅品の仕上工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員企業中、排出量調査に同意している7企業を対象

■ 対象物質　トルエン、キシレン、ジクロロメタン、1,3,5トリメチルベンゼン、エチレングリコール、エチルベンゼン、ベンゼン、メタノール、エタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、酢酸ブチル、アセトン、その他

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	178	204	209	178	166	213	232	219	242
排出量	436	184	91	92	77	63	72	67	72	64	53
（増減率※2）	-	（▲58%）	（▲79%）	（▲79%）	（▲82%）	（▲86%）	（▲83%）	（▲85%）	（▲84%）	（▲85%）	（▲88%）
うち法規制対象施設	-	0	0	0	0	0	1	3	3	3	3
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	6	6	7	8	7	7	7	7
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	178	12	3	4	0	5	5	6	6	5	5
（対全国比）	（41%）	（7%）	（3%）	（5%）	（1%）	（8%）	（7%）	（8%）	（8%）	（8%）	（9%）
関東地域※3	1	1	0	0	0	1	1	3	3	3	3
関西地域※4	17	3	1	4	0	3	3	2	2	1	1
中部地域※5	161	9	1	1	0	1	0	1	1	1	1

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

会員企業中、排出量調査に同意している7企業（8事業所）の排出量の合計

■ 排出量の推計方法

会員企業中、排出量調査に同意している7企業（8事業所）の排出量の合計

■ 参加企業数の増減理由

参加企業数には増減なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

・油性塗料から水性塗料への変更
・化学研磨液の変更

（設備導入・改良等）

・MA設備撤去

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

業界全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

（自己評価）

2020年度のVOC使用量は前年度（2019年度）に比べ約20トン増加したが、排出量は約10トン程度減少できた。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　全国鍍金工業組合連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
金属製品製造業

■ 加盟率　約94% （従業員ベース92%、事業所数ベース96%）

■ 捕捉率　同上（同上）

○ 主な排出源

■ 洗浄
・被めっき物の前処理工程と仕上工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　有害大気汚染物質の自主管理における企業を対象

■ 対象物質　連合会で使用している2物質（トリクロロエチレン、ジクロロメタン）を対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	925	920	862	844	802	789	774	742
排出量	1,356	992	846	730	725	718	703	668	655	641	615
（増減率※2）	-	(▲27%)	(▲38%)	(▲46%)	(▲47%)	(▲47%)	(▲48%)	(▲51%)	(▲52%)	(▲53%)	(▲55%)
うち法規制対象施設				7	6	4	4	3	2	3	3
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	175	164	146	129	113	110	110	110
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	959	776	530	458	386	333	328	314	306	301	288
（対全国比）	(71%)	(78%)	(63%)	(63%)	(53%)	(46%)	(47%)	(47%)	(47%)	(47%)	(47%)
関東地域※3	548	502	367	316	293	263	260	247	242	237	227
関西地域※4	274	213	109	98	80	51	49	47	45	45	43
中部地域※5	137	61	54	44	13	19	19	20	19	19	18

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

施設に投入したVOCの合計量を集計

■ 排出量の推計方法

使用量の合計から業者引き取り量の合計を差し引いた数量

■ 参加企業数の増減理由

それまでに使用を中止した事業所を数にカウントしていたが、29年度はそれらの事業所や廃業した事業所を削除した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・蓋の設置よる蒸発防止（さらに内蓋設置1社）
・冶具の見直しによる汲み出し量削減（５万円）
・稼働時間の制限、作業時間の短縮（数社）
・洗浄対象物の削減（数社）
・ろ過して再利用

（原材料の転換・削減）

可能なものはアルカリ脱脂へ変更
代替品（1－プロモプロパン）へ変更
溶剤洗浄を廃止あるいは使用中止
ファインバブル洗浄をトライ
プレス加工油を揮発性に変更し一部無洗浄化

（設備導入・改良等）

・蓋設置及び冷却管の増設
・炭化水素系洗浄装置の1台追加導入（1500万円）
・排気設備更新（230万円）
・冷却ユニットの更新（140万円）
フリーボード比の適正化

（取引先企業、消費者等への周知）

・新規製品については、溶剤不使用での仕上がり品質あるいは客先における製造工程で使用する油の変更について協力を願う。
・客先に使用油の変更を要請
・環境ISOによる削減目標の提示

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

平成7年度より洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続しており、平成２２年度の排出量は平成１２年度比３７．６％減を達成した（国の目標は同３０％減）。平成２３年度以降は、それまでで最小の排出量を記録した平成２１年度値を上回らないことを目標として取り組んでいく。

（自己評価）

令和2年度も平成21年度の排出量を下回り、目標を達成した。

○ その他

平成7年度より、洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続している。令和元年度は平成7年度比で68.6%の削減を達成した。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本電線工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）23 非鉄金属製造業
非鉄金属製造業

■ 加盟率　約73%（出荷額ベース）

■ 捕捉率　約70%（同上）

○ 主な排出源

■ 塗装　・巻線製造工程（絶縁エナメルワニスの溶剤）
■ 接着　・光ファイバ製造工程
■ その他　・銅荒引線製造工程（圧延時の被膜）

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員企業中、VOC使用実績のある企業を対象

■ 対象物質　PRTR対象85物質と非PRTR対象19物質（ただし、使用量が月間100kg未満の物質は集計対象外）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	10,434	7,398	5,549	6,478	6,160	5,747	6,358	6,393	6,111	5,534	5,159
排出量	1,439	1,013	707	619	591	573	604	633	543	614	567
（増減率※2）	-	(▲30%)	(▲51%)	(▲57%)	(▲59%)	(▲60%)	(▲58%)	(▲56%)	(▲62%)	(▲57%)	(▲61%)
うち法規制対象施設	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	120	120	120	120	119	119	117	113	113	115	115
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	519	325	268	207	205	234	243	273	238	266	303
（対全国比）	(36%)	(32%)	(38%)	(33%)	(35%)	(41%)	(40%)	(43%)	(44%)	(43%)	(53%)
関東地域※3	230	73	85	52	48	51	54	63	53	53	54
関西地域※4	110	129	64	37	30	48	51	47	52	39	50
中部地域※5	179	123	119	118	127	135	138	162	134	175	199

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
※4　関西地域：大阪府、兵庫県
※5　中部地域：愛知県、三重県
（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
VOC年度初在庫量＋VOC購入量－VOC年度末在庫量＝VOC使用量

■ 排出量の推計方法
VOC使用量－密閉式回収（活性炭等に吸着）ガス化による燃焼等＝VOC排出量

■ 参加企業数の増減理由

新規入会社

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

ケーブル表面印字にレーザーマーカーを導入

（設備導入・改良等）

局所排気装置用活性炭フィルタ採用による放出量削減

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

従来同様VOC削減努力を継続中である。効果的なVOC排出量削減は実施済みも、運転条件を見直し最適化を図ること、メンテナンスを継続的に確実に実施することで、より一層の排出量削減を目ざす。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

当業界は、これまでVOC削減に積極的に取り組んできた。今後は少なくとも平成22年度のレベルを維持できるよう、毎年VOCの排出量をトレースするとともに、削減努力を継続する。

（自己評価）

令和2年度メタル（銅・アルミ）電線の生産量は前年度対比13.1%減、光ファイバケーブルの生産量は同9.8%増となった。かかる状況下、使用量は同6.8%（375t）減少し、排出量も7.7%（47t）減少した。また、平成12年度比、使用量50.6%（5,275t）、排出量60.6%（872t）いずれも減少、平成22年度比で使用量は7.0%(390t)減少、排出量は19.8%（140t）減少した。

○ その他

なし。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本アルミニウム協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）23 非鉄金属製造業
非鉄金属製造業

■ 加盟率　約99%（非鉄金属製造業のうちアルミニウム圧延、押出加工事業者の加盟率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計）

■ 捕捉率　約94%（協会会員企業の捕捉率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計）

○ 主な排出源

■ 塗装　・缶蓋用材、エアコンフィン、カラーアルミの塗装・焼付工程
■ 洗浄　・圧延コイル、押出材の脱脂・洗浄工程
■ 印刷　・箔への印刷工程
■ 接着　・箔、各種フィルムとの接着工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
・圧延大手5社、箔圧延大手4社を対象
・建材押出大手5社は他団体の自主行動計画に参加。その他会員企業には呼びかけ中

■ 対象物質
非PRTR対象物質については不明なため、PRTR対象の7物質に限定（エチルベンゼン、キシレン、1-ジクロロ-1-フルオロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トルエン）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	2,091	2,073	2,116	2,086	2,058	1,830
排出量	1,900	569	348	289	338	285	302	292	277	265	181
（増減率※2）	-	(▲70%)	(▲82%)	(▲85%)	(▲82%)	(▲85%)	(▲84%)	(▲85%)	(▲85%)	(▲86%)	(▲90%)
うち法規制対象施設	386	247	240	207	248	234	238	232	213	214	131
（増減率※2）	-	(▲36%)	(▲38%)	(▲46%)	(▲36%)	(▲39%)	(▲38%)	(▲40%)	(▲45%)	(▲45%)	(▲66%)
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	13	13	13	11	11	11	9	9	9	9	9
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	160	108	10	17	15	14	-	-	-	-	-
（対全国比）	(8%)	(19%)	(3%)	(6%)	(4%)	(5%)	-	-	-	-	-
関東地域※3	160	108	10	17	15	14	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3 関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
※4 関西地域：大阪府、兵庫県
※5 中部地域：愛知県、三重県
（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
各社の使用実績により算出。

■ 排出量の推計方法
各社の使用実績から排出量を算出。

■ 参加企業数の増減理由

・平成25年度に、参加企業の内4社が合併したため（2社ずつ計2組）、参加企業数が13社から11社に減少した。
・平成28年度に参加企業で合併があり（3社→1社）、参加企業数が11社から9社になった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・工程内対策
・排ガス対策（エンドオブパイプ）
・その他

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

近年PM2．5等の状況から明らかのように、周辺国からのVOCの流入はまず排除すべきであり、また植物由来のVOCの影響も正当に評価すべきとは認識しつつも、当協会では、基準年度の平成12年度比で排出量削減率65%を目標に自主行動計画に取り組み、平成23年度に削減率85%を達成した。その後は、平成22年度のVOC排出量（348トン）より悪化しないように取り組みを続け、平成30年度まで継続してこの値を下回る排出量を維持した。

令和元年度以降の5年間については、目標を引き上げ、平成26年度のVOC排出量（338トン）より悪化しないように取り組んでいく。
（※直近5年間（平成26～30年度）で最も高かった平成26年度のVOC排出量（338トン）を新たな目標値として設定した。）

（自己評価）

令和2年度のVOC排出量は前年度比32%減の181トンとなった。これは、コロナ禍による生産量の減少が主な要因と推察される。（参考：アルミ圧延品の2020年度生産量は前年度比8%減）
VOC排出目標としては、平成26年度比（338トン）で悪化しないとする目標を達成できた。

○ その他

・地域別対策量の対策地域については、特定の事業所の排出量が分かってしまう懸念があるため記載しない。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本建材・住宅設備産業協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
①金属製品製造業、②パルプ・紙・紙加工品製造業、③窯業・土石製品製造業

■ 加盟率
約90%（①85%（サッシ業界内）、②89%（繊維板パーティクルボード製造業界内）、③100%（窯業系サイディング、火山性ガラス、ロックウール保温材製造業界内））

■ 捕捉率
約85%（業界団体内の自主行動計画参加企業の出荷率）

○ 主な排出源

■ 塗装
・サッシの塗装工程、窯業外装材の塗装工程

■ 装着
・繊維板、パーティクルボードの接着工程、ロックウール保温材のフォーミング工程、ドア等のラッピング接着工程

■ 洗浄
・ウレタン注入機の洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員団体中、①VOCを排出していない、②他団体の自主行動計画に参加する、③自団体で実施するとした企業・団体を除く5団体を対象

■ 対象物質
PRTR対象物質のうち排出量の割合の上位を占める物質を対象団体各々が選定した

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	10,109	7,639	3,876	2,521	2,424	2,137	1,783	1,734	1,526	1,310	1,029
排出量	8,031	6,059	2,208	1,787	1,842	1,548	1,293	1,174	993	916	657
（増減率※2）	-	（▲25%）	（▲73%）	（▲78%）	（▲77%）	（▲81%）	（▲84%）	（▲85%）	（▲88%）	（▲89%）	（▲92%）
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	36	35	33	33	33	33	32	32
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	3,682	3,283	1,586	1,114	967	771	532	449	424	436	357
（対全国比）	（46%）	（54%）	（72%）	（62%）	（52%）	（50%）	（41%）	（38%）	（43%）	（48%）	（54%）
関東地域※3	1,069	695	1,181	521	433	417	361	255	229	232	172
関西地域※4	194	197	125	174	134	115	128	158	155	166	151
中部地域※5	2,419	2,391	280	419	400	239	43	36	40	38	34

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
VOC使用量は、各業界各社の購入実績や施設ごとの使用実績より算出した。

■ 排出量の推計方法
各業界毎に算出方法が違うため、過去の自主行動計画報告書を参照してください。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・接着施設の温度管理の徹底
・吐出器や配管の改善による歩留まり向上
・キャッチャー剤の導入

（原材料の転換・削減）

・溶剤系塗料から水系塗料への切換え
・塗料の塗着、塗布の向上による塗料使用原単位の低減化
・洗浄剤の代替え促進や使用量削減
・ラッピング用接着剤のホットメルト等への切換えおよびジクロロメタンを含まないものに代替化
・接着力向上による使用料の削減
・排出抑制対象物質の含有率が低いシーリング材への代替化

（設備導入・改良等）

・塗装効率の改善（塗装ライン設備更新）
・水性化設備改造による水系塗料への切り替え
・洗浄シンナー削減装置導入
・VOC除去装置の導入
・排ガス触媒性能の安定運用

（取引先企業、消費者等への周知）

・引き続きVOC自主表示制度を活用して各企業、取引先への説明会の開催、周知等による意識の向上と更なる削減に取り組んでいる。
・2000年に制定した工業会の環境宣言を基に、SDGsへの貢献内容をまとめたリーフレットを作成し、VOC削減への取り組み説明を更に進めている。（日本繊維板工業会）

（その他の対策）

・F☆☆☆☆製品の生産比率を高める

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

・今まで取り組んできた内容を継続実施するほか、設備改善の際には、排出状況の改善にも資する様配慮するなど努力する。
・今後の目標として、今までの排出量より増加しないよう取り組んで行く。

（自己評価）

令和2年度の排出量（657トン）は平成22年度排出量（2208トン）に対して70%減となり、前年度（59%減）と比べても大きな削減となった。新型コロナウイルスの影響による生産減に伴う使用量、排出量の削減もあると考えるが、塗料の塗着、塗布の向上による塗料使用原単位の低減化や水性化設備改造による水系塗料への切り替え、塗装設備の塗装効率改善や設備の燃料転換、低VOC材料への代替化、建材のF☆☆☆☆生産比率向上などの継続的な取り組みと洗浄シンナー削減装置導入などの新しい改善が確実に行われた成果と考える。

○ その他

（日本窯業外装材協会）
・溶剤塗料から水性塗料への切替により使用量・排出量は小さくなってきた。今後も取り組みを継続する。
（日本サッシ協会）
・対象物質の含有率が低いシーリング材への切替えによりトルエンの排出量を削減した。洗浄用ジクロロメタンは代替化完了。洗浄用シンナー回収により排出量を削減した。
（日本繊維板工業会）
・VOC排出抑制に対する会員の意識が高く、各社それぞれの方策に沿って低ホルム化を行い、令和2年のF☆☆☆☆生産比率は96.4%（前年95.7%）と向上した。
・キシレンの指針値改定・放散速度基準値改定への登録移行対応を令和元年11月にすべて完了した。
（ロックウール工業会）
・ロックウール繊維の成形品を保つために使用されるホルムアルデヒド含有のフェノール樹脂をノンホルムアルデヒド樹脂に変更することを引き続き検討している。

※法的対象施設として該当するものがないため、記載なし。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　天然ガス鉱業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）05 鉱業、採石業、砂利採取業
原油・天然ガス鉱業

■ 加盟率
90%以上（原油・天然ガス鉱業のうち天然ガス生産事業者の加盟率、天然ガス生産量ベース）

■ 捕捉率
ほぼ100%（国内天然ガス生産企業のうち、VOCを発生する企業のほぼ100%をカバー）

○ 主な排出源

■ 貯蔵
・原油貯蔵タンク
・グライコール再生装置
・脱炭酸ガス装置
・積み出し作業
・工事等に伴う放散ガス

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業中 4社を対象

■ 対象物質
メタンを除く全炭化水素

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	2,603	1,665	3,095	1,028	1,155	878	871	1,839	1,656	1,399	1,561
（増減率※2）	-	(▲36%)	(＋19%)	(▲61%)	(▲56%)	(▲66%)	(▲67%)	(▲29%)	(▲36%)	(▲46%)	(▲40%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	4	4	4	4	4	4	4	4
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3 関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域：大阪府、兵庫県

※5 中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
・原油及び天然ガスの生産量に各々標準熱量を掛けて算出

■ 排出量の推計方法
・自主行動計画書参照

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

原油貯蔵タンク及びグライコール再生装置等に取り付けられているVOC回収・除去設備の運転条件の最適化に努めた。

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

各VOC除去装置の燃焼効率を改善する工事を実施したことにより、設備の稼働率が改善し、放散ガス量を大幅に削減することができた。

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

ガスパイプライン工事における放散ガス量の削減のため、回収可能な天然ガスは極力回収利用すると共に、やむを得ず放散する場合には、可能な限り燃焼し、VOC排出量の削減を図った。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

全体の排出量を当初の削減目標をクリアした平成23年度の排出量（1,278ton）以下を維持するように取り組んでいく。

（自己評価）

各企業のVOC回収・除去装置は概ね配備が完了している。令和2年度は、天然ガスの冷却設備のトラブル1件によるベント放散、高圧受電トラブル1件によるベント放散のため、昨年度排出量より増加したものの、基準年度排出量より減少となっている。
今後もVOC対策設備の最適運転を継続し、引き続きVOC排出削減に努めていく。

○ その他

VOC排出量のうちの法規制分について、
①原油貯蔵タンクは、貯油量が規制対象となる大きなタンクがないため対象外です。また、②グライコール再生装置、③脱炭酸ガス装置、④積み出し作業、⑤工事等に伴う放散ガスについては、規制対象外です。（排出量の比較的大きい設備等からの排出を自主的に削減対象と設定したもの）

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　石油連盟

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）17 石油製品・石炭製品製造業
石油製品製造業、石油販売業

■ 加盟率　100%（石油製品製造業、石油販売業のうち石油精製、石油販売（元売）事業者の加盟率）

■ 捕捉率　100%（会員企業の捕捉率）

○ 主な排出源

■ 貯蔵　・石油タンク

■ 出荷設備　・陸上出荷（タンクローリー、タンク車）
・海上出荷（船）

■ 対象石油製品等　・原油、ナフサ、ガソリン

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　15社(非加盟会社含む)を対象

■ 対象物質　炭化水素（排出量の算出方法については、「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」（昭和50年3月、資源エネルギー庁）の排出量計算式を使用）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1											
排出量	61,426	54,859	42,551	39,373	37,273	37,287	36,894	35,246	33,259	31,718	28,986
（増減率※2）	-	(▲11%)	(▲31%)	(▲36%)	(▲39%)	(▲39%)	(▲40%)	(▲43%)	(▲46%)	(▲48%)	(▲53%)
うち法規制対象施設	-	-	-	2,976	2,261	2,176	2,837	2,237	2,194	1,961	1,748
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	24	24	19	17	17	16	16	16	16	15	15
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

（別紙）排出量の算出方法のとおり

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・固定屋根式タンクの内部浮き屋根化
・出荷設備へのベーパー回収設備の設置
＜コスト＞
・試算では、VOC1トン削減するための費用として、貯蔵タンクでは20～30万円、陸上出荷設備では50～80万円、海上出荷では200～300万円が見込まれる

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

・これまでに有害大気汚染物質対策・炭化水素排出削減対策として取り組んできた対応を踏まえ、引き続きVOC排出抑制の継続に努め、総排出量が平成22年度レベルから悪化しないように取組を維持する。
・「全体としては少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」ことの取り組みについては、経済活動量に影響もあることから、複数年度の排出量の平均値で評価することが適当と考える。

（自己評価）

陸上出荷設備へのベーパ回収装置の設置、タンクの改造工事などの削減対策の実施、タンクの稼動休止による削減効果などにより、着実に排出量を削減し、平成22年度には基準年度（平成12年度）比30%の排出量削減とした目標を達成、令和2年度も引き続き基準年度（平成12年度）比53%の排出量削減となっている。

○ その他

（別紙）

排出量の算出方法

「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」（昭和５０年３月、資源エネルギー庁）の排出量計算式を使用して算出。

１．固定屋根式タンクからの排出量

（１）受入時（受入ロス）

〇排出係数×受入量

〇排出係数（Kg/KL）

原油	０．５２
ガソリン・ナフサ	１．００

（２）貯蔵時（呼吸ロス）

〇排出係数×（タンク容量）$^{2/3}$

〇排出係数（Kg/（KL・日））

原油	０．３０５４
ガソリン・ナフサ	０．７０６４

２．浮き屋根式タンクからの排出量

（１）払出時（払出ロス）

〇排出係数／タンク直径（m）×払出量

〇排出係数（Kg・m/KL）

原油	０．０１４１
ガソリン・ナフサ	０．０４７０

３．出荷時の排出量

〇排出係数×出荷量

〇排出係数（Kg/KL）

	船出荷	ローリー・タンク車
原油	０．１２	―
ガソリン・ナフサ	０．１９	０．８９

以上

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本化学工業協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）16 化学工業
化学工業

■ 加盟率
不明（加盟率に関しては化学工業に該当する企業数が把握出来ないため算定不可能。）

■ 捕捉率
58%（推計値）（R2年度の日化協会員のPRTR報告における全物質の排出量（大気+水域）をR1年度の全国の化学工業の同数値で除した値。）

○ 主な排出源

■ 化学製品製造
・化学品製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
・(一社)日本化学工業協会のPRTR調査に参加している103社のうち、削減計画を策定しているのは68社です。
・今年度は回答があった95社の排出量を集計（昨年度も95社）しました。

■ 対象物質
PRTR（328物質　農薬、殺虫剤除く）＋日化協独自（105物質）＋石油製品由来の炭素数が4～8までの鎖状炭化水素類（X001）から無機化合物とダイオキシン類を除いた434物質）を対象として集計しています。

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	82,280,000	-	-	65,224,805	66,812,725	69,646,716	61,366,763	64,182,777	63,844,810	61,648,765	61,257,818
排出量	88,809	50,690	32,662	31,009	30,169	28,596	25,554	26,106	26,038	22,998	21,349
（増減率※2）	-	(▲43%)	(▲63%)	(▲65%)	(▲66%)	(▲68%)	(▲71%)	(▲71%)	(▲71%)	(▲74%)	(▲76%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,610.4
（増減率※2）											-
参加企業数	-	-	-	68	68	68	68	68	68	68	68
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	50,529	32,334	19,518	19,491	18,949	17,971	16,844	16,318	16,637	15,116	13,130
（対全国比）	(57%)	(64%)	(60%)	(63%)	(63%)	(63%)	(66%)	(63%)	(64%)	(66%)	(62%)
関東地域※3	32,463	17,620	9,928	9,630	9,515	8,943	8,062	8,265	8,094	7,888	6,521
関西地域※4	10,858	7,953	5,214	5,593	5,508	5,025	4,927	4,837	4,843	3,968	3,562
中部地域※5	7,208	6,761	4,376	4,268	3,926	4,003	3,855	3,216	3,700	3,260	3,047

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
※4　関西地域：大阪府、兵庫県
※5　中部地域：愛知県、三重県
（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
製造量と使用量の合計を採用しています（但し、燃料として使用したものも一部含）。
また、基準年度については炭化水素類のH12年データが未把握のため、H16年度炭化水素類の使用量を加算して8,228万トンとしました。

■ 排出量の推計方法
排出量は大気排出量データです。
また、基準年度については炭化水素類のH12年データが未把握のため、H16年度炭化水素類の大気排出量を加算して8,809トンとしました。

■ 参加企業数の増減理由

当協会の会員登録・退会、あるいは企業の合併等により企業数が多少変化します。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・製造温度等の低下、ハンドリング工程の削減等による工程変更
・安定運転

（原材料の転換・削減）

・代替物質への転換
・製造銘柄の変更等による原単位の低減

（設備導入・改良等）

・排気燃焼装置の更新、補修（メンテ）
・回収設備の増強、補修
・製造設備の密閉化による漏れ対策

（取引先企業、消費者等への周知）

・SDS、WDSの利用により取引先、委託先へ周知
・特に産廃については定期な現地確認の実施とヒヤリング（PRTR届出、対策等の確認など）

（その他の対策）

・算出方法の見直し（マテバラから分析値による精緻化）

※詳細な対策及びその効果、コストについては調査していません。これらは個別企業のノウハウに関わる情報でもあり、今後も詳細調査の予定はありません。
　但し、当協会による定期のPRTR調査時に増減理由について簡易な解説をいただいています。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

【考え方】
①平成22年度までに取り組んだ内容を今後も継続して実施し、排出状況を悪化させないように努める。但し、経済活動量の大幅な増加やトラブル等による例外的な状態ではなく、通常状態を前提とする。
②定量的かつ統一した数値目標は設定しないものの、会員企業の自主的な設定とする。
③経済的取組みや職場環境改善などを通じたVOC排出削減を推奨する。
【目指すべき時期・方向性】 日化協2020年度自主目標
「PRTR/VOC排出量を2000年度比で50%削減とする。さらに2010年度以降は、2010年度比で非悪化とする。また、有害性の高い物質については、個別に継続して削減に努める。」

（自己評価）

　前年度に比べVOCは約1,600トン減少しました。その要因は、回収設備の新規導入、増強及び補修による排出量減少分が約800トン、算出方法見直し(精緻化)によるものが約200トン、製品銘柄の変更等による原単位低減によるものが約80トン、安定運手によるものが約30トン、代替物質への転換で約20トン、工程変更で約20トン、さらに活動量減による排出量減少分が約1,300トンでした。一方、増加要因は、災害・トラブルによる排出量増加分が約50トン、昨年度未回答分（CS2）が660トン、活動量増による排出量増加分が約200トンでした。
　全体的には、継続的なVOC削減対策により減少傾向は保持しております。引き続き削減対策の推進に取り組みますが、最大のVOC減少要因が活動量減であること、主たる削減対策が燃焼処理であることから、コロナ後並びに2050年CNに向けた対応が今後の課題と考えています。

○ その他

関東地域、関西地域、中部地域は以下の通りとして範囲を拡大してデータ集計しています。
関東地区（茨城県、栃木県、群馬県、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、関西地区（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県）、中部地区（岐阜県、愛知県、三重県）

・化学品製造工程におけるVOCに係る法規制対象施設は、乾燥施設と貯蔵施設です。当協会では全会員からPRTR物質に加えて日化協独自物質についてもデータ提出に協力いただき、集計していますが、法規制に係わる区分までは求めていません（事業者の多大な業務負担を回避）。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本印刷産業連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）15 印刷・同関連業
印刷産業

■ 加盟率
約93%（出荷額ベース：団体加盟企業出荷額/業界全体出荷額）

■ 捕捉率
約88%（出荷額ベース：団体に属する自主的取組企業出荷額/団体加盟企業出荷額）

○ 主な排出源

■ 印刷
・印刷工程及び乾燥工程

■ 接着
・ラミネート加工工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
日印産連傘下の会員企業のうちグラビア印刷（ラミネート、コーター含む）、オフセット印刷を業とする事業所を対象

■ 対象物質
トルエン、酢酸エチル、MEK、IPA、高沸点石油系溶剤を含めた全てのVOC物質を対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	204,400	195,000	178,400	184,200	169,400	143,100	157,500	152,500	142,300	134,500	128,300
排出量	115,500	76,600	42,700	35,400	28,200	24,500	26,800	22,800	23,600	20,200	24,100
（増減率※2）	-	（▲34%）	（▲63%）	（▲69%）	（▲76%）	（▲79%）	（▲77%）	（▲80%）	（▲80%）	（▲83%）	（▲79%）
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	12,500	11,100	11,000	10,300	12,740
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲63%
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	6,189	5,441	5,368	5,187	5,002	4,861	4,716	4,557	4,387
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3 関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
※4 関西地域：大阪府、兵庫県
※5 中部地域：愛知県、三重県
（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

■ 排出量の推計方法
アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

■ 参加企業数の増減理由

企業統合、廃業等があった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・印刷版の浅版化によるインキ・溶剤使用量削減
・インキ・溶剤保管容器の充実及び対策、管理の徹底（揮発防止対策等）

（原材料の転換・削減）

・印刷インキのハイソリッド化（高濃度化）
・湿し水のIPA使用量削減・代替化並びにアルコールレス化
・低VOC洗浄剤の使用（GP認定資材の採用拡大）
・水性インキ等の低VOCインキの使用
・使用する接着剤のハイソリッド化

（設備導入・改良等）

・排ガス処理装置の設置、拡大

（取引先企業、消費者等への周知）

当連合会ホームページに、「日印産連VOC排出抑制自主行動計画及び実施状況」を掲載
https://www.jfpi.or.jp/files/user/img/kannkyou/kankyou_VOC_houkoku_2020.pdf

（その他の対策）

平成30年（2018年）より、毎年経済産業省 関東経済産業局と共催で「VOC排出抑制セミナー」を開催し、印刷業界のVOCの使用並びに排出削減の取組事例を説明し、会員企業に好事例を周知している。
「印刷産業環境優良工場表彰制度」と「GP認定制度」の2つの制度を継続して運用し、参加企業を増やすことで環境問題に取り組む企業が増えており、VOC排出抑制にも効果が表れている。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

平成２２年度の印刷業界の VOC 排出削減率は、産業界の実績56％を上回る63％となり、削減量は72,800tとなっている。　平成22年度以降もこの実績を維持目標値として活動してきたが、VOC削減率は維持目標値を上回る成果を上げており、今後の方向性としては直近の削減率を維持するように取り組んでいく。

※参考　平成30年度VOC削減実績、平成12年度比 ▲91,900t　削減率80％
　　令和元年度VOC削減実績、平成12年度比 ▲95,300t　削減率83％
　　令和２年度VOC削減実績、 平成12年度比 ▲91,400t　削減率79％

（自己評価）

平成22年度の維持目標である排出量42,700トン、削減率基準年度比63%に対し、令和２年度は排出量24,100トン、同削減率79%となり、目標を達成した。

○ その他

特に有りません。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　ドラム缶工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種　（代表的な業種）24 金属製品製造業
金属製品製造業

■ 加盟率　100%

■ 捕捉率　100%

○ 主な排出源

■ 塗装　・ドラム缶及び中小型缶の内面及び外面の塗装工程及び乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　中小型缶メーカー2社を含む200Lドラム缶メーカー11社を対象

■ 対象物質　「加熱残分」以外（水性塗料の場合は水の含有率を差し引き）を全てVOCとして積算した

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1										-	-
排出量	1,763	1,818	1,592	1,545	1,382	1,322	1,157	1,217	1,186	1,213	1,171
（増減率※2）	-	(+3%)	(▲10%)	(▲12%)	(▲22%)	(▲25%)	(▲34%)	(▲31%)	(▲33%)	(▲31%)	(▲34%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生産量補正	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	1,430	1,481	1,289	1,246	1,077	1,019	874	943	916	928	896
（対全国比）	(81%)	(81%)	(81%)	(81%)	(78%)	(77%)	(76%)	(77%)	(77%)	(77%)	(77%)
関東地域※3	843	923	833	792	613	542	487	514	519	511	470
関西地域※4	587	558	456	454	464	477	387	429	396	417	426
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

平成12年度を基準年度として、本年度の生産量も基準年度と同じと仮定してVOCの排出量を求めた。VOCの対象となる物質は無限にあり、塗料・溶剤類に含まれるVOC対象物質をすべて調べ上げることは、高度な専門知識が必要であり、かつ莫大な労力を要する。VOCの定義が大気中に揮発する有機化合物であることを考えると、個々の物質を特定して調べ上げることはあまり意味が無く、むしろJIS K 5601-1-2（塗料成分試験方法―第1部：通則、第2節：加熱残分）で規定されている方法で測定した「加熱残分」以外をすべてVOC成分と考え、これからVOC排出量を計算した方が、簡便でかつより正確と考えた。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・塗料、溶剤原単位の削減
・外装塗装設備改善
・塗装装置更新
・製品品種・色の集約
・塗料の改良
・洗浄用溶剤の削減　　・標準色2色の変更(薄膜塗装可能)

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

ドラム缶業界での排出抑制手法は、ほぼ全て試みられた。今後3年程度では、積極的かつ大規模な排出抑制投資を行う計画が少ない事もあり、全体として3年から5年の範囲で、悪化しないよう継続した努力を行う。

（自己評価）

平成12年度レベルから着実な削減を実施している。

○ その他

ドラム缶工業会は自主行動計画で排出量を規制しているため、法規制対象施設から発生するVOCは無い。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　軽金属製品協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
金属製品製造業

■ 加盟率
33%（企業数ベース）

■ 捕捉率
約44%（（VOC使用量ベース）、約75%（他団体で報告している大手4社分を除いた場合の捕捉率））

○ 主な排出源

■ 塗装
・アルミ建材の塗装工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
・会員5社（サッシ4社、専業1社）、会員外3社（専業）のうち、アルミニウム建材塗装の受注加工事業者3社（会員1社、会員外2社）を対象
・加盟アルミ建材メーカ大手4社は、日本建材・住宅設備産業協会の自主行動計画に参加

■ 対象物質
PRTR対象物質のキシレン、トルエン、エチルベンゼンを対象とした（12年度VOC排出量の約8割程度(推定)をカバー）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	394	380	142	201	199	222	243	208	208	194	164
排出量	349	312	97	174	168	152	189	175	162	148	125
（増減率※2）	-	(▲11%)	(▲72%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲56%)	(▲46%)	(▲50%)	(▲54%)	(▲58%)	(▲64%)
うち法規制対象施設	349	312	97	174	168	152	189	175	162	148	125
（増減率※2）	-	(▲11%)	(▲72%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲56%)	(▲46%)	(▲50%)	(▲54%)	(▲58%)	(▲64%)
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

各社の購入実績、施設ごとの使用実績により算出した。

■ 排出量の推計方法

大気排出量＝〔使用量〕－〔水域への排出量〕－〔廃棄物に含まれる移動量〕－〔製品としての搬出量〕
※水域への排出と製品への含有は微量なので、ほとんどの場合無視できる。
廃棄物への含有率は、分析、自社測定あるいは資材メーカーからの情報で係数を決めている。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・塗装条件の見直し、塗着効率の改善により塗料使用料を削減
・塗装機の定期点検・整備の実施による塗着効率の維持

（原材料の転換・削減）

・溶剤系塗料からVOCを含まない粉体塗料への採用（転換）をユーザーに奨めている。

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

・アルミ建材の塗装仕様の決定は、施主、ゼネコンにあり、建築関係の学会等で環境に優しい塗料として「粉体塗装」をユーザーへPRしている。

（その他の対策）

・VOCを使用しない粉体塗装の受注拡大（エンドユーザーへのPR）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

・塗装設備、塗装条件、排ガス処理装置の改善等を行って、使用量に対して排出量の比を減少していくように取り組んでいく。
・VOCを含まない粉体塗料への転換を進める。

（自己評価）

当該業種は建設業界の景況に左右される。令和2年度はコロナ禍の影響を受けて前年度に比べて受注量が減少したと考えられる。平成22年度が底の状態であったことから、平成22年度比では増加した結果となっている。令和2年度は協会活動自体もコロナ禍の影響を受けて全般的に停滞気味で、「粉体塗装」の普及活動も思うように進まなかった。

○ その他

当協会としては、関係団体と連携してVOCを含まない環境配慮型の塗装である「粉体塗装」を溶剤塗装に代わって普及させようと、2009年より委員会を設置して、実態調査による粉体塗装の現状把握、粉体塗装を正しく使用してもらうための品質評価方法の策定など取り組んできている。また、ユーザーに理解してもらうために、関係学会で研究成果を発表している。
地域別排出量を公表していない理由としては、参加企業が少なく、中小の専業社でもあり、非公表を前提に協力頂いた経緯がある。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本プラスチック工業連盟

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）
プラスチック製品製造業

■ 加盟率
不明

■ 捕捉率
約10.0%（主要物質のPRTR業種別データとの比較ベース）

○ 主な排出源

■ 成形・加工
プラスチック成形・加工工程（加工工程にはラミネート、印刷、コーティング、粘着剤塗布等を含む）

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
工業連盟会員中、プラスチック加工業界団体3団体を対象、参加企業は20社

■ 対象物質
年間使用量1トン以上の全VOCを対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1										-	
排出量	12,211	20,193	6,623	4,594	4,594	4,662	4,263	4,792	4,533	6,188	5,778
（増減率※2）	-	(＋65%)	(▲46%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲65%)	(▲61%)	(▲63%)	(▲49%)	(▲53%)
うち法規制対象施設	9,267	-	-	2,373	2,176	2,236	1,977	2,868	2,759	3,279	3,054
（増減率※2）	-	-	-	(▲74%)	(▲77%)	(▲76%)	(▲79%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲65%)	(▲67%)
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	29	29	18	17	19	18	20	20
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	3,138	7,279	2,292	1,240	1,084	1,021	919	1,054	921	1,241	1,582
（対全国比）	(26%)	(36%)	(35%)	(27%)	(24%)	(22%)	(22%)	(22%)	(20%)	(20%)	(27%)
関東地域※3	2,192	4,181	1,300	594	559	468	375	637	590	683	1,090
関西地域※4	189	1,062	134	117	115	60	158	100	99	249	213
中部地域※5	757	2,036	858	529	410	493	386	317	232	309	279

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
購入量及び在庫量等から算出

■ 排出量の推計方法
使用量及び製造ロス量、排出濃度値等から算出

■ 参加企業数の増減理由

増減なし（退会により1社減少するも、新たに参加企業が1社追加された為）

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・系を密閉化する
・該当物質用量を削減する
・反応率、回収率の向上を図る
・除去設備（既設）を利用する

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

【考え方】
1) 平成22年度までの取組内容を今後も継続して実施、VOCの排出（抑制）状況を悪化させないように努める。
2) 定量的目標値は、当連盟としては設定せず、会員企業の自主的判断に委ねる。
3) 作業環境改善などを通じたVOC排出削減を推奨する。
【目指すべき時期・方向性】
「令和4年度までの間、VOCの排出（抑制）状況が、平成22年度比で悪化しないように取り組む」

（自己評価）

令和2年度のVOC排出削減率は平成12年度比で53%であり、平成22年度目標であった4割削減を維持継続している。種々の対策実施結果がVOC削減に寄与したと考える。なお令和2年度のVOC排出削減率（平成１２年度比）は令和元年報告値より全国ではやや改善したが、対策地域計では（関東、関西、中部地域合計）ではやや悪化した。なお参加企業は20社で増減はないが、参加企業の入れ替えがあったので、報告数字に多少の影響を与えていることは考慮戴きたい。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本オフィス家具協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種　（代表的な業種）13 家具・装備品製造業
金属製家具製造業

■ 加盟率　50.6%（製造品出荷額ベース）

■ 捕捉率　31.7%（同上）

○ 主な排出源

■ 塗装　・パネル・箱物塗装など

■ 接着　・パネル・デスクなどの心材接着工程など

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員であって、製造業を営む企業を対象（61社）。参加は23社

■ 対象物質　PRTR対象41物質及びPRTR対象外16物質を対象。ただし、年間排出量が1トン未満の物質は集計対象外。

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	2,459	1,706	1,220	1,169	1,288	1,174	1,279	1,302	1,261	1,208	1,125
排出量	1,977	1,235	680	727	860	802	796	779	765	746	639
（増減率※2）	-	(▲38%)	(▲66%)	(▲63%)	(▲56%)	(▲59%)	(▲60%)	(▲61%)	(▲61%)	(▲62%)	(▲68%)
うち法規制対象施設										132	108
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	23	23	23	23	23	23	23	23
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	875	516	260	215	292	270	257	252	227	227	181
（対全国比）	(44%)	(42%)	(38%)	(30%)	(34%)	(34%)	(32%)	(32%)	(30%)	(30%)	(28%)
関東地域※3	346	247	140	47	101	67	59	61	58	56	30
関西地域※4	98	54	21	21	22	25	18	17	10	9	8
中部地域※5	431	215	99	147	169	178	180	174	159	162	143

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

対象原材料使用料にVOC含有率を乗じて算出

■ 排出量の推計方法

使用量に排出係数を乗じて算出

■ 参加企業数の増減理由

増減なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

塗装不良率の低減

（原材料の転換・削減）

溶剤塗料からVOC抑制タイプや紛体塗装への切り替え

（設備導入・改良等）

塗装設備の改善

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

オフィス家具業界における、製造工程でのVOC排出抑制に関する取組みは、主に塗装工程や接着工程においてなされてきました。2010年以降も、VOCの排出量削減に向けた取組みを継続してまいります。

（自己評価）

塗装に関しては粉体塗装化による溶剤塗料の使用量削減や工程改善による塗装不良率の低減により、VOCの排出を抑止している。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本表面処理機材工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）16 化学工業
化学工業

■ 加盟率
95%(企業数ベース)

■ 捕捉率
95%(同上)

○ 主な排出源

■ 化学製品製造
・表面処理薬剤製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業中、1トン以上VOCを使用している企業を対象

■ 対象物質
ホルムアルデヒド、メチルアルコール、イソプロピルアルコール

○ 排出状況　（単位:トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（増減率※2）	-	(＋44%)	(▲43%)	(▲54%)	(▲70%)	(▲69%)	(▲55%)	(▲62%)	(▲65%)	(▲62%)	(▲54%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	26	25	25	25	24	24	23	23
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（対全国比）	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(70%)	(98%)	(98%)	(100%)	(100%)
関東地域※3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西地域※4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部地域※5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法
VOC該当の会員企業へのアンケート集計

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

製造工程の見直し

（原材料の転換・削減）

代用物質の検討

（設備導入・改良等）

施設・設備等の向上

（取引先企業、消費者等への周知）

製造工程でのVOC取組の為、社内にて改善提案等で対応。

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

引き続き、平成22年度比の排出状況を悪化させないように努めます。

下記3種を含むVOC成分は表面処理製品の重要な構成成分であり、各企業にて代替品を検討中ですが、めっき析出物性が劣る上にコスト高になる傾向を示し、切り替えが進んでいない状況です。また、ユーザーの海外進出に伴い現地生産等の傾向もありトータルの排出量の減少となっています。

①ホルムアルデヒド：無電解銅めっき液の還元剤として使用。代替剤を検討中ですが、ホルムアルデヒドに比べてコスト高であったり、浴寿命が短くなる傾向があります。また、無電解めっき液を使用しないプロセスも開発されましたが、信頼性の観点から多層プリント配線板には適さないため、移行が進んでおりません。

②メチルアルコール、イソプロピルアルコール：業界において基本的なアルコールとして広く使用されておりますが、他のVOC成分と同様に過去に代替品を検討したものの、移行が進んでおりません。

（自己評価）

製造工程において、局地排気の導入や環境測定の実施等の対策を実施。 現状の排出については最小限に抑制していますが、含有製品の生産増減に伴いトータルの排出量も増減する傾向にあります。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本自動車車体工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）31 輸送用機械器具製造業
輸送用機械器具製造業

■ 加盟率
約95%(売上高推定値)

■ 捕捉率
約95%

○ 主な排出源

■ 塗装

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業中、VOCを使用している企業を対象

■ 対象物質
全VOCを対象

○ 排出状況　（単位:トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	29,500	28,920	18,138	18,055	17,552	17,485	16,414	15,475	15,893	15,061	13,499
排出量	20,300	19,060	11,148	11,442	10,261	10,716	9,986	9,495	9,890	9,782	8,656
（増減率※2）	-	(▲6%)	(▲45%)	(▲44%)	(▲49%)	(▲47%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲51%)	(▲52%)	(▲57%)
うち法規制対象施設							5,457	6,720	7,751	8,514	7,500
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原単位（g/㎡）	103.2	72.8	51.4	43.2	43.5	41.3	40.4	38.9	38.9	37.7	37.0
（増減率※2）	-	(▲29%)	(▲50%)	(▲58%)	(▲58%)	(▲60%)	(▲61%)	(▲62%)	(▲62%)	(▲63%)	(▲64%)
参加企業数	-	169	167	184	183	186	186	193	195	197	202
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	11,570	11,126	6,592	5,662	5,485	5,547	5,478	5,262	5,269	5,288	4,879
（対全国比）	(57%)	(58%)	(59%)	(49%)	(53%)	(52%)	(55%)	(55%)	(53%)	(54%)	(56%)
関東地域※3	2,728	3,311	1,450	804	844	808	652	682	730	650	523
関西地域※4	946	74	99	128	122	100	109	85	90	81	49
中部地域※5	7,896	7,741	5,043	4,730	4,519	4,639	4,717	4,495	4,449	4,557	4,307

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

大手および各製品分野を代表する計36社(売上高ｶﾊﾞｰ率：95%)のデーターを基に推定し算出

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

会員197社→202社（会員増）

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・溶剤再生装置の活用頻度向上
・再生前の廃溶剤一斗缶蓋作製し飛散低減
・色替え時洗浄シンナー低減

（原材料の転換・削減）

・カチオン塗装の効率化
・溶剤プライマの脱トルエン化、キシレン化
・PRTR塗料に変更し使用量削減

（設備導入・改良等）

・シリンダー塗装工程ロボット化
・手吹きガンホース洗浄廃止

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・水性シンナー変更
（洗浄力向上材料への変更による使用量低減）
（洗浄シンナーの低VOC材への変更）
・脱脂用シンナーの使用量と手吹きスプレー補正範囲の削減。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

・全体として2000年度比でマイナス50%に取り組んでいく。

（自己評価）

・水性シンナーの洗浄力向上材料への変更、脱脂用シンナーの使用量削減、手吹きスプレー補正範囲の削減などを実施。
また、日常的に地道な改善活動を実施し削減を進め、原単位目標を達成。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本接着剤工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）16 化学工業
接着剤製造業

■ 加盟率
約70%（製造企業数ベース）

■ 捕捉率
67%（同上）

○ 主な排出源

■ 接着剤製造
・混合行程
・撹拌貯蔵行程
・ろ過行程
・充填行程
・洗浄工程　等

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業中、接着剤製造企業を対象

■ 対象物質
工業会において、主に使用している9物質を対象

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	30,719	29,990	30,345	31,828	31,170	28,246	24,623
排出量	598	470	318	355	323	315	319	334	327	297	259
（増減率※2）	-	(▲21%)	(▲47%)	(▲41%)	(▲46%)	(▲47%)	(▲47%)	(▲44%)	(▲45%)	(▲50%)	(▲57%)
うち法規制対象施設							0	0		-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	85	85	85	85	85	83	83	83	83	83
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	240	168	109	149	127	124	127	132	147	114	102
（対全国比）	(40%)	(36%)	(34%)	(42%)	(39%)	(39%)	(40%)	(40%)	(45%)	(38%)	(39%)
関東地域※3	93	61	42	44	40	39	36	37	34	28	27
関西地域※4	71	35	26	55	38	36	35	36	52	28	22
中部地域※5	76	72	41	50	49	49	56	59	61	58	53

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
会員アンケートによる。

■ 排出量の推計方法
使用量×0.0105（会員に対する排出率調査結果による）

■ 参加企業数の増減理由

令和元年度は増減なし。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

溶剤使用量の削減

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

4VOC基準適合登録製品の使用を推奨。

（その他の対策）

・水性形、無溶剤形、高固形分型接着剤への置き換え
・設備密閉度の向上
・4VOC自主管理制度を推進

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

最低限、現状より悪化しないように取り組んでいく。

（自己評価）

令和2年度は接着剤生産量が前年より減少の要因もあるが、VOC使用量・排出量ともに前年度より大幅に削減となった。引き続き会員企業の努力を推進する。

○ その他

法規制対象施設の排出量については、調査を行っていません。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　プレハブ建築協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種　（代表的な業種）24 金属製品製造業
その他の製造業

■ 加盟率　35%(業界全体20社中 計画参加7社)

■ 捕捉率　96.8%(業界全体113,960戸中110,316戸供給)

○ 主な排出源

■ 塗装　・外壁塗装、鉄骨塗装、鉄骨等塗装・電着など

■ 接着　・構造用パネル製造など

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　「一般社団法人プレハブ建築協会環境行動計画エコアクション2020」に参加する7社

■ 対象物質　環境省が示す主なVOC物質100種のうち、PRTR法第一種指定化学物質に指定された46物質に、「国内におけるVOCの現状と抑制の取り組みについて」（2014年4月）を参考に17物質を新たに加えた計63物質を対象とする（2016年度見直し）。

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-				-	-
排出量	1,675	1,096	712	506	385	290	247	221	209	198	174
（増減率※2）	-	(▲35%)	(▲57%)	(▲70%)	(▲77%)	(▲83%)	(▲85%)	(▲87%)	(▲88%)	(▲88%)	(▲90%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	10	10	10	9	9	8	7	7
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

PRTR法施行規則に規定する排出量の算出方法等を用い、対象VOC物質を排出する全ての施設及び工程を対象とする
※工場内の作業車用の燃料等におけるVOC物質は排出量が少ないため、対象としない。
※個別の住宅建設・施工現場は対象としない。

■ 参加企業数の増減理由

前年と変更なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

歩留まりの改善など

（原材料の転換・削減）

外壁塗料の仕様変更、気泡コンクリート用ビーズ仕様変更（トルエン・スチレン混合物から発泡ポリスチレンへの変更によるスチレンモノマーの発生回避）、塗装機洗浄用シンナーの弱溶剤系化　など

（設備導入・改良等）

蒸留装置を導入し、トルエンを含む使用済みのラッカーシンナーを再利用

（取引先企業、消費者等への周知）

新規副資材導入時に含有化学物質の種類・量を確認して採用時の条件等を明示すると共に、PRTR法・毒物劇物取締法・労働安全衛生法・環境省通知VOC100物質の各規制対象物質等が含まれていた場合、導入部署に対して将来的な低減もしくはフリー化の検討を要請する等、低VOC製品の優先的な採用を推奨。

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

従来の削減目標2000年比70%削減である年間のVOC大気排出量502tを2013年度に達成（329t）したため、2016年度に目標を見直した。
新たに17物質を加えた計63物質について、大気排出量2010年比60%削減を目指す。

（自己評価）

・VOC大気排出量（63物質）は174.2tで前年比12.0%の削減,基準年(2010年）比75.5%削減となった。なお平成12（2000）年比では90%削減となっている。
・2020年度は、コロナ禍に伴う上半期の供給量の減少が総量の削減につながった。（2020年度供給床面積は前年比13.1%減少）
・外壁接着剤の仕様変更、外壁塗料の仕様変更、歩留まり改善、使用済みのラッカーシンナーの蒸留装置利用による再利用等により、キシレン（前年比36.9%減）、ブチルセロソルブ（同17.7%減）と一層の削減が進んだ。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　印刷インキ工業連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）16 化学工業
印刷インキ製造業

■ 加盟率
約90%超（生産量ベース（化学工業統計及び内部調査等より算出）

■ 捕捉率
同上（同上）

○ 主な排出源

■ インキ製造
・原材料の保管時
・印刷インキの仕掛品・製品の製造時

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業を対象

■ 対象物質
使用量の多い16物質が対象（16物質で総排出量の98．7%をカバー）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-			-	-
排出量	423	313	283	243	255	245	250	251	182	205	202
（増減率※2）	-	（▲26%）	（▲33%）	（▲43%）	（▲40%）	（▲42%）	（▲41%）	（▲41%）	（▲57%）	（▲52%）	（▲52%）
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0		-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	37	40	40	40	40	40	40	40	41
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

印刷インキ工業連合会で実施している「化学物質の取扱量調査」により、使用量の多い16物質の合計。
16物質で、全使用量の98.7%を占める。

■ 排出量の推計方法

印刷インキ工業連合会で設定したPRTR排出配分率算出方法もしくは、各社で独自に設定した排出配分率による。
使用量の多い16物質について集計。

■ 参加企業数の増減理由

新入会員増加

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

歩留まりの改善など

（原材料の転換・削減）

代替物質への変更等

（設備導入・改良等）

施設・設備等の密閉化

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・燃焼式処理
・吸着式処理

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

・全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。
・有害大気汚染物質に該当しないVOC物質への代替をすすめる。
　特に優先取り組み物質であるトルエンの代替を進める。また、キシレン類およびエチルベンゼン等の代替も進める。
・印刷インキのノンVOC化、低VOC化を進める。

（自己評価）

主要物質の排出量には大きな変化はないが、トルエンの排出量は減少傾向にある。グラビアインキのノントルエン化が進展していることが要因と思われる。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本工業塗装協同組合連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
金属製品製造業　2461金属製品塗装業

■ 加盟率　12.0%

■ 捕捉率　41.5%

○ 主な排出源

■ 塗装　・塗料からの溶剤の揮発
■ 乾燥　・被塗物上の塗料からの溶剤の揮発
■ 洗浄　・器具・被塗物の洗浄溶剤の揮発

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　会員企業を対象

■ 対象物質　会員企業へのアンケート調査の結果、排出量合計の9割以上を占める上位5物質

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	2,646	-	2,091	1,883	2,477	2,377	2,747	3,343	2,706	2,999	2,199
排出量	1,958	-	1,358	1,309	1,801	1,474	1,768	2,270	1,875	2,160	1,435
（増減率※2）	-	-	(▲31%)	(▲33%)	(▲8%)	(▲25%)	(▲10%)	(＋16%)	(▲4%)	(＋10%)	(▲27%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	104	-	104	90	89	85	80	81	78	70	68
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	1,874	-	1,298	1,251	1,690	1,396	1,556	1,760	1,391	1,685	1,282
（対全国比）	(96%)	-	(96%)	(96%)	(94%)	(95%)	(88%)	(78%)	(74%)	(78%)	(89%)
関東地域※3	869	-	514	610	574	511	460	526	364	343	305
関西地域※4	149	-	42	160	133	147	6	15	21	148	22
中部地域※5	856	-	742	481	983	738	1,090	1,219	1,006	1,194	955

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
※4　関西地域：大阪府、兵庫県
※5　中部地域：愛知県、三重県
（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

使用量＝購入塗料中の含有VOC量＋購入シンナー量　　塗料含有溶剤量：粉体塗料0%　電着塗料2%　水性塗料8%　ハイソリッド塗料25%　一般溶剤型塗料 40%

■ 排出量の推計方法

排出量＝使用量－（廃棄塗料中のVOC量＋廃棄シンナー量）　　廃棄塗料中の塗料種は各会社の使用塗料量比率で分配した。

■ 参加企業数の増減理由

減少しており、組合員の脱退、廃業が見られる。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

VOC削減効果によるコストメリットとして、現行塗装方法の見直しによる高塗着効率化の実現。

（原材料の転換・削減）

現用溶剤型塗料の代替として、溶剤を含まない粉体塗料や溶剤含有量が少ない水性塗料、電着塗料の採用を促進

（設備導入・改良等）

低圧スプレイガンや溶剤回復装置の採用によるVOC削減及びコストの低減。

（取引先企業、消費者等への周知）

塗料類におけるVOCの環境影響及び人的影響からの脱VOC化への情報提供

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

VOCの環境への影響を構成事業所に通知するとともに、VOC低減によるメリットを実現させるため、塗料類の原材料選定や塗装方法による採用効果を実践させて、工業塗装業界の取り組みとして事業化を推進する。

（自己評価）

各事業所は、VOC対策として、塗装効率の向上と溶剤回収などに取り組んでいる。また、全塗料使用量の43%が粉体塗料、水性塗料などの環境配慮型塗料に置き換わっており、その使用比率も年々増加している。

○ その他

当組合では、小規模の塗装設備であり、法規制対象施設にほとんどが該当しない。しかし、従業員の健康管理や後継者の育成のため、VOCの少ない塗料への転換を図っている。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本ゴム工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）19 ゴム製品製造業
ゴム製品製造業

■ 加盟率
85.6%（生産量ベース、ゴム製品統計年報（原材料統計）および当会調査より算出）

■ 捕捉率
85.5%（業界からのVOC排出総量及び2000年度ゴム製品製造業VOC排出量等より算出）

○ 主な排出源

■ ゴム製品製造
・塗装、接着、洗浄を含むゴム製品製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
参加企業33社のうち、取扱量が1トン以上の32社が報告対象

■ 対象物質
アセトン、キシレン、酢酸エチル、トルエン、ゴム揮発油、その他炭化水素類等の17物質

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	22,221	19,103	11,580	8,311	8,014	7,435	7,260	7,038	6,872	6,481	5,579
（増減率※2）	-	(▲14%)	(▲48%)	(▲63%)	(▲64%)	(▲67%)	(▲67%)	(▲68%)	(▲69%)	(▲71%)	(▲75%)
うち法規制対象施設	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない	把握していない
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	36	34	34	34	34	34	34	34	33
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法
参加各社の積み上げ（事業場ベースで取扱量1t以上）

■ 参加企業数の増減理由

参加企業1社が弊会を退会したため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・洗浄装置と洗浄方法の改良
・保管容器の小型化・密閉化
・溶剤回収・再利用による排出削減
・スワブ塗布量削減のための管理強化

（原材料の転換・削減）

・溶剤等の代替品、水系製品への切り替え

（設備導入・改良等）

・溶剤処理の仕様改訂
・溶剤回収装置の設置
・設備の密閉化による大気排出削減
・塗着効率の高いスプレーガンの生産設備増強

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

「平成22年度の排出量（平成12年度対比49％削減）未満である『平成12年度対比50％以上削減』を維持し、参加各社は引き続きVOCの排出削減に努める」ことを目標に取り組んでいく。

（自己評価）

令和2年度のVOC排出量は、5,579トンと平成12年比74.9％の削減となり、目標を24.9pt上回り、成果を上げている。

○ その他

法規制対象施設ベースの排出量の実績を把握していない。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本自動車車体整備協同組合連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）89 自動車整備業
自動車車体整備業

■ 加盟率
22.7%（企業数ベース、総務省企業統計から算出）

■ 捕捉率
約2%（日本塗料工業会の自動車補修分野における排出量から算出）

○ 主な排出源

■ 塗装　・事故等により破損した自動車のボデー・バンパー等の補修塗装
■ 乾燥　・スプレーガンによる吹き付け塗装時に発生する塗料からの溶剤の揮発
■ 洗浄　・スプレーガンの洗浄溶剤の揮発
■ 調色　・塗料の調色作業時の溶剤の揮発

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
全会員企業

■ 対象物質
塗料中に含まれる全VOC

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-					-	-
排出量	536	-	333	299	321	342	312	332	260	239	213
（増減率※2）	-	-	(▲38%)	(▲44%)	(▲40%)	(▲36%)	(▲42%)	(▲38%)	(▲51%)	(▲55%)	(▲60%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全組合員（推計）	13,143.0	-	5,137.0	4,127.0	4,192.0	5,573.0	4,033.0	3,971.0	3,646.0	3,281.0	3,219.0
（増減率※2）	-		(▲61%)	(▲69%)	(▲68%)	(▲58%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲72%)	(▲75%)	(▲76%)
参加企業数	-	-	1,267	458	393	294	357	385	313	321	314
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
※4　関西地域：大阪府、兵庫県
※5　中部地域：愛知県、三重県
（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

使用量1＝（塗料購入量－年度末在庫量＋前年度在庫量）×（1－固形分率）
使用量2＝（パテ購入量－年度末在庫量＋前年度在庫量）×（1－固形分率）
使用量3＝シンナー購入量－年度末在庫量＋前年度在庫量
年間VOC使用量＝使用量1＋2＋3

■ 排出量の推計方法

排出量1＝（塗料購入量－年度末在庫量＋前年度在庫量－廃塗料）×（1－固形分率）
排出量2＝（パテ購入量－年度末在庫量＋前年度在庫量－廃塗料）×（1－固形分率）
排出量3＝シンナー購入量－年度末在庫量＋前年度在庫量－廃シンナー
年間VOC排出量＝排出量1＋2＋3

■ 参加企業数の増減理由

・昨年度同様、会員数の減少及び平成23年度末の削減目標が達成され、規制の見直しが無かったこと

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・塗料の塗着効率の向上
・塗料の蒸発ロスの低減（保管・管理の徹底）
・低VOC塗料の採用

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

組合員を調査対象とした平成22年度のVOCの排出状況は、車体整備市場の需要量の縮小もあり、減少傾向にある。
今後も組合員全体として少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

（自己評価）

・車体整備市場の縮小によるVOCの排出量の減少が大きいと考えられる

○ その他

（注）固形分率（参考）クリヤー40%、カラーベース25%、プラサフ65%、硬化剤45%、パテ94%

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本粘着テープ工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）
粘着テープ製造業

■ 加盟率
約37%（企業数ベース）

■ 捕捉率
約37%（排出量ベース）

○ 主な排出源

■ 乾燥
・粘着テープの粘着剤および剥離剤の塗工、乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
会員企業及び賛助会員企業（粘着テープ製造企業、剥離紙剥離フィルム製造企業）を対象

■ 対象物質
トルエン、キシレン、酢酸エチル、n-ヘキサン、メチルエチルケトン、その他

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	62,251	59,452	44,700	44,856	45,261	42,907	40,414	40,850	28,411	32,767	29,206
排出量	21,175	12,315	5,090	4,334	4,522	3,982	4,048	3,896	2,853	3,456	2,936
（増減率※2）	-	(▲42%)	(▲76%)	(▲80%)	(▲79%)	(▲81%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲87%)	(▲84%)	(▲86%)
うち法規制対象施設	21,175	12,315	5,090	4,334	4,522	3,982	4,048	3,896	2,853	3,456	2,936
（増減率※2）	-	(▲42%)	(▲76%)	(▲80%)	(▲79%)	(▲81%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲87%)	(▲84%)	(▲86%)
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	16	16	16	16	16	16	16	14	10	12	11
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	14,745	9,475	3,652	2,463	2,304	2,614	2,750	2,775	1,980	1,704	1,162
（対全国比）	(70%)	(77%)	(72%)	(57%)	(51%)	(66%)	(68%)	(71%)	(69%)	(49%)	(40%)
関東地域※3	9,800	6,683	2,317	1,435	1,408	1,850	1,891	1,979	1,194	1,121	590
関西地域※4	2,215	717	316	260	259	139	127	299	217	197	176
中部地域※5	2,730	2,075	1,019	768	637	625	732	497	569	386	396

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
業界各社から報告頂いた使用量データを集計した。

■ 排出量の推計方法
業界各社から報告頂いた大気への排出量データを集計した。

■ 参加企業数の増減理由

昨年は報告いただいてない賛助会員の2社が参加いただきました。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

有機溶剤を溶媒として使用する粘着剤を熱で溶かすホットメルト型粘着剤や水系エマルション粘着剤へ変更を進めた。

（設備導入・改良等）

シリコン系剥離剤を有機溶剤による希釈なしの高濃度で塗布できる設備が広まった。

（取引先企業、消費者等への周知）

日本の粘着テープ製造における有機溶剤を用いた粘着剤の比率は未だ60%以上あるものと推測する。この有機溶剤は回収あるいは燃焼させることで再利用しているものの、使用量はH22年以降減っていない。欧米では有機溶剤を用いた粘着剤の比率が35%と聞いている。使用者−生産者間で材料変更（無溶剤型粘着剤への）を容易に進められる理解が求められる。

（その他の対策）

・無溶剤型粘着剤への切り替え
・粘着剤の高濃度化(ハイソリッド化)による溶剤の削減(リデュース)
・乾燥工程から溶剤回収し再使用(リユース)
・回収溶剤の燃焼装置による熱回収(リサイクル)
・溶剤回収脱着水の水処理
＜コスト＞
・溶剤燃焼装置　約2億円/1基
・溶剤回収装置　約3億円/1基

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

溶剤型粘着剤を使用している製品を無溶剤型粘着剤に仕様変更して、有機溶剤の使用量、排出量を減らす。

（自己評価）

令和2年度のVOC使用量、排出量ともに減少した。VOCの使用量は生産数量と連動しており、令和2年度は、コロナの影響で粘着テープの生産数量が減少したためである。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　全国楽器協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）32 その他の製造業
その他の製造業（楽器製造業）

■ 加盟率
不明

■ 捕捉率
約90%（出荷額ベース）

○ 主な排出源

■ 塗装
・塗装工程での溶剤

■ 洗浄
・洗浄工程での洗浄剤

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
業界大手企業

■ 対象物質
トルエン・スチレン・キシレン・ジクロロメタンの4物質（PRTRの対象物質の中より排出量の上位物質）

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	957	-	312	274	269	236	210	203	203	205	188
排出量	240	-	56	44	43	63	53	53	50	52	45
（増減率※2）	-	-	(▲77%)	(▲82%)	(▲82%)	(▲74%)	(▲78%)	(▲78%)	(▲79%)	(▲78%)	(▲81%)
うち法規制対象施設	4	-	8	8	5	6	4	8	10	8	4
（増減率※2）	-	-	(＋100%)	(＋100%)	(＋25%)	(＋50%)	(＋0%)	(＋100%)	(＋150%)	(＋100%)	(＋0%)
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	4	4	2	2	2	2	2	2
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

原材料購入量に、対象物質の含有率を掛けて算出。（含有率は原材料のSDSに記載されている値）

■ 排出量の推計方法

以下①②いずれかの方法で算定
①工程における排出量を実測
②用途・使用方法から想定される排出係数を設定し、使用量に掛けて排出量を算定

■ 参加企業数の増減理由

増減なし

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・塗装塗り直し率の改善による塗料使用量削減等、ハード/ソフト両面での製造方法改善

（原材料の転換・削減）

・水溶性塗料への変更

（設備導入・改良等）

・スプレー塗装から、スチレン非含有塗料を使用する型内塗装への変更

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・溶剤回収設備稼働による溶剤回収の継続
・未使用時には容器に蓋をすることを徹底し溶剤の気散防止

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

VOC使用量及び排出量が平成27年度の値を超過しないよう取り組む。

（自己評価）

・スプレー塗装から、スチレン非含有塗料を使用する型内塗装へ変更する部品数を増やしたことで、スチレンの使用量削減が進んでいる。
・塗装塗り直し率の改善による塗料使用量削減等、ハード/ソフト両面での製造方法改善取り組みが進み、使用量の削減とそれに伴う大気への排出削減が進んでいる。
・製造工程で、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタンなどの塩素系有機溶剤の使用が10年以上全廃できている。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名

日本釣用品工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種

（代表的な業種）32 その他の製造業

その他の製造業

■ 加盟率

90%程度（製造品出荷ベース）

■ 捕捉率

同上（同上）

○ 主な排出源

■ 洗浄

・釣針製造の焼き入れ工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員であって、釣針製造業を営む企業（15社）および団体会員（兵庫県釣針協同組合（38社）、播州釣針協同組合（30社））を対象（83社）。参加は19社

■ 対象物質

ジクロロメタン

○ 排出状況

（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-					-	-
排出量	110	80	69	70	70	70	70	66	64	64	67
（増減率※2）	-	（▲27%）	（▲37%）	（▲36%）	（▲36%）	（▲36%）	（▲36%）	（▲40%）	（▲42%）	（▲42%）	（▲39%）
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	19	19	19	19	19	19	19	19
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3 関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域：大阪府、兵庫県

※5 中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・洗浄設備の改善、導入
・洗浄工程の効率化
・代替物質の使用
・代替洗浄技術

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

VOCの排出量の目標数値の設定は自主判断としながらも、5年後のジクロロメタンの排出量が平成22年度の値を上回らないように作業環境改善に取り組んでいく。

（自己評価）

自主計画ではあるものの、平成22年度の値を上まわらないように業界として作業環境の改善に取り組んでいる。

○ その他

釣針製造大手企業へのヒアリングを行ったところ、規模が小さく塗装、洗浄など裾切り基準以下である事から、法規制対象施設を区分した調査は実施していない。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本金属ハウスウェア工業組合

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
金属ハウスウェア製造業

■ 加盟率
100%（会員企業ベース）

■ 捕捉率
同上（同上）

○ 主な排出源

■ 洗浄
・脱脂洗浄工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
対象企業55社（100%）

■ 対象物質
トリクロロエチレン

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-					193	-
排出量	489	-	302	260	210	200	199	199	199	193	170
（増減率※2）	-	-	(▲38%)	(▲47%)	(▲57%)	(▲59%)	(▲59%)	(▲59%)	(▲59%)	(▲61%)	(▲65%)
うち法規制対象施設	-	-	40	40	39	39	38	38	38	37	36
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	51	50	50	49	49	49	48	48
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法
排出量＝使用量－吸着回収量

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

トリクロロエチレンの洗浄を止めて臭素による洗浄に変えた企業がある。脱脂の落ちはトリクロロエチレンより悪いそうだが、従業員の安全性や環境に対してのことを考慮し変更した。

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

①未使用時における暴露軽減のために密閉用の蓋を設置するなど大気中の暴露対策（作業現場の公害防止策含む）実施
②トリクロロエチレン回収装置の推奨　③装置を使用する際の作業手順や装置を日常的に点検する④トリクロロエチレンに代わる代替品の研究や情報収集など引き続き模索していく

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

当業界の自主的取組において、全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

（自己評価）

当組合の組合員が製造している家庭用・業務用金属ハウスウェア製品群の洗浄工程では、当該物質の排出量、使用量は減少している。特に業務用品についてはコロナ禍の影響もあり売り上げが減少している点から、使用量並びに排出量が減少した。今後も更に従事者の健康管理を含み、行政や洗浄関係団体の指導、アドバイスを受け、より具体的な取組みを行ないたい。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本金属洋食器工業組合

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
金属洋食器製造業

■ 加盟率
90%

■ 捕捉率
同上

○ 主な排出源

■ 洗浄
・金属洋食器の研磨後の洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
組合員中、アンケート回答があった会員を対象

■ 対象物質
トリクロロエチレン

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-					24	21
排出量	201	-	33	28	28	27	26	25	25	24	21
（増減率※2）	-	-	(▲84%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲87%)	(▲87%)	(▲88%)	(▲88%)	(▲88%)	(▲90%)
うち法規制対象施設						0	0	0		0	0
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	-	-		40	39	38	38	38
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
（対全国比）	-	-	-	-	-	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)
関東地域※3	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
中部地域※5	-	-	-	-	-	0	0	0	-	0	0

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{\text{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}}{\text{12年度の排出量}}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

前年度からの生産数量約15%の減少

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

環境改善のため洗浄機からの漏れの確認、適切な温度管理なども行い、一部で24時間の回収装置の稼働など改善を行っており、排出量は減少しているが8時間作業の3倍稼働しているためその分コストは上がっている。

（原材料の転換・削減）

代替品になるものは、まだ無い。

（設備導入・改良等）

洗浄装置から漏れ出る箇所等の検査確認をし、ある場合はパッキンの交換や適切な温度管理を行っている。

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・回収装置の検討
・機密性の対策や洗浄温度の調整
・トリクロロエチレンに変わる代替品の研究

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

業界全体として5年後に平成22年度比で悪化しないように取り組む。

（自己評価）

洗浄設備装置の改善により当該物質の排出量は、設備の検討も含めて抑制されてきているが、代替品については、いろいろと試行してみているが当該物質に代わるものは、まだ無い。今後は新潟県の行政関係も含めて溶剤関係業者の指導を受けながら取り組みたい。

○ その他

法的対象施設として該当するものがないため、記載なし。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　日本ガス石油機器工業会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）24 金属製品製造業
ガス･石油機器及び関連部品の製造業

■ 加盟率
不明

■ 捕捉率
86%（会社数ベースの補足率であるが、未回答会社はVOCを排出していないか排出量が僅少の会社であり、VOC排出量としての補足率は100%に近いと考える。

○ 主な排出源

■ 塗装
・塗装工程

■ 洗浄
・脱脂洗浄工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
工業会の全会員会社

■ 対象物質
塗装工程及び脱脂洗浄工程から排出されるVOCの総量

○ 排出状況　（単位:トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-					-	-
排出量	765	-	513	560	504	364	361	374	432	423	402
（増減率※2）	-	-	(▲33%)	(▲27%)	(▲34%)	(▲52%)	(▲53%)	(▲51%)	(▲44%)	(▲45%)	(▲47%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	88	85	87	78	73	72	72	75
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	148	200	152	160	163	170	192	188	193
（対全国比）	-	-	(29%)	(36%)	(30%)	(44%)	(45%)	(46%)	(44%)	(44%)	(48%)
関東地域※3	-	-	21	47	41	35	38	38	38	32	28
関西地域※4	-	-	36	25	23	21	24	25	23	23	21
中部地域※5	-	-	91	129	88	104	101	108	131	132	145

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
（該当なし）

■ 排出量の推計方法
次の量の合計をVOC排出量とした。
・ 塗装工程で使用した有機溶剤等の使用量にVOCの含有率及び排出係数を乗じた量
・ 脱脂洗浄工程で使用した脱脂洗浄剤の使用量に排出係数を乗じた量

■ 参加企業数の増減理由

会員会社数が87社、回答会社数が75社であり、昨年比で会員会社数に増減はなかったが、回答会社数は3社増加し、参加企業数としては昨年より若干増加した。なお、未回答会社はいずれもVOCを排出していないか排出量が僅少の会社である。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・塗装工程変更・管理強化による使用量のばらつき低減
・溶剤塗装装置の機械条件の変更（塗料吐出量削減改善）
・レシプロ速度の低下により部品に塗料が付きやすく対応（塗着効率の向上） ほか

（原材料の転換・削減）

・塗料顔料粒径変更による塗着効率の向上
・溶剤塗料から粉体塗料への塗装仕様変更
・低含有対象物質の塗料への切換え ほか

（設備導入・改良等）

・環境配慮型の塗装プラントの導入
・塗装装置更新による塗料の使用量削減（塗料付き回り向上による無駄吹き量の削減）
・自動塗装ガンの更新（塗着効率の向上） ほか

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・部品形状変更
・小型化による使用量削減
・排出量の多い塗料の生産割合調整 ほか

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

・平成22年度比で悪化しないように取り組む。（定量目標は掲げず、増産等の影響による変動は是認を前提とする。）

（自己評価）

令和2年度の排出量（402トン）は、基準年度［平成12年度（765トン）］比で47%減、新たな取組の目指すべき方向性として掲げた平成22年度（513トン）比で22%減となり、VOC排出量削減への各社の継続的な取組に効果があったと評価する。
今後も、新たな取組の目指すべき方向性として掲げた平成22年度比で悪化しないように取り組んでいきたい。

○ その他

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　全国石油商業組合連合会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）60 その他の小売業
揮発油販売業

■ 加盟率
98.4%（揮発油販売業のうち揮発油販売業者の加盟率）

■ 捕捉率
100%（石油連盟による販売数量（全国の販売量の100%）で排出量を捕捉）

○ 主な排出源

■ 荷下ろし
・荷下ろし時（石油製品貯蔵タンク）

■ 給油
・給油時（計量機）

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業
全国石油商業組合連合会の全会員

■ 対象物質
荷下ろし時（ステージ1）及び給油時（ステージ2）に排出されるVOCの総量

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-			-	-
排出量	120,563			-	-	-	99,959	95,848	94,333	90,954	82,941
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	(▲17%)	(▲20%)	(▲22%)	(▲25%)	(▲31%)
うち法規制対象施設	-	0		-	-	-	-			-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	-	-	-	14,730	14,381	14,002	13,756	13,548
（参考）地域別排出量											
■ 対策地域計	46,767	-	-	-	-	-	36,041	33,381	32,716	30,864	28,120
（対全国比）	(39%)	-	-	-	-	-	(36%)	(35%)	(35%)	(34%)	(34%)
関東地域※3	25,938	-	-	-	-	-	20,942	19,137	18,547	17,318	15,590
関西地域※4	9,608	-	-	-	-	-	7,596	7,174	7,065	6,877	6,374
中部地域※5	11,221	-	-	-	-	-	7,503	7,070	7,104	6,669	6,156

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

（1）排出量は、給油時、荷卸し時ともに、原則として「石油連盟統計・都道府県別年間販売実績」×「排出係数」によって算定する。
（2）排出係数については、第30回揮発性有機化合物（VOC）排出インベントリ検討会（平成28年3月15日開催）資料2-1/P7表6「給油所における排出量推計結果（平成26年度排出量）」の「見直し後の推計方法」の数値とし、今後、同検討会における議論の結果、当該排出量及び推計方法が変更となった場合には、変更後の数値等を使用することとする。
（3）計量機メーカー等の協力を得て、年度毎のステージ2対応機器の導入台数等を集約し、SS固有データ（所在地、ガソリン販売量等）などによりVOC削減量を定量化し、進捗状況を把握するとともに、（1）の排出係数に反映させる。

（自主行動計画書(全国石油商業組合連合会)）

■ 参加企業数の増減理由

主に、廃業による脱退。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（原材料の転換・削減）

（設備導入・改良等）

・荷卸し時に排出されるVOCを回収する機器（ステージ1対応機）の導入
・給油時に排出されるVOCを回収する機器（ステージ2対応機）の導入

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

各種会議等でVOC回収機器のパンフレットを配布し、計量機更新時に当該機器類の導入を検討するよう要請した。

また、資源エネルギー庁及び環境省が創設した「大気環境配慮型SS認定制度（e→AS）」のポスターを掲示した。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

H12(2000)年度の排出量を基準とし、R6(2024)年度までにガソリンスタンドから排出されるVOC排出量を基準年度比3割削減することを目指す。

（自己評価）

毎年、ベーパー回収型計量機等の導入が前年比で10%以上増と、徐々にではあるが進んでいることもあり、VOC排出量の削減は着実に進んでいる。今後も引き続き、組合員への啓発を続けていきたい。

○ その他

2020年度はコロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ガソリン販売量は大幅に減少した。その結果、VOC排出量も例年に比べて大きく減少（対前年比8.81%）していることから、ガソリン販売量がVOC排出量に大きく影響することは明らかである。このため、VOC回収機器の導入を進めたとしても、2021年度に販売量が回復すれば、2020年度の排出量よりも増加する可能性は高い。この点はSS業界の主力商品であるガソリンの特性（揮発性が高い）であり、業界の取り組みが後退した結果ではないことをご理解いただきたい。

VOC自主的取組（状況報告）

○ 団 体 名　産業環境管理協会

○ 捕捉範囲

■ 業 種
（代表的な業種）99 分類不能の産業
参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える

■ 加盟率　0%

■ 捕捉率　0%

○ 主な排出源

・参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える。

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業　排出量報告を行っている業界団体に、所属していない企業

■ 対象物質　全VOC

○ 排出状況　（単位：トン）

	【H12年度】	【H17年度】	【H22年度】	【H25年度】	【H26年度】	【H27年度】	【H28年度】	【H29年度】	【H30年度】	【R1年度】	【R2年度】
■ 全国											
使用量※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	2,600	2,600	1,666	1,578	1,417	1,299	1,050	765	734	477	612
（増減率※2）	-	(＋0%)	(▲36%)	(▲39%)	(▲46%)	(▲50%)	(▲60%)	(▲71%)	(▲72%)	(▲82%)	(▲76%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
独自指標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（増減率※2）											
参加企業数	-	-	-	24	24	23	23	20	20	19	20
（参考）地域別排出量 ■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
（対全国比）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2%)
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

※1　使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2　増減率（%）＝ $\frac{（当該年度の排出量－12年度の排出量）}{12年度の排出量}$

※3　関東地域：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4　関西地域：大阪府、兵庫県

※5　中部地域：愛知県、三重県

（注）物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

（VOC把握範囲）のべ件数
・VOCである有機物質ほぼすべて（5件）
・VOC製品の取扱量をそのままVOC排出量と見なした値（1件）
・販売元に揮発分量or有機溶剤量を問い合わせた値（2件）
・取扱製品の揮発量、排出係数を測定or設定し、取扱量に乗じた値（3件）
・代表的な取扱物質に限定（3件）
・PRTR届出物質に限定（13件）
補足事項
・PRTR算出時に、使用有機溶剤(塗料/溶剤等)のすべてのものをﾍﾞｰｽにしており、その中で、VOC含有量を算出し廃棄分(廃ｼﾝﾅｰ/廃塗料)、2次燃焼分として処理した以外のものをVOC移動量(大気に放出分)としている。
・工場内で使用する揮発性有機化合物含有製品（販売元に揮発分量or有機溶剤量を問い合わせた値）

■ 排出量の推計方法

（令和2年度）のべ件数
・測定値（2件）
・VOC製品の取扱量と、その中の有機溶剤比率から大気排出量を求めたもの（5件）
・PRTR届出の大気排出量（14件）
・PRTRマニュアルに倣い物質収支で計算したもの（3件）
補足事項
・削減した理由は、PRTR対象物質を削減する新製品への代替が着実に進んだことと生産量の減少によります。
・測定値の数値は、VOC2次燃焼装置の計量証明値(削減の実測値)を削減率として算出しﾄｰﾀﾙVOC移動量(大気に放出分)としている。
・工場内で使用する揮発性有機化合物含有製品それぞれの、当該成分含有比率を使用量に乗じて算出
・前年度に対して今年度は受注減により排出量が減少しました。

■ 参加企業数の増減理由

20社より報告。昨年より1社増。今年度は全対象企業より速やかな回答を頂いた。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

（工程内対策　9件）のべ件数
・焼付炉VOC処理設備設置及び工程内対策（付着率向上、過剰膜厚削減）等（VOC排出量削減に限界あり）
・塗工機1基増設（令和3年2月より稼働）主溶剤をトルエンから酢酸エチル（43%）に変更
・工程内使用量の削減：工程内使用溶媒をトルエンから水系溶媒に変更を行った（令和3年3月から実施の為、効果は今年度より見込まれる）。
・VOC発生工程の密閉化継続推進。
・平成21年9月以降、静電塗装装置3台、エアラップ塗装装置2台を導入。平成28年11月に静電塗装装置１台を導入
・2018/5　完全密閉型自動洗浄機の導入実施（塩化メチレン使用）
・塗装不良削減が、最大のVOC削減策であるとし、令和2年度も設備機器由来のゴミ、異物の付着防止策を継続した。
　結果として、取り組みの効果は確かに認められるが、人的な要因による不良発生を抑制できなかった。塗装点数で前年比99%、売上高では96%となったが、VOCの排出量は1%余り増加してしまった。当年はコロナ禍の影響を受け、時短や休業が相次ぎ、塗装作業者へのメンタル的な作用も働いたのか、これまでは一度で仕上がっていた品物が再塗装になるなどの事例が多発した。
・H30年９月より、VOC除去装置をさらに１基増設稼働させて、自然環境への負荷軽減努力を続けています。
・令和2年度より対策。従来鋳物溶剤塗装工程は2工程(錆止塗装後、仕上塗装)ですが塗料(錆止剤配合、厚膜塗装、仕上同等な美観)の改良を行い1工程に短縮した。結果、仕上塗装前の洗浄作業が無くなり洗浄シンナーを削減した。

（原材料の転換・削減）

（低VOC製品への代替　8件）のべ件数
・PRTR対象物質を削減する新製品への代替が着実に進んだことと生産量の減少
・VOCゼロの粉体塗料への切換えを推進
・溶剤回収装置の保守、水性インクの使用拡大、水性プライマーの開発・拡大
・平成２８年度に水溶性接着剤へ切替え済み
・平成31年4月よりノントル接着剤に切り替え
・令和2年6月より、ノントルエンの使用を開始しました（35アイテムの内、5アイテム）
・平成22年度末にトリクロルエチレンを代替品に転換済

（設備導入・改良等）

（除去設備の設置　3件）のべ件数

（取引先企業、消費者等への周知）

（その他の対策）

・粉体塗料(VOCを含まない)の使用比率を向上させるための活動を継続中→営業活動、建築学会活動等による粉体塗料の普及ｱﾋﾟｰﾙを実施中。
・製品の出荷量に影響されるため、当社として対策は立てられません（R2排出量0.017t）。

■ 自己評価

（取組の目指すべき方向性）

当協会は特定業種を代表しているわけではなく、産業団体に属さない個別企業の「自主的取組報告の受け皿」や、自主的取組を実施したいと考える企業に対する支援を目的に、「VOC自主的取組支援ボード」を運営している。そのため、自主的取組支援団体として、前年度より排出量が増加しないよう又創意工夫により排出抑制に継続的に取組よう、支援ボード参加企業に呼びかけていく。

（自己評価）

参加企業20社中、17社のVOC排出量が平成22年と比較し削減していたが、3社については横ばい又は増加していた。横ばい又は増加の3社中、1社（排出量が0.017t（H22　0.016t））については、これ以上の削減は現段階では難しいとのことであった。また他の1社は、増加の理由としてコロナ禍の影響を受け、塗装作業者の再塗装事例が多発したなどの報告を受けた。時節柄、生産量減少に伴い排出量減との報告もあるが、この時期に新たな対策を検討している様子も見受けられた。工程内対策や低VOC製品への代替など削減対策等も立てているので、継続して原因・対策についてフォローしていきたい。
昨年、コロナ対策の為、本報告に対応できなかった1社については、今年度は排出量の報告を頂けており、排出量もH22より下がっている。この企業の主なVOC削減対策は、工程内対策や低VOC製品への代替であった。平成22年度の目標値を達成した後も、継続して削減に取り組んでいるとのことである。

○ その他

産業環境管理協会は、業界団体に属さない企業の自主的取組を支援するため、平成19年10月に「VOC自主的取組支援ボード」を開設した。このため、当協会は特定業種を代表しているわけではなく、広くVOCを排出している企業に対する「排出量報告の受け皿」と「助言・情報提供」を目的に、支援ボードを運営している。
また、支援ボード参加の条件として、公表を前提として報告する情報を除き、個別企業の情報に関することは一切守秘されることとしているため、排出量の集計値以外は公表することができない。

ＶＯＣ排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
令和二年度実績（物質別排出量）

1 日本ガス協会 …… 97
2 日本染色協会 …… 98
3 日本製紙連合会 …… 99
4 日本鉄鋼連盟 …… 100
5 電機・電子4団体 …… 101
6 日本塗料工業会 …… 102
7 日本自動車部品工業会 …… 103
8 日本自動車工業会 …… 104
9 線材製品協会 …… 105
10 日本伸銅協会 …… 106
11 全国鍍金工業組合連合会 …… 107
12 日本電線工業会 …… 108
13 日本アルミニウム協会 …… 109
14 日本建材・住宅設備産業協会 …… 110
15 天然ガス鉱業会 …… 111
16 石油連盟 …… 112
17 日本化学工業協会 …… 113
18 日本印刷産業連合会 …… 114
19 ドラム缶工業会 …… 115
20 軽金属製品協会 …… 116
21 日本プラスチック工業連盟 …… 117
22 日本オフィス家具協会 …… 118
23 日本表面処理機材工業会 …… 119
24 日本自動車車体工業会 …… 120
25 日本接着剤工業会 …… 121
26 プレハブ建築協会 …… 122
27 印刷インキ工業連合会 …… 123
28 日本工業塗装協同組合連合会 …… 124
29 日本ゴム工業会 …… 125
30 日本自動車車体整備協同組合連合会 …… 126
31 日本粘着テープ工業会 …… 127
32 全国楽器協会 …… 128
33 日本釣用品工業会 …… 129
34 日本金属ハウスウェア工業組合 …… 130
35 日本金属洋食器工業組合 …… 131
36 日本ガス石油機器工業会 …… 132
37 全国石油商業組合連合会 …… 133
その他（産業環境管理協会） …… 134

物質別VOC排出量

団体名：日本ガス協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類	87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0		0		0	
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	87	100%	27	100%	0		0		0		0		0		0		0		0		0	

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本染色協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	2,648	31%	2,036	29%	825	27%	464	26%	491	31%	401	25%	389	29%	541	34%	461	31%	250	20%	172	19%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル	165	2%	149	2%	95	3%	197	11%	80	5%	78	5%	63	5%	92	6%	31	2%	109	9%	73	8%
―	メチルエチルケトン	1,446	17%	1,416	20%	697	23%	197	11%	193	12%	304	19%	171	13%	187	12%	191	13%	218	17%	149	16%
80	キシレン	228	3%	130	2%	75	2%	57	3%	32	2%	29	2%	26	2%	28	2%	23	2%	17	1%	18	2%
―	イソプロピルアルコール	351	4%	359	5%	316	10%	307	17%	285	18%	289	18%	226	17%	249	15%	262	17%	160	13%	125	14%
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド	1,104	13%	944	13%	258	8%	100	6%	105	7%	86	5%	86	6%	90	6%	92	6%	97	8%	77	8%
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	45	1%	42	1%	29	1%	31	2%	22	1%	20	1%	23	2%	23	1%	25	2%	23	2%	19	2%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ	185	2%	225	3%	2	0%	5	0%	4	0%	5	0%	7	1%	31	2%	60	4%	59	5%	56	6%
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール	58	1%	71	1%	26	1%	7	0%	10	1%	15	1%	8	1%	7	0%	10	1%	8	1%	6	1%
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	2,328	27%	1,746	25%	720	24%	437	24%	359	23%	370	23%	356	26%	364	23%	351	23%	308	25%	224	24%
―	物質別データなし																						
	合計	8,558	100%	7,118	100%	3,043	100%	1,802	100%	1,581	100%	1,597	100%	1,355	100%	1,612	100%	1,506	100%	1,249	100%	919	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本製紙連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	9,534	100%	3,816	100%	1,313	100%	1,225	100%	1,270	100%	1,244	100%	1,261	100%	1,215	100%	1,178	100%	1,091	100%	973	100%
	合計	9,534	100%	3,815	100%	1,313	100%	1,225	100%	1,270	100%	1,244	100%	1,261	100%	1,215	100%	1,178	100%	1,091	100%	973	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本鉄鋼連盟

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	6,992	100%	4,518	100%	3,043	100%	2,252	100%	2,392	100%	2,176	100%	2,112	100%	2,121	100%	2,177	100%	2,230	100%	1,753	100%
	合計	6,992	100%	4,518	100%	3,043	100%	2,252	100%	2,392	100%	2,176	100%	2,112	100%	2,121	100%	2,177	100%	2,230	100%	1,753	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：電機・電子4団体

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	24,984	100%	18,018	100%	11,024	100%	7,977	100%	7,988	100%	7,760	100%	7,635	100%	8,396	100%	8,473	100%	7,590	100%	8,827	100%
	合計	24,984	100%	18,018	100%	11,024	100%	7,977	100%	7,988	100%	7,760	100%	7,635	100%	8,396	100%	8,473	100%	7,590	100%	8,827	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本塗料工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	952	24%	585	19%	371	16%	315	15%	308	15%	319	15%	313	15%	310	15%	320	14%	290	14%	267	13%
－	炭化水素類																						
－	酢酸エチル	169	4%	152	5%	184	8%	178	8%	170	8%	184	9%	190	9%	216	10%	206	9%	191	9%	187	9%
－	メチルエチルケトン	95	2%	123	4%	83	4%	63	3%	70	3%	69	3%	71	3%	84	4%	80	4%	75	4%	68	3%
80	キシレン	433	11%	371	12%	234	10%	219	10%	217	11%	225	11%	214	10%	210	10%	221	10%	205	10%	173	9%
－	イソプロピルアルコール	81	2%	87	3%	77	3%	70	3%	93	5%	88	4%	83	4%	96	5%	91	4%	90	4%	79	4%
－	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
－	アセトン																						
392	ノルマルーヘキサン																						
－	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	244	6%	172	6%	151	7%	147	7%	152	7%	156	7%	146	7%	145	7%	158	7%	147	7%	153	8%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
－	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
－	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
－	ブタノール	65	2%	70	2%	57	2%	45	2%	43	2%	43	2%	43	2%	49	2%	51	2%	47	2%	40	2%
－	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
－	メチルイソブチルケトン	78	2%	79	3%	67	3%	51	2%	51	2%	49	2%	50	2%	50	2%	50	2%	48	2%	44	2%
－	イソブタノール																						
－	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
－	その他	1,830	46%	1,422	46%	1,094	47%	1,007	48%	957	46%	1,000	47%	1,003	47%	969	46%	1,059	47%	1,003	48%	970	49%
－	物質別データなし																						
	合計	3,947	100%	3,061	100%	2,318	100%	2,095	100%	2,061	100%	2,133	100%	2,113	100%	2,129	100%	2,237	100%	2,095	100%	1,980	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車部品工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,704	30%	5,227	29%	3,192	34%	2,080	26%	1,639	22%	1,551	22%	1,491	21%	779	16%	996	18%	1,240	33%	750	20%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン	1,737	8%	1,706	9%	738	8%	566	7%	707	10%	576	8%	689	10%	513	11%	371	7%	260	7%	436	11%
80	キシレン	2,390	11%	2,625	14%	1,168	12%	776	10%	1,072	14%	676	10%	650	9%	323	7%	460	8%	438	12%	429	11%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）	1,935	9%	1,545	9%	690	7%	616	8%	614	8%	595	9%	776	11%	523	11%	279	5%	128	3%	536	14%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	3,058	13%	1,302	7%	199	2%	74	1%	128	2%	122	2%	131	2%	123	3%	107	2%	27	1%	27	1%
―	アセトン	1,403	6%	293	2%	106	1%	45	1%	58	1%	37	1%	129	2%	34	1%	141	3%	26	1%	34	1%
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	5,498	24%	5,425	30%	3,401	36%	3,785	48%	3,194	43%	3,348	48%	3,187	45%	2,438	52%	3,059	57%	1,595	43%	1,594	42%
―	物質別データなし																						
	合計	22,725	100%	18,121	100%	9,493	100%	7,942	100%	7,412	100%	6,905	100%	7,054	100%	4,733	100%	5,412	100%	3,713	100%	3,806	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,127	12%	4,189	10%	2,357	9%	2,220	9%	2,172	9%	2,062	9%	2,056	9%	2,424	10%	2,314	10%	1,869	8%	1,670	9%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	11,086	21%	5,142	12%	2,556	10%	2,799	11%	2,649	11%	2,375	11%	2,387	10%	2,693	11%	2,444	10%	2,189	10%	1,863	10%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン							13	0%	13	0%	11	0%	12	0%	14	0%	13	0%	13	0%	11	0%
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	1,991	4%	1,978	5%	1,649	6%	1,900	8%	1,848	8%	1,701	8%	1,723	7%	1,893	8%	2,129	9%	1,906	8%	1,705	9%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	344	1%	614	1%	367	1%	423	2%	419	2%	365	2%	362	2%	462	2%	451	2%	392	2%	339	2%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン							1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%
240	スチレン							1	0%	1	0%	2	0%	1	0%	2	0%	2	0%	2	0%	2	0%
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）									59	0%	47	0%			41	0%	24	0%				
83	クメン（イソプロピルベンゼン）							18	0%	19	0%	14	0%	30	0%	41	0%	38	0%	36	0%	33	0%
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）							33	0%	32	0%	28	0%	26	0%	29	0%	29	0%	32	0%	28	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他					662	3%	781	3%	817	3%	699	3%	836	4%	991	4%	1,110	5%	889	4%	867	5%
―	物質別データなし	33,137	63%	29,276	71%	18,032	70%	16,917	67%	15,818	66%	14,864	67%	15,933	68%	16,244	65%	15,699	65%	15,700	68%	12,728	66%
	合計	52,685	100%	41,199	100%	25,623	100%	25,106	100%	23,848	100%	22,169	100%	23,367	100%	24,835	100%	24,254	100%	23,029	100%	19,247	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：線材製品協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	68	5%	73	8%	50	17%	48	21%	46	21%	44	23%	45	24%	42	21%	39	20%	38	22%	33	20%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル	96	7%	21	2%	18	6%	32	14%	26	11%	12	6%	9	4%	8	4%	8	4%	7	4%	5	3%
―	メチルエチルケトン	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
80	キシレン	7	1%	17	2%	6	2%	7	3%	3	2%	4	2%	4	2%	4	2%	5	2%	4	2%	3	2%
―	イソプロピルアルコール	1	0%	1	0%	0	0%			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	420	33%	430	48%	86	30%	47	20%	62	28%	57	30%	64	33%	80	40%	90	46%	73	42%	70	43%
―	アセトン	45	3%	38	4%	16	5%	21	9%	25	11%	19	10%	18	9%	17	8%	13	7%	12	7%	8	5%
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン	153	12%	78	9%	11	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	15	1%	13	1%	4	1%	2	1%	2	1%	3	2%	3	1%	4	2%	3	1%	2	1%	1	0%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン	485	38%	223	25%	100	34%	73	32%	59	26%	52	27%	50	26%	47	23%	41	21%	37	21%	43	27%
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	1,291	100%	894	100%	291	100%	231	100%	223	100%	191	100%	192	100%	201	100%	198	100%	174	100%	163	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本伸銅協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	318	73%	178	97%	86	95%	82	89%	69	90%	55	88%	64	88%	57	85%	63	87%	56	87%	44	83%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル											0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	メチルエチルケトン											0	0%							0	0%		
80	キシレン	17	4%	3	2%	2	2%	3	4%	2	3%	2	4%	3	3%	3	4%	3	4%	2	3%	2	4%
―	イソプロピルアルコール											0	1%	1	1%	1	1%	1	2%	0	0%	1	2%
―	メチルアルコール（メタノール）											2	3%	2	3%	2	3%	1	1%	0	0%	0	1%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	100	23%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%									0	0%		
―	アセトン											0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1	0%	1	0%	0	0%	1	1%	0	1%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル											0	0%										
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル													0	0%			0	0%	0	0%		
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	3	4%			4	5%	6	9%	6	10%
―	物質別データなし																						
	合計	436	100%	184	100%	91	100%	92	100%	77	100%	63	100%	72	100%	67	100%	72	100%	64	100%	53	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：全国鍍金工業組合連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	392	29%	280	28%	220	26%	195	27%	203	28%	195	27%	185	26%	176	26%	173	26%	169	26%	162	26%
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン	964	71%	712	72%	626	74%	535	73%	522	72%	523	73%	518	74%	492	74%	482	74%	472	74%	453	74%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	1,356	100%	992	100%	846	100%	730	100%	725	100%	718	100%	703	100%	668	100%	655	100%	641	100%	615	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本電線工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	126	9%	60	6%	45	6%	48	8%	35	6%	23	4%	29	5%	26	4%	20	4%	16	3%	14	3%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																			26	4%		
―	メチルエチルケトン	44	3%	45	4%	41	6%	34	5%	32	5%	29	5%	19	3%	19	3%	15	3%	17	3%	16	3%
80	キシレン	138	10%	57	6%	61	9%	45	7%	45	8%	36	6%	33	5%	34	5%	26	5%	34	6%	25	4%
―	イソプロピルアルコール	234	16%	375	37%	181	26%	161	26%	136	23%	113	20%	152	25%	166	26%	159	29%	187	30%	155	27%
―	メチルアルコール（メタノール）	68	5%	46	5%	65	9%	62	10%	55	9%	60	10%	58	10%	59	9%	44	8%			42	7%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	35	2%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%				
―	アセトン	175	12%	111	11%	95	13%	61	10%	63	11%	65	11%	64	11%	83	13%	62	11%	89	14%	127	22%
392	ノルマル－ヘキサン																			1	0%		
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																			32	5%		
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド	73	5%	40	4%	31	4%	21	3%	16	3%	13	2%	9	1%	8	1%	7	1%	6	1%	6	1%
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																			3	1%		
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																			0	0%		
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール	269	19%	71	7%	23	3%	30	5%	33	6%	40	7%	28	5%	30	5%	24	4%	21	3%	17	3%
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール	107	7%	41	4%	30	4%	31	5%	37	6%	40	7%	33	6%	32	5%	24	4%	26	4%	17	3%
―	メチルイソブチルケトン																			0	0%		
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	170	12%	165	16%	135	19%	126	20%	139	24%	154	27%	179	30%	177	28%	161	30%	154	25%	148	26%
―	物質別データなし																						
	合計	1,439	100%	1,013	100%	707	100%	619	100%	591	100%	573	100%	604	100%	633	100%	543	100%	614	100%	567	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本アルミニウム協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	1,900	100%	569	100%	348	100%	289	100%	338	100%	285	100%	272	90%	292	100%	277	100%	265	100%	181	100%
	合計	1,900	100%	569	100%	348	100%	289	100%	338	100%	285	100%	302	100%	292	100%	277	100%	265	100%	181	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本建材・住宅設備産業協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	4,419	55%	3,645	60%	1,257	57%	883	49%	891	48%	741	48%	594	46%	551	47%	479	48%	464	51%	361	55%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	2,256	28%	1,528	25%	594	27%	556	31%	599	33%	513	33%	457	35%	406	35%	326	33%	285	31%	189	29%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	771	10%	240	4%	69	3%	80	4%	67	4%	62	4%	56	4%	59	5%	41	4%	25	3%	5	1%
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	449	6%	524	9%	239	11%	217	12%	233	13%	184	12%	134	10%	114	10%	102	10%	96	10%	72	11%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	136	2%	122	2%	49	2%	51	3%	52	3%	48	3%	52	4%	45	4%	45	5%	46	5%	30	5%
―	物質別データなし																						
	合計	8,031	100%	6,059	100%	2,208	100%	1,787	100%	1,842	100%	1,548	100%	1,293	100%	1,174	100%	993	100%	916	100%	657	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：天然ガス鉱業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類	2,603	100%	1,665	100%	3,095	100%	1,028	100%	1,155	100%	878	100%	871	100%	1,839	100%	1,656	100%	1,399	100%	1,561	100%
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマルーヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	2,603	100%	1,665	100%	3,095	100%	1,028	100%	1,155	100%	878	100%	871	100%	1,839	100%	1,656	100%	1,399	100%	1,561	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：石油連盟

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類	61,426	100%	54,859	100%	42,551	100%	39,373	100%	37,273	100%	37,287	100%	36,894	100%	35,246	100%	33,259	100%	31,718	100%	28,986	100%
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマルーヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	61,426	100%	54,859	100%	42,551	100%	39,373	100%	37,273	100%	37,287	100%	36,894	100%	35,246	100%	33,259	100%	31,718	100%	28,986	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本化学工業協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,435	7%	3,447	7%	2,821	9%	1,986	6%	2,197	7%	2,352	8%	2,025	8%	1,806	7%	1,852	7%	1,797	8%	1,575	7%
―	炭化水素類	7,165	8%	6,146	12%	4,560	14%	6,125	20%	6,184	20%	5,701	20%	5,853	23%	5,745	22%	5,821	22%	5,359	23%	4,441	21%
―	酢酸エチル	1,664	2%	1,100	2%	1,102	3%	991	3%	847	3%	871	3%	668	3%	727	3%	723	3%	819	4%	698	3%
―	メチルエチルケトン	4,307	5%	1,427	3%	820	3%	581	2%	612	2%	557	2%	466	2%	519	2%	536	2%	559	2%	403	2%
80	キシレン	1,730	2%	685	1%	241	1%	263	1%	243	1%	254	1%	181	1%	218	1%	274	1%	190	1%	176	1%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）	11,089	12%	6,732	13%	4,790	15%	4,939	16%	4,702	16%	4,028	14%	2,935	11%	3,651	14%	3,414	13%	3,167	14%	3,149	15%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	5,530	6%	3,026	6%	725	2%	765	2%	693	2%	620	2%	544	2%	910	3%	862	3%	675	3%	626	3%
―	アセトン	6,972	8%	5,028	10%	3,770	12%	3,188	10%	3,212	11%	3,000	10%	2,785	11%	2,455	9%	2,155	8%	2,040	9%	1,978	9%
392	ノルマル－ヘキサン	7,627	9%	6,744	13%	3,290	10%	2,369	8%	2,287	8%	2,061	7%	1,772	7%	2,190	8%	2,397	9%	1,993	9%	1,792	8%
―	シクロヘキサン	4,116	5%	2,715	5%	1,516	5%	912	3%	994	3%	1,392	5%	1,218	5%	1,313	5%	1,120	4%	970	4%	752	4%
53	エチルベンゼン															152	1%	153	1%	96	0%	91	0%
128	クロロメタン（塩化メチル）	3,371	4%	576	1%	263	1%	1,530	5%	1,368	5%	1,099	4%	665	3%	751	3%	801	3%	231	1%	228	1%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	2,038	2%	189	0%	149	0%	164	1%	157	1%	162	1%	160	1%	149	1%	146	1%	150	1%	141	1%
318	二硫化炭素	2,073	2%	2,883	6%	1,966	6%	1,839	6%	1,416	5%	1,440	5%	1,359	5%	1,139	4%	1,760	7%	1,305	6%	1,873	9%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）	1,879	2%	31	0%	15	0%	13	0%	14	0%	22	0%	27	0%	26	0%	29	0%	25	0%	8	0%
281	トリクロロエチレン																	14	0%	18	0%	9	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,197	1%	191	0%	7	0%	6	0%	5	0%	5	0%	3	0%			3	0%	2	0%	2	0%
134	酢酸ビニル	1,608	2%	1,032	2%	582	2%	464	1%	495	2%	407	1%	386	2%	344	1%	298	1%	288	1%	328	2%
400	ベンゼン	1,561	2%	323	1%	212	1%	196	1%	131	0%	119	0%	99	0%	106	0%	108	0%	100	0%	78	0%
240	スチレン	1,330	1%	638	1%	270	1%	236	1%	233	1%	204	1%	149	1%	164	1%	152	1%	132	1%	155	1%
―	プロピルアルコール	1,311	1%	1,109	2%	651	2%	354	1%	343	1%	186	1%	245	1%	226	1%	259	1%	218	1%	212	1%
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	1%	204	0%	148	0%	124	0%	97	0%	91	0%	111	0%	90	0%	93	0%	71	0%	79	0%
94	クロロエチレン（塩化ビニル）	1,072	1%	204	0%	154	0%	119	0%	105	0%	126	0%	117	0%	100	0%	124	0%	94	0%	128	1%
83	クメン（イソプロピルベンゼン）	897	1%	237	0%	191	1%	172	1%	186	1%	185	1%	79	0%	96	0%	75	0%	81	0%	87	0%
―	クロロエタン	826	1%	93	0%	55	0%	75	0%	71	0%	93	0%	107	0%	90	0%	59	0%	82	0%	65	0%
262	テトラクロロエチレン																	7	0%	6	0%	5	0%
86	クレゾール																	1	0%	1	0%	1	0%
―	ブタノール																	120	0%	97	0%	101	0%
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																	9	0%	9	0%	11	0%
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																	72	0%	26	0%	28	0%
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																	0	0%	0	0%	1	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																	6	0%	5	0%	2	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																	0	0%	0	0%	0	0%
―	その他	11,854	13%	5,799	11%	4,364	13%	3,598	12%	3,578	12%	3,621	13%	3,599	14%	3,139	12%	2,595	10%	2,393	10%	2,126	10%
―	物質別データなし			131	0%																		
	合計	88,809	100%	50,690	100%	32,662	100%	31,009	100%	30,169	100%	28,596	100%	25,554	100%	26,106	100%	26,038	100%	22,998	100%	21,349	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本印刷産業連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	36,860	32%	19,900	26%	8,200	19%	6,000	17%	4,700	17%	3,800	16%	4,400	16%	3,600	16%	3,400	14%	2,900	14%	3,200	13%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル	20,220	18%	18,980	25%	9,700	23%	8,300	23%	7,000	25%	5,900	24%	6,700	25%	5,700	25%	5,600	24%	4,900	24%	6,500	27%
―	メチルエチルケトン	15,960	14%	11,830	15%	6,400	15%	3,600	10%	3,100	11%	2,800	11%	3,000	11%	2,700	12%	2,900	12%	2,400	12%	2,900	12%
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール	18,720	16%	15,000	20%	8,500	20%	6,600	19%	5,300	19%	4,400	18%	5,000	19%	4,300	19%	4,600	19%	3,900	19%	4,300	18%
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	23,740	21%	10,890	14%	9,900	23%	10,800	31%	8,100	29%	7,600	31%	7,700	29%	6,500	29%	7,100	30%	6,100	30%	7,200	30%
―	物質別データなし																						
	合計	115,500	100%	76,600	100%	42,700	100%	35,400	100%	28,200	100%	24,500	100%	26,800	100%	22,800	100%	23,600	100%	20,200	100%	24,100	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:ドラム缶工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール(メタノール)																						
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																						
―	アセトン																						
392	ノルマルーヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン(塩化メチル)																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																						
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ(ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ)																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	1,763	100%	1,818	100%	1,592	100%	1,545	100%	1,382	100%	1,322	100%	1,157	100%	1,217	100%	1,186	100%	1,213	100%	1,171	100%
	合計	1,763	100%	1,818	100%	1,592	100%	1,545	100%	1,382	100%	1,322	100%	1,157	100%	1,217	100%	1,186	100%	1,213	100%	1,171	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：軽金属製品協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	215	62%	180	58%	20	21%	58	33%	59	35%	85	56%	89	47%	84	48%	73	45%	66	45%	57	46%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	129	37%	123	39%	56	58%	78	45%	73	43%	41	27%	65	34%	58	33%	58	36%	54	36%	44	35%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	5	1%	9	3%	21	22%	36	21%	36	21%	26	17%	35	19%	33	19%	31	19%	28	19%	24	19%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	349	100%	312	100%	97	100%	174	100%	168	100%	152	100%	189	100%	175	100%	162	100%	148	100%	125	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本プラスチック工業連盟

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	5,676	46%	4,936	24%	961	15%	61	1%	553	12%	647	14%	582	14%	1,255	26%	606	13%	632	10%	517	9%
―	炭化水素類	679	6%					402	9%	586	13%	592	13%	662	16%	25	1%	677	15%	656	11%	582	10%
―	酢酸エチル	3,416	28%	6,810	34%	1,594	24%	1,573	34%	1,185	26%	1,463	31%	1,382	32%	1,626	34%	1,584	35%	2,567	41%	2,595	45%
―	メチルエチルケトン	137	1%	2,342	12%	1,226	19%	299	7%	114	2%	133	3%	127	3%	196	4%	139	3%	219	4%	442	8%
80	キシレン	24	0%					13	0%	16	0%	14	0%	14	0%	5	0%	4	0%	2	0%	4	0%
―	イソプロピルアルコール	200	2%	703	3%	192	3%	106	2%	48	1%	75	2%	61	1%	154	3%	55	1%	144	2%	216	4%
―	メチルアルコール（メタノール）	0	0%					0	0%	0	0%	105	2%	0	0%								
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	1,763	14%	1,486	7%	919	14%	1,040	23%	1,072	23%	1,000	21%	876	21%	899	19%	889	20%	824	13%	799	14%
―	アセトン	382	3%					133	3%	9	0%	30	1%	10	0%	28	1%	18	0%	24	0%	19	0%
392	ノルマル－ヘキサン	0	0%																				
―	シクロヘキサン	0	0%																				
53	エチルベンゼン	0	0%																				
128	クロロメタン（塩化メチル）	0	0%																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド	0	0%	827	4%	150	2%	0	0%	4	0%	0	0%							1	0%	1	0%
318	二硫化炭素	0	0%																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）	0	0%																				
281	トリクロロエチレン	0	0%																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0	0%																				
134	酢酸ビニル	0	0%																				
400	ベンゼン	0	0%																				
240	スチレン	5	0%					4	0%	2	0%	2	0%			2	0%			1	0%	3	0%
―	プロピルアルコール	0	0%																				
157	1,2-ジクロロエタン	0	0%																				
94	クロロエチレン（塩化ビニル）	0	0%																				
83	クメン（イソプロピルベンゼン）	0	0%																				
―	クロロエタン	0	0%																				
262	テトラクロロエチレン	0	0%																				
86	クレゾール	0	0%																				
―	ブタノール	0	0%																				
―	ブチルセロソルブ	0	0%																				
349	フェノール	0	0%																				
―	メチルイソブチルケトン	12	0%					7	0%	13	0%	8	0%	9	0%	1	0%	1	0%	1	0%	10	0%
―	イソブタノール	0	0%																				
―	酢酸ブチル	0	0%																				
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）	0	0%																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル	0	0%																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン	0	0%																				
―	その他	246	2%	3,089	15%	1,581	24%	928	20%	937	20%	592	13%	540	13%	601	13%	561	12%	1,119	18%	590	10%
―	物質別データなし	51	0%					30	1%	1	0%	1	0%										
	合計	12,211	100%	20,193	100%	6,623	100%	4,594	100%	4,594	100%	4,662	100%	4,263	100%	4,792	100%	4,533	100%	6,188	100%	5,778	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本オフィス家具協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	257	13%	125	10%	67	10%	70	10%	105	12%	66	8%	74	9%	74	9%	58	8%	53	7%	49	8%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル	49	2%	59	5%	52	8%	96	13%	111	13%	130	16%	135	17%	148	19%	136	18%	135	18%	113	18%
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	896	45%	498	40%	214	31%	164	23%	184	21%	181	23%	180	23%	152	20%	129	17%	124	17%	103	16%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																			1	0%	2	0%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	30	2%	17	1%	15	2%	14	2%	14	2%	12	1%	13	2%	8	1%	4	1%	5	1%	3	0%
―	アセトン							3	0%	4	0%	4	0%	4	1%	4	1%	2	0%	2	0%	1	0%
392	ノルマル－ヘキサン							1	0%	1	0%	3	0%	1	0%	2	0%	2	0%	1	0%	0	0%
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	237	12%	178	14%	95	14%	80	11%	121	14%	103	13%	105	13%	81	10%	77	10%	68	9%	57	9%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																			5	1%	6	1%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																			1	0%		
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																			2	0%	2	0%
―	ブチルセロソルブ																			12	2%	29	5%
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン	11	1%	3	0%	5	1%	8	1%	7	1%	3	0%	9	1%	8	1%	10	1%	11	1%	8	1%
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																			3	0%	3	0%
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	496	25%	245	20%	231	34%	291	40%	313	36%	300	37%	275	35%	297	38%	343	45%	322	43%	265	41%
―	物質別データなし			110	9%																		
	合計	1,977	100%	1,235	100%	680	100%	727	100%	860	100%	802	100%	796	100%	779	100%	765	100%	746	100%	639	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本表面処理機材工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール	1	91%	1	88%	0	45%	0	51%	0	72%	0	73%	0	55%	0	84%	0	83%	0	74%	0	61%
―	メチルアルコール（メタノール）	0	5%	0	10%	0	53%	0	47%	0	26%	0	25%	0	43%	0	17%	0	17%	0	24%	0	36%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマルーヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	0	4%	0	3%	0	2%	0	2%	0	3%	0	3%	0	2%	0	1%	0	0%	0	2%	0	3%
―	物質別データなし																						
	合計	1	100%	1	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%	0	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車車体工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,539	8%	1,394	7%	915	8%	814	7%	708	7%	730	7%	954	10%	905	10%	857	9%	778	8%	729	8%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	2,246	11%	1,626	9%	975	9%	961	8%	831	8%	880	8%	1,065	11%	963	10%	895	9%	806	8%	750	9%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	717	4%	796	4%	595	5%	572	5%	520	5%	555	5%	665	7%	592	6%	551	6%	564	6%	544	6%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	120	1%	224	1%	211	2%	187	2%	162	2%	154	1%	207	2%	151	2%	144	1%	146	1%	131	2%
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	15,678	77%	15,020	79%	8,452	76%	8,908	78%	8,040	78%	8,397	78%	7,095	71%	6,884	73%	7,443	75%	7,489	77%	6,502	75%
	合計	20,300	100%	19,060	100%	11,148	100%	11,442	100%	10,261	100%	10,716	100%	9,986	100%	9,495	100%	9,890	100%	9,782	100%	8,656	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本接着剤工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	171	29%	100	21%	69	22%	79	22%	70	22%	69	22%	71	22%	75	22%	68	21%	60	20%	49	19%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル	105	18%	104	22%	65	20%	82	23%	75	23%	77	24%	79	25%	84	25%	77	24%	74	25%	64	25%
―	メチルエチルケトン	46	8%	36	8%	31	10%	41	12%	39	12%	35	11%	37	12%	38	11%	42	13%	36	12%	31	12%
80	キシレン	24	4%	21	4%	17	5%	16	5%	13	4%	13	4%	13	4%	15	4%	17	5%	15	5%	16	6%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）	112	19%	92	20%	59	19%	66	19%	57	18%	58	18%	55	17%	56	17%	58	18%	52	18%	46	18%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン	42	7%	41	9%	25	8%	27	8%	25	8%	24	8%	24	8%	25	7%	26	8%	21	7%	20	8%
392	ノルマルーヘキサン	45	8%	29	6%	19	6%	17	5%	16	5%	14	4%	14	4%	13	4%	12	4%	12	4%	10	4%
―	シクロヘキサン	13	2%	32	7%	25	8%	25	7%	26	8%	23	7%	24	8%	26	8%	25	8%	25	8%	22	8%
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	40	7%	15	3%	8	3%	3	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	1	0%
―	物質別データなし																						
	合計	598	100%	470	100%	318	100%	355	100%	323	100%	315	100%	319	100%	334	100%	327	100%	297	100%	259	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:プレハブ建築協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,162	69%	675	62%	370	52%	80	16%	66	17%	48	17%	44	18%	38	17%	36	17%	29	14%	28	16%
―	炭化水素類			-		-		-		-		-		-		-		-				-	
―	酢酸エチル			10	1%	20	3%	21	4%	15	4%	4	1%	9	4%	10	5%	7	4%	10	5%	7	4%
―	メチルエチルケトン			7	1%	8	1%	12	2%	10	3%	2	1%	5	2%	8	4%	5	2%	4	2%	2	1%
80	キシレン	283	17%	157	14%	175	25%	155	31%	103	27%	83	29%	39	16%	29	13%	26	13%	22	11%	14	8%
―	イソプロピルアルコール			3	0%	5	1%	2	0%	2	0%	2	1%	1	1%	2	1%	1	1%	1	0%	5	3%
―	メチルアルコール(メタノール)			23	2%	5	1%	47	9%	43	11%	20	7%	18	7%	20	9%	13	6%	13	6%	12	7%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	158	9%	51	5%	1	0%	0	0%	0	0%	2	1%	3	1%	3	1%	5	2%	2	1%	0	0%
―	アセトン			30	3%	0	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	0	0%	1	0%	1	1%	1	1%
392	ノルマル－ヘキサン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	2	1%	1	0%	1	1%	1	1%	1	1%
―	シクロヘキサン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%	5	2%	4	2%
53	エチルベンゼン	24	1%	15	1%	42	6%	69	14%	37	9%	26	9%	13	5%	10	5%	10	5%	8	4%	6	4%
128	クロロメタン(塩化メチル)			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド			0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	7	3%	0	0%	0	0%
318	二硫化炭素			-		-		-		-		-		-		-		-		-		0	
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)			-		-		-		-		0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
281	トリクロロエチレン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	44	3%	44	4%	2	0%	5	1%	5	1%	3	1%	4	1%	4	2%	3	2%	1	1%	2	1%
134	酢酸ビニル	2	0%	2	0%	4	1%	3	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	1	1%	1	1%	1	1%
400	ベンゼン			0	0%			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン	1	0%	49	4%	3	0%	3	1%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	プロピルアルコール			-		-		-		-		0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
157	1,2-ジクロロエタン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)			0	0%	0	0%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	クロロエタン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
262	テトラクロロエチレン			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
86	クレゾール			-		-		-		-		0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	ブタノール			1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	2	1%	2	1%
―	ブチルセロソルブ			5	0%	45	6%	62	12%	61	16%	63	22%	73	29%	62	28%	72	34%	67	34%	55	32%
349	フェノール			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	メチルイソブチルケトン			5	0%	5	1%	18	4%	19	5%	17	6%	19	8%	18	8%	7	3%	6	3%	6	3%
―	イソブタノール			2	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	1%	2	1%	2	1%
―	酢酸ブチル			17	2%	17	2%	11	2%	10	3%	13	5%	12	5%	11	5%	9	4%	21	11%	25	15%
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ(ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ)			0	0%	8	1%	9	2%	8	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル			0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン			-		-		-		-		0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	その他	1	0%			0	0%	2	0%	0	0%	0	0%	39	16%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	物質別データなし															0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	合計	1,675	100%	1,096	100%	712	100%	506	100%	385	100%	290	100%	247	100%	221	100%	209	100%	198	100%	174	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：印刷インキ工業連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	109	26%	79	25%	46	16%	36	15%	44	17%	39	16%	36	14%	30	12%	25	14%	26	13%	25	12%
―	炭化水素類							1	0%	–		–		0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	酢酸エチル	79	19%	55	18%	49	17%	47	19%	46	18%	49	20%	49	20%	46	18%	49	27%	50	24%	54	27%
―	メチルエチルケトン	81	19%	48	15%	37	13%	27	11%	27	11%	25	10%	24	10%	25	10%	21	12%	28	14%	29	14%
80	キシレン	27	6%	17	5%	8	3%	3	1%	4	2%	3	1%	3	1%	1	0%	1	1%	1	0%	1	0%
―	イソプロピルアルコール	46	11%	34	11%	33	12%	32	13%	32	13%	33	13%	32	13%	30	12%	31	17%	32	16%	35	17%
―	メチルアルコール（メタノール）	15	4%	10	3%	3	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	2	1%	1	1%	1	0%	1	0%
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	アセトン							-		–		0	0%	–		–		–		–		–	
392	ノルマル－ヘキサン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	シクロヘキサン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	–		–	
53	エチルベンゼン							2	1%	2	1%	1	0%	2	1%	0	0%	1	1%	–		–	
128	クロロメタン（塩化メチル）							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
318	二硫化炭素							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
281	トリクロロエチレン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン							4	2%	5	2%	4	2%	2	1%	–		2	1%	2	1%	2	1%
134	酢酸ビニル							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
400	ベンゼン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	プロピルアルコール							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
157	1,2-ジクロロエタン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
94	クロロエチレン（塩化ビニル）							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
83	クメン（イソプロピルベンゼン）							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	クロロエタン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
262	テトラクロロエチレン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
86	クレゾール							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	ブタノール							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	ブチルセロソルブ							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
349	フェノール							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	メチルイソブチルケトン							4	2%	6	2%	3	1%	2	1%	3	1%	2	1%	2	1%	1	0%
―	イソブタノール							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	–		–	
―	酢酸ブチル							6	2%	4	2%	4	2%	5	2%	4	2%	3	2%	1	0%	4	2%
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル							0	0%	3	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン							0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	その他	66	16%	70	22%	107	38%	79	33%	80	31%	82	33%	93	37%	110	44%	46	25%	62	30%	50	25%
―	物質別データなし	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	合計	423	100%	313	100%	283	100%	243	100%	255	100%	245	100%	250	100%	251	100%	182	100%	205	100%	202	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本工業塗装協同組合連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	364	19%	364	19%	253	19%	243	19%	335	19%	274	19%	329	19%	422	19%	356	19%	402	19%	670	47%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	493	25%	493	25%	342	25%	330	25%	454	25%	371	25%	446	25%	572	25%	469	25%	544	25%	336	23%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン	163	8%	163	8%	113	8%	109	8%	149	8%	122	8%	147	8%	188	8%	150	8%	179	8%	146	10%
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール	161	8%	161	8%	111	8%	107	8%	148	8%	121	8%	145	8%	186	8%	150	8%	177	8%	16	1%
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	705	36%	705	36%	539	40%	520	40%	715	40%	585	40%	702	40%	902	40%	750	40%	858	40%	268	19%
―	物質別データなし	72	4%	72	4%																		
	合計	1,958	100%	1,958	100%	1,358	100%	1,309	100%	1,801	100%	1,474	100%	1,768	100%	2,270	100%	1,875	100%	2,160	100%	1,435	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ゴム工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	22,221	100%	19,103	100%	11,580	100%	8,311	100%	8,014	100%	7,435	100%	7,260	100%	7,038	100%	6,872	100%	6,481	100%	5,579	100%
	合計	22,221	100%	19,103	100%	11,580	100%	8,311	100%	8,014	100%	7,435	100%	7,260	100%	7,038	100%	6,872	100%	6,481	100%	5,579	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車車体整備協同組合連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	536	100%			333	100%	299	100%	321	100%	342	100%	312	100%	332	100%	260	100%	239	100%	213	100%
	合計	536	100%	536	100%	333	100%	299	100%	321	100%	342	100%	312	100%	332	100%	260	100%	239	100%	213	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本粘着テープ工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	13,401	63%	7,788	63%	3,663	72%	2,794	64%	2,950	65%	2,829	71%	2,582	64%	2,358	61%	1,744	61%	2,440	71%	1,755	60%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル	4,931	23%	2,645	21%	539	11%	476	11%	569	13%	498	13%	629	16%	582	15%	322	11%	584	17%	364	12%
―	メチルエチルケトン	774	4%	326	3%	146	3%	93	2%	100	2%	89	2%	93	2%	84	2%	49	2%	119	3%	101	3%
80	キシレン	45	0%	13	0%	5	0%	1	0%	1	0%	11	0%	22	1%	13	0%	1	0%	2	0%	2	0%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン	726	3%	294	2%	232	5%	631	15%	563	12%	407	10%	378	9%	443	11%	642	23%	134	4%	323	11%
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他	1,311	6%	1,232	10%	486	10%	340	8%	339	7%	148	4%	344	8%	416	11%	94	3%	177	5%	391	13%
―	物質別データなし																						
	合計	21,175	100%	12,315	100%	5,090	100%	4,334	100%	4,522	100%	3,982	100%	4,048	100%	3,896	100%	2,853	100%	3,456	100%	2,936	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：全国楽器協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン	110	46%	110	46%	23	41%	18	41%	19	44%	22	35%	21	40%	20	38%	18	36%	21	40%	16	36%
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン	41	17%	41	17%	6	11%	5	11%	4	9%	5	8%	5	9%	5	9%	5	10%	6	12%	6	13%
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	9	4%	9	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン	81	34%	81	34%	27	48%	21	48%	20	47%	36	57%	27	51%	28	53%	27	54%	25	48%	23	51%
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	240	100%	240	100%	56	100%	44	100%	43	100%	63	100%	53	100%	53	100%	50	100%	52	100%	45	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本釣用品工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）	110	100%	80	100%	69	100%	70	100%	70	100%	70	100%	70	100%	66	100%	64	100%	64	100%	67	100%
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	110	100%	80	100%	69	100%	70	100%	70	100%	70	100%	70	100%	66	100%	64	100%	64	100%	67	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本金属ハウスウェア工業組合

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン	489	100%	489	100%	302	100%	260	100%	210	100%	200	100%	199	100%	199	100%	199	100%	193	100%	170	100%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	489	100%	489	100%	302	100%	260	100%	210	100%	200	100%	199	100%	199	100%	199	100%	193	100%	170	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本金属洋食器工業組合

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン	201	100%	201	100%	33	99%	28	100%	28	100%	27	100%	26	100%	25	100%	25	100%	24	100%	21	100%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	201	100%	201	100%	33	100%	28	100%	28	100%	27	100%	26	100%	25	100%	25	100%	24	100%	21	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ガス石油機器工業会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	765	100%	765	100%	513	100%	560	100%	504	100%	364	100%	361	100%	374	100%	432	100%	423	100%	402	100%
	合計	765	100%	765	100%	513	100%	560	100%	504	100%	364	100%	361	100%	374	100%	432	100%	423	100%	402	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：全国石油商業組合連合会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン			0	0%																		
―	炭化水素類	120,563	100%											99,959	100%	95,848	100%	94,333	100%	90,954	100%	82,941	100%
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマルーヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし																						
	合計	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	120,563	100%	99,959	100%	95,848	100%	94,333	100%	90,954	100%	82,941	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：産業環境管理協会

PRTR政令番号	物質名	【H12年度】		【H17年度】		【H22年度】		【H25年度】		【H26年度】		【H27年度】		【H28年度】		【H29年度】		【H30年度】		【R1年度】		【R2年度】	
		（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比	（トン）	合計比
300	トルエン																						
―	炭化水素類																						
―	酢酸エチル																						
―	メチルエチルケトン																						
80	キシレン																						
―	イソプロピルアルコール																						
―	メチルアルコール（メタノール）																						
186	ジクロロメタン（塩化メチレン）																						
―	アセトン																						
392	ノルマル－ヘキサン																						
―	シクロヘキサン																						
53	エチルベンゼン																						
128	クロロメタン（塩化メチル）																						
232	N,N-ジメチルホルムアミド																						
318	二硫化炭素																						
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン（HCFC-142b）																						
281	トリクロロエチレン																						
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																						
134	酢酸ビニル																						
400	ベンゼン																						
240	スチレン																						
―	プロピルアルコール																						
157	1,2-ジクロロエタン																						
94	クロロエチレン（塩化ビニル）																						
83	クメン（イソプロピルベンゼン）																						
―	クロロエタン																						
262	テトラクロロエチレン																						
86	クレゾール																						
―	ブタノール																						
―	ブチルセロソルブ																						
349	フェノール																						
―	メチルイソブチルケトン																						
―	イソブタノール																						
―	酢酸ブチル																						
133	酢酸2-ｴﾄｷｼｴﾁﾙ（ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ）																						
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																						
339	N-ビニル-2-ピロリドン																						
―	その他																						
―	物質別データなし	2,600	100%	2,600	100%	1,666	100%	1,578	100%	1,417	100%	1,299	100%	1,050	100%	765	100%	734	100%	477	100%	612	100%
	合計	2,600	100%	2,600	100%	1,666	100%	1,578	100%	1,417	100%	1,299	100%	1,050	100%	765	100%	734	100%	477	100%	612	100%

注1）四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2）年間排出量には、推計値を含む場合がある。